

武蔵野市生涯学習に関する調査報告書

令和7年3月

武蔵野市教育委員会

目 次

第1章	調査の実施概要.....	1
1	調査目的.....	1
2	実施方法と回収結果.....	2
3	調査内容.....	3
4	報告書の見方.....	3
第2章	調査結果の概要.....	4
1	計画進捗度の把握.....	4
2	学びに対する市民ニーズ.....	8
3	既存事業の検証に向けて.....	10
第3章	市民向け調査結果.....	14
1	学びの意識・行動について.....	14
2	市の生涯学習施策について.....	34
3	あなたご自身について.....	44
第4章	講座受講者（大人向け）調査結果.....	48
1	市の生涯学習講座について.....	48
2	市の生涯学習施策について.....	58
3	あなたご自身について.....	59
第5章	講座受講者（子ども向け）調査結果.....	60
1	あなたご自身について.....	60
2	学びの意識・行動について.....	60
第6章	調査票.....	66
1	市民向け.....	66
2	講座受講者（大人向け）.....	73
3	講座受講者（子ども向け）.....	74

第1章 調査の実施概要

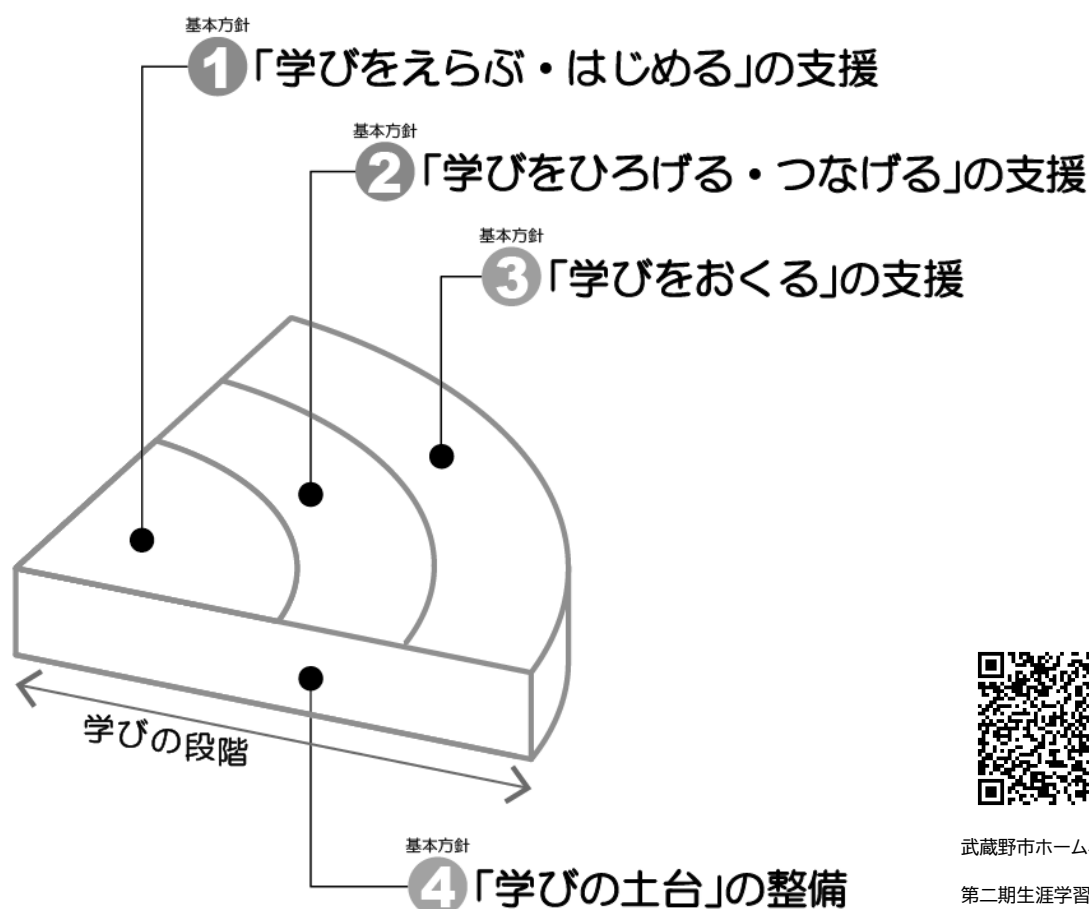
1 調査目的

生涯学習事業を推進するにあたり市が担う役割は、学びを通じて個人の人生の豊かさを向上させるとともに、学びにより個人と社会を結びつけて地域・コミュニティをよりよくすることである。

第二期生涯学習計画は、その役割を果たす事業を展開するため、市の実施する生涯学習事業を体系化し、総合的・計画的・効果的に推進するために策定された（図表1-1）。基本理念は「学びおくりあい、わたしたちがつくるまち」である。「学びおくり」とは、学んだことを他者、地域、コミュニティ、社会、あるいは次の世代へ「おくる」（送る・贈る）ことを意味し、「恩送り」（恩を受けた人ではなく、それ以外の人へ送ること）という言葉から着想した本計画の造語である。

本調査は、第二期生涯学習計画（令和2～11年度）の計画期間の中間期において、計画進捗度の把握や現在の市民ニーズを得ること、計画の残存期間で新たに実施可能な事業・既存事業の見直しの必要性を検討するための基礎資料を作成することを目的に実施した。

図表1-1 第二期生涯学習計画の施策体系



2 実施方法と回収結果

調 査 名	市民向け調査
抽 出 方 法	市内に住所を要する 16 歳以上の方（無作為抽出による）
調 査 方 法	郵送による調査票発送、郵送または WEB での回収
配 布 数	1,500 名
調 査 期 間	令和 6 年 10 月 30 日～11 月 27 日
有効回収数・ 回収率	578 票（38.5%） ※郵送 375 票、WEB203 票

調 査 名	講座受講者（大人向け）調査
抽 出 方 法	市生涯学習事業（講座等）を受講した方 ※調査実施講座（大人向け）は、市民講座（美術講座）、聴覚障害者教養講座、後期いきいきセミナー、市民活動企画講座、老壮シニア講座、プレイスコンサート
調 査 方 法	各講座終了時に調査を依頼し自記入式で回答後、任意で回収
調 査 期 間	令和 6 年 11 月 16 日～12 月 21 日
有効回収数	278 票

調 査 名	講座受講者（子ども向け）調査
抽 出 方 法	市生涯学習事業（講座等）を受講した方 ※調査実施講座（子ども向け）は、親子 de サイエンス高学年講座、土曜学校おかねの教室小学生講座・中学生講座、土曜学校ピタゴラスクラブⅡ、夏休み子どもワークショップ工作・料理・実験、むさしの発見隊、としょかんこどもまつり科学遊び、中近東文化センター夏休み親子体験講座、土曜学校世界を知る会ジュニア
調 査 方 法	各講座終了時に調査を依頼し自記入式で回答後、任意で回収
調 査 期 間	令和 6 年 7 月 22 日～11 月 16 日
有効回収数	290 票

3 調査内容

- (1) 学びの意識・行動について
- (2) 市の生涯学習施策について
- (3) 市の生涯学習講座について

4 報告書の見方

- (1) 集計は小数点第2位を四捨五入しており、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出しており、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、必要に応じて語句を短縮・簡略化している。
- (5) クロス集計では、基数となるべき実数(n)が小さい場合、省略している場合がある。

第2章 調査結果の概要

1 計画進捗度の把握

「学びおくり」の認知状況

第二期武蔵野市生涯学習計画の基本理念は「学びおくりあい、わたしたちがつくるまち」である。「学びおくり」とは、学んだことを他者、地域、コミュニティ、社会、あるいは次の世代へ「おくる」という意味の本計画の造語である。個人の学びが、自然に、かつ自発的に他者や社会とつながっていくさまを表現している。「学びおくりを知っていますか」と質問し、認知度を調査した。

「学びおくり」の認知度は9.0%、内容理解度は2.1%であり、「第二期武蔵野市生涯学習計画」に示している「学びおくり」という考え方が、市民には十分浸透していない。

また、性別による大きな差異は見受けられないが、年代別では「70歳代」以上で認知度が2割を超える。「30歳代」では5%未満、「29歳以下」では全く認知されていない状況である。

講座受講者(大人向け)調査結果では、認知度は19.5%、内容理解度は10.1%と市民向け調査結果より高くなっている。(図表2-1)。59頁参照。

図表2-1 「学びおくり」の認知度、内容理解度(全体、性別、年代別、講座受講者(大人向け))

		認知度(%)	内容理解度(%)
全体(n=578)		9.0	2.1
性別	男性(n=226)	7.9	1.3
	女性(n=339)	9.5	2.7
年代別	29歳以下(n=56)	0.0	0.0
	30歳代(n=75)	4.0	1.3
	40歳代(n=92)	7.6	2.2
	50歳代(n=109)	8.2	0.9
	60歳代(n=99)	8.1	2.0
	70歳代(n=98)	14.3	3.1
	80歳以上(n=49)	22.4	6.1
講座受講者(大人向け)(n=278)		19.5	10.1

学びおくり率、市内の学びの環境への評価

学びおくり率（過去1年間において、学校や勤務先以外で何かを自分から学んだことがある人の中で、「家族や友人、知人に学んだことを伝えた」「家族や友人、知人以外の人に学んだことを伝えた」「地域やコミュニティの活動に役立てた」のいずれかに○をした人の割合を学びおくり率とした。）及び、市内の学びの環境への評価について前回調査¹と比較してみると、「④市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている」と「⑥将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している（学校の授業以外で）」では増加し、それ以外の項目では、前回調査よりも減少している。

「①いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している」の項目について肯定的評価をした割合は48.1%である一方、「③地域やコミュニティの活動に参画するきっかけが充実している」について肯定的評価をした割合は23.0%、「④市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている」について肯定的評価をした割合は27.6%にとどまっている。（図表2-2）。

学びおくり率、市内の学びの環境への評価についての調査結果に基づき、市民における学びの意識を行動に結びつけていくとともに、「学びおくり」という武蔵野市独自の考え方をさらに浸透させることで、個人の学びが、自然に、かつ自発的に他者や社会とつながっていくように、施策や事業を充実させていくことが求められる。

図表2-2 学びおくり率、学びの環境への評価（前回調査との比較）

	前回調査	今回調査	比較
学びおくり率（学んだことを伝えた割合）	67.2	61.2	↓
①いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している	56.5	48.1	↓
②ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している	44.0	39.9	↓
③地域やコミュニティの活動に参画するきっかけが充実している	29.6	23.0	↓
④市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている	26.2	27.6	↑
⑤学びや地域・コミュニティ活動のための施設が充実している	44.1	41.9	↓
⑥将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している（学校の授業以外で）	33.5	36.8	↑

※集計対象数(n)は、「学びおくり率(学んだことを伝えた割合)」のみ前回調査 n=549、今回調査 n=325。

その他の項目は、前回調査 n=791、今回調査 n=578。

※計画では、明確には進捗状況の把握方法を明記していないことから、本報告書では「1 計画進捗度の把握」として、「学びおくり」の認知状況「学びおくり率、市内の学びの環境への評価」「学んだことの地域への還元状況」等から、計画の進捗状況の把握を試みた。

¹ 平成30年度実施。※「生涯学習に関する調査報告書」平成31年3月。

学んだことの地域への還元状況

過去1年間自分から「学んだことがある」と回答した325人を対象にきいた「学びおくり率」は61.2%であった(5頁)。その内、学んだことを「地域やコミュニティの活動に役立てた」割合をみると、全体で8.3%であり、性別では「男性」で5.3%、「女性」で10.2%、年代別でも最も高い「70歳以上」で14.3%にとどまっている。

学んだことの地域へ還元するという行動は、少数派となっている(図表2-3)。

図表2-3 学んだことを「地域やコミュニティの活動に役立てた」割合(全体、性別、年代別)

		地域やコミュニティ の活動に役立てた(%)
全体(n=325)		8.3
性別	男性(n=132)	5.3
	女性(n=187)	10.2
年代別	29歳以下(n=40)	0.0
	30歳代(n=44)	9.1
	40歳代(n=50)	4.0
	50歳代(n=62)	11.3
	60歳代(n=58)	6.9
	70歳代(n=49)	14.3
	80歳以上(n=22)	13.6

学びおくりをしている人の類型

今後「学びおくり」を広めていくために、調査結果から分かる、学びおくりをしている人の類型をまとめた。

- ① 【問3 学んだ理由】学びおくりを「している」では「人生を豊かにするため」「教養を深めるため」学んだという率が高い。「していない」では「現在または当時の仕事において必要性を感じたため」が高い（図表2-4）。

図表2-4 学んだ理由（学びおくりの実施状況別：上位5項目）

単位：％

	人生を豊かに するため	教養を深める ため	健康の維持 ・増進のため	家庭や日常生活 に生かすため	現在または当時 の仕事において 必要性を感じた ため
全体（n=325）	60.3	50.2	34.2	28.9	39.4
実施 状況 学びおくり「している」（n=199）	69.8	60.3	41.2	34.7	32.7
学びおくり「していない」（n=125）	44.8	34.4	23.2	20.0	50.4

- ② 【問12 「武蔵野プレイス」「武蔵野市民会館」「武蔵野ふるさと歴史館」のここ1年での利用度】どの施設も、学びおくりを「している」の方が利用度は高い（図表2-5）。

図表2-5 「武蔵野プレイス」「武蔵野市民会館」「武蔵野ふるさと歴史館」のここ1年での利用度（学びおくりの実施状況別）

単位：％

	武蔵野プレイス		武蔵野市民会館		武蔵野ふるさと歴史館	
	利用したこと がある	利用したこと はない	利用したこと がある	利用したこと はない	利用したこと がある	利用したこと はない
全体（n=325）	46.2	53.2	24.6	74.8	8.6	90.8
実施 状況 学びおくり「している」（n=199）	47.2	51.8	27.6	71.4	12.6	86.4
学びおくり「していない」（n=125）	44.8	55.2	20.0	80.0	2.4	97.6

- ③ 【問13 日々の生活のなかで実感すること】全ての項目で、学びおくりを「している」の方が「していない」よりも肯定的評価が高い。

また、「③地域やコミュニティの活動に参画するきっかけが充実している」「④市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている」の項目で、学びおくりを「していない」の方が「している」よりも否定的評価の割合が高い。（図表2-6）。

図表2-6 日々の生活のなかで実感すること（学びおくりの実施状況別）

単位：％

	①いつでも、学びたいときに学ぶ ことができる機会が充実している		②ライフステージやライフスタイル に応じた学びの機会が充実している		③地域やコミュニティの活動に参 画するきっかけが充実している	
	肯定的評価	否定的評価	肯定的評価	否定的評価	肯定的評価	否定的評価
全体（n=325）	68.6	30.4	57.3	41.8	27.1	72.6
実施 状況 学びおくり「している」（n=199）	72.9	25.6	63.8	34.6	34.1	65.3
学びおくり「していない」（n=125）	62.4	37.6	47.2	52.8	16.0	84.0

	④市民や地域・コミュニティの活 動の魅力が市内外に発信されて いる		⑤学びや地域・コミュニティ活動 のための施設が充実している		⑥将来の担い手となる子どもが学 ぶ機会が充実している（学校の 授業以外で）	
	肯定的評価	否定的評価	肯定的評価	否定的評価	肯定的評価	否定的評価
全体（n=325）	29.9	69.6	48.3	51.1	38.2	59.7
実施 状況 学びおくり「している」（n=199）	36.2	62.8	54.3	44.7	43.7	54.3
学びおくり「していない」（n=125）	20.0	80.0	39.2	60.8	29.6	68.0

2 学びに対する市民ニーズ

学びへの関心と意欲

市民の学びの関心度については、肯定的評価が 89.8%、否定的評価が 9.1%である。

また、学びの積極性については、学びの積極層が 93.9%、「何かを学びたいとは思わない」が 2.8%、「わからない」が 2.2%で、全体に学びに積極的であるといえる（図表 2-7）。

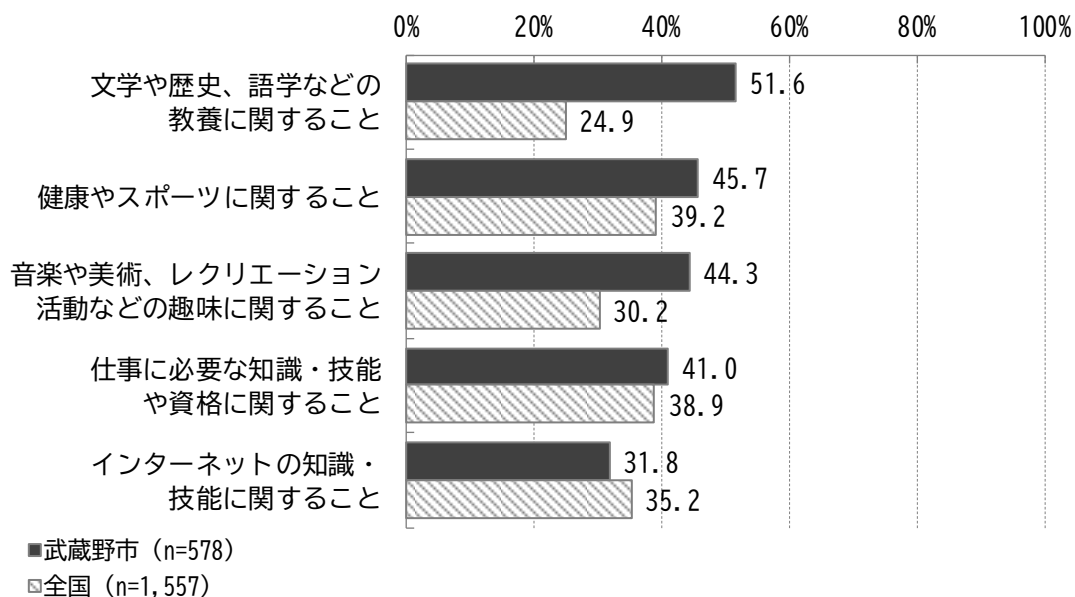
図表 2-7 学びへの関心と意欲

学びの関心度		学びの積極性	
全体（n=578）	単位：％	全体（n=578）	単位：％
肯定的評価	89.8	学びの積極層	93.9
関心がある	61.8	学びたい	56.7
どちらかというに関心がある	28.0	学びたいことがみつければ、学びたい	37.2
否定的評価	9.1	何かを学びたいとは思わない	2.8
どちらかというに関心がない	7.4	わからない	2.2
関心がない	1.7	無回答	1.0
無回答	1.0		

今後学びたい分野

今後どのようなことを学びたいかについては、「文学や歴史、語学などの教養に関すること」（51.6%）が最も高く、次いで「健康やスポーツに関すること」（45.7%）、「音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること」（44.3%）、「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」（41.0%）となっている。全国調査²と比較すると、「文学や歴史、語学などの教養に関すること」では 26.7 ポイント高くなっている（図表 2-8）。

図表 2-8 今後学びたい分野（全国調査との比較）（上位 5 項目）



² 出典：内閣府世論調査「生涯学習に関する世論調査」（令和 4 年 7 月調査）
<https://survey.gov-online.go.jp/r04/r04-gakushu/>

オンライン・オンデマンドでの学びの現状

過去1年間での対面・オンライン・オンデマンドでの学びの現状は全体は「対面」が多いが、年代別にみると、「オンライン」で学んだのは「40歳代」で5割半ば、「50歳代」で4割半ば、「30歳代」で約4割となっている。また、「オンデマンド」で学んだのは「29歳以下」で4割半ば、「50歳代」で4割強となっている。職業の有無別にみると、「有職」で「オンライン」の経験が4割半ばとなっている。

「対面」だけでなく「オンライン」や「オンデマンド」での受講形式がかなり普及していることが分かる（図表2-9）。

図表2-9 オンライン・オンデマンドでの学びの現状（全体、年代別、職業の有無別）

		対面	オンライン	オンデマンド
全体（n=325）		62.2	35.4	31.1
年代別	29歳以下（n=40）	42.5	32.5	45.0
	30歳代（n=44）	45.5	40.9	36.4
	40歳代（n=50）	56.0	54.0	36.0
	50歳代（n=62）	56.5	46.8	41.9
	60歳代（n=58）	75.9	29.3	22.4
	70歳代（n=49）	81.6	18.4	10.2
	80歳以上（n=22）	81.8	9.1	22.7
職業	有職（n=215）	53.5	43.7	34.0
	無職（n=95）	80.0	15.8	23.2

学びの理由の現状

学びの理由を年代別でみると、「人生を豊かにするため」の割合が高いが、「現在または当時の仕事において必要性を感じたため」では「30歳代」が6割強、「40歳代」で5割強、「29歳以下」で約5割、「就職や転職のために必要性を感じたため」では「29歳以下」で3割半ばであり、特に「29歳以下」「30歳代」「40歳代」でリスクリングタイプ³へのニーズが高いことがうかがえる（図表2-10）。

図表2-10 学んだ理由（全体、年代別）

		リスクリングタイプ			人生を豊かに するため
		現在または当時の 仕事において 必要性を感じたため	就職や転職のために 必要性を感じたため	勤務先などから 勧められたため	
全体（n=325）		39.4	14.2	7.7	60.3
年代別	29歳以下（n=40）	50.0	35.0	7.5	57.5
	30歳代（n=44）	61.4	22.7	13.6	47.7
	40歳代（n=50）	52.0	20.0	12.0	68.0
	50歳代（n=62）	41.9	12.9	8.1	64.5
	60歳代（n=58）	24.1	3.4	6.9	67.2
	70歳代（n=49）	18.4	4.1	2.0	51.0
	80歳以上（n=22）	27.3	0.0	0.0	63.6

※ここでは、学びの理由としてリスクリングタイプ及び「人生を豊かにするため」に関連する項目のみを抽出。

³ リスクリングは、「新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する／させること」で、それを目的として学んだと考えられる3つの回答項目について、ここでは「リスクリングタイプ」とした。

3 既存事業の検証に向けて

「計画進捗度の把握」から（市民向け調査）

「第二期生涯学習計画（令和2～11年度）」では、「学びおくり」という考え方をより浸透させるべく各種事業を実施しているが、市民における「学びおくり」の認知や理解が十分ではなく、また学んだことを地域へ還元する行動も少数派にとどまることがわかった。

武蔵野市では、小中学生を対象とした「サイエンスクラブ」受講者がむさしのサイエンスフェスタで自ら学んだことを広く発信する仕組み等、講座受講をきっかけとした「学びおくり」の実践スキームが幾つか用意されているが、こうした情報が市民には十分に浸透していないと考えられる。「学びおくり」の認知や理解を深めるための情報発信を、これまで以上に強化していくことが重要である。

今後の講座の方向性としては、学んだことを他者、地域、コミュニティ、社会、あるいは次の世代へ「おくる」という「学びおくり」につながる講座内容とすることや、講座で学んだことを活かす機会を組み合わせることで、講座受講者の中から「学びおくり」の実践層を輩出していく仕組み等を考える必要がある。

「学びに対する市民ニーズ」から（市民向け調査）

年代別での学びのニーズをみると、全世代で学びへの関心度が高く、「29歳以下」「30歳代」「40歳代」では「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」、「50歳代」では「文学や歴史、語学などの教養に関すること」、「60歳代」「70歳代」「80歳以上」では「健康やスポーツに関すること」が学びたい分野として挙げられている割合が高い。

講座受講者調査結果からみたニーズ

講座受講者調査では、「武蔵野市の生涯学習講座をより良くしていくため」の意見を自由に回答していただいた。それらの回答から、今後の講座の方向性を検討するためのヒントとなるキーワードや考え方を抽出すると以下のとおりである。

①告知・周知

- そもそもどんな講座があるのか知らない。写真付きの紹介ポスターなどが図書館にあったら目にとまるかも。（30代）
- 告知の方法を市報以外にも広げ、広くアピールすることが大切。（70代）
- 開催予定、内容がもう少し早くわかるとよい。市報、HPで広報して下さい。（1～2か月、3か月先まで）（70代） 等

※点線内は、講座受講者アンケート調査での自由意見からの抜粋。以下、同様。

②対面、オンライン、オンデマンド

- テーマによってはオンラインで行う方が参加者も増えやすいかなと思いました。(10代)
- 移動や時間に合わせるのが大変なので、自宅で気軽にオンラインでできる講座を作ってもよいと思う。(40代)
- 時間があわなくてもあとから録画、動画などでも見られるとうれしい。(50代)
- リアルタイムで受講できなかった時に、配信サービスがあれば良い。(60代)
- オンラインは外出の機会を奪うので、対面、講義などが良いと思う。(60代)
- 出来たら対面で、直接講師の思いを感じたい。(70代)
- 講義型が良い。オンラインはなかなか難しい。(80代以上) 等

③体験・実地型、ワークショップ型講座

- ワークショップや体験がもっとたくさんあると、講座内容が分かりやすい。(10代)
- 音楽を聴くだけでなく、楽器の演奏体験があったら参加してみたいと思いました。(10代)
- グループワークというか、みながどう思っているか知りたい。(20代)
- 子育て講座など、当事者同士が話しながら学べるグループワークやワークショップ型がありがたいです。(30代)
- 実際に博物館や美術館に行ったり、その展示の解説等をセットにしてもらえると、ただ見るだけより内容がよくわかるので、そのような企画があれば良いと思う。(40代)
- 武蔵野をもっと知ることのできる講座があれば参加したい。(歩きながら、実地型+座学のセットで)(50代)
- 講義型のほか、体験を取り入れたものなど(参加型)もあるとよい。(60代)
- 建物ツアー(市内)等、見てまわる企画があっても良い。(70代) 等

④多世代交流

- 若者と高齢者の関わりイベント。何かを一緒に体験したり作ったり？(10代)
- 子どもと参加できるものが良いです。(40代)
- 多世代交流のできるような講座。10代の子と一緒に学べる講座。高齢者の方ばかりの講座では残念な気がします。(50代)
- 老壮若が一緒に学べる機会があると良い。(70代) 等

⑤勤労者世代、若い世代の参加

- 土日の開催や、オンラインでの開催も検討いただけると、参加するチャンスが広がります。(40代)
- 現役世代で受講できるものが少ない。土日のプログラムを増やしてほしい。(50代) 等

⑥講座のテーマ

- 最新の科学に関連した話題の講座の開催。(40代)
- 生活につながる講座をしてほしいです。健康維持の方法、介護等。(60代)
- 経済について初級者向けに、為替、年金、半導体、AI。(60代)
- 文学、美術、歴史等はもちろん、現代生活に必要な生活の知恵、法律、IT機器の操作等、実践的なものもあると良いのでは。(60代)

⑦おひとりさまニーズ

- 親子や子ども講座が多くて、ひとりで参加しにくい講座が多い。独身の人が増えているので、そのような人もひとりで参加しやすい講座を作してほしい。(40代)

⑧講座のレベル感

- 「市民の、そのジャンルになじみのない人に広く浅く」というものと、「より掘り下げる」というものの両方をやってほしい。(50代)
- わかりやすいが、もう少しレベルを上げてほしい。(70代)
- 講座が幅広く、多様に浅くという感じですが、1つの事を何回かに分けてやるのも、満足感が得られるのかもしれませんが。等 (70代)

なお、武蔵野市の生涯学習講座の特徴は次頁、図表2-9のとおりであり、上記に挙げた視点を参考に、今後の講座の方向性や、より伝わりやすい広報の仕方、講義型ではない講座形式など、見直しの必要性について検討していく。

図表2-9 武蔵野市の生涯学習講座の特徴

対象者

- 小中学生を対象とした講座を多く開催
「土曜学校」生きる力を育み、生涯学習のきっかけづくりとなる体験学習。サイエンスクラブ、森林体験教室、読む！聴く！伝える！ことば探検隊、スポーツ教室等
「親子 de サイエンス」「親子天体講座」など親子対象の講座も多く開催
- 成人を対象とした講座の参加者は、高齢者層が多い
「いきいきセミナー」「老壮シニア講座」「五大学共同教養講座」「武蔵野市寄付講座」
- 若い人向け、働く人向け講座の数は少ないが武蔵野プレイス等で開催
「はたらく大人のサードプレイスセミナー」「大人の学び場」（夜間、土曜開催）
「親と子の教室」子育て中の親が子どもと参加し、共に学び育てあう（市民会館）

講座内容

- 歴史・文化等の教養・趣味に関する講座が多い
- 武蔵野市民会館事業
「親と子の広場」乳幼児親子で遊ぶ楽しさを味わい、親同士、子ども同士のふれあい
「市民講座（美術、日本文学、料理）」知識と教養を深めたり気軽に参加できる講座等
- 武蔵野ふるさと歴史館事業
「歴史館大学」歴史館活動のサポーターとなりうる人材を発見・育成する
「古文書解説講座」市内現存の古文書を読み、郷土と文化財に対する関心を高める 等
- 体育施設・野外活動センターでは、多岐にわたるスポーツ体験教室を開催している

学習形態

- 対面での講義形式が多い。ワークショップ形式も実施している。
- 受講した講座や団体の活動で学んだ成果を広く発表する機会がある
「サイエンスフェスタ」土曜学校で学んだ小中学生がフェスタでブース出展し、実験を披露する
「市民会館文化祭」市民会館での日頃の学習成果の発表や市民相互の交流を図る
「市民活動団体企画事業（武蔵野プレイス）」「生涯学習事業費補助金」「社会教育関係団体支援」 生涯学習実践の支援 等

開催形式

- 定期・通年開催、短期集中等、講座内容等によりさまざまある

費用

- 無料の講座が大半だが、一部の講座で、教材費等の実費費用負担がある

目的

- 人生を豊かにすることを目的とする文学や教養等の講座が多い

講座のレベル感

- ほとんどが初級。大学の正規科目に相当する講座等で中級・上級講座をカバーしている
「武蔵野地域五大学正規科目聴講」（例：アラビア語初級～中級、商法、獣医病理学等）

参加人数

- 数名～10 数名の比較的小人数が多い。200～300 名が参加する講演会タイプもある

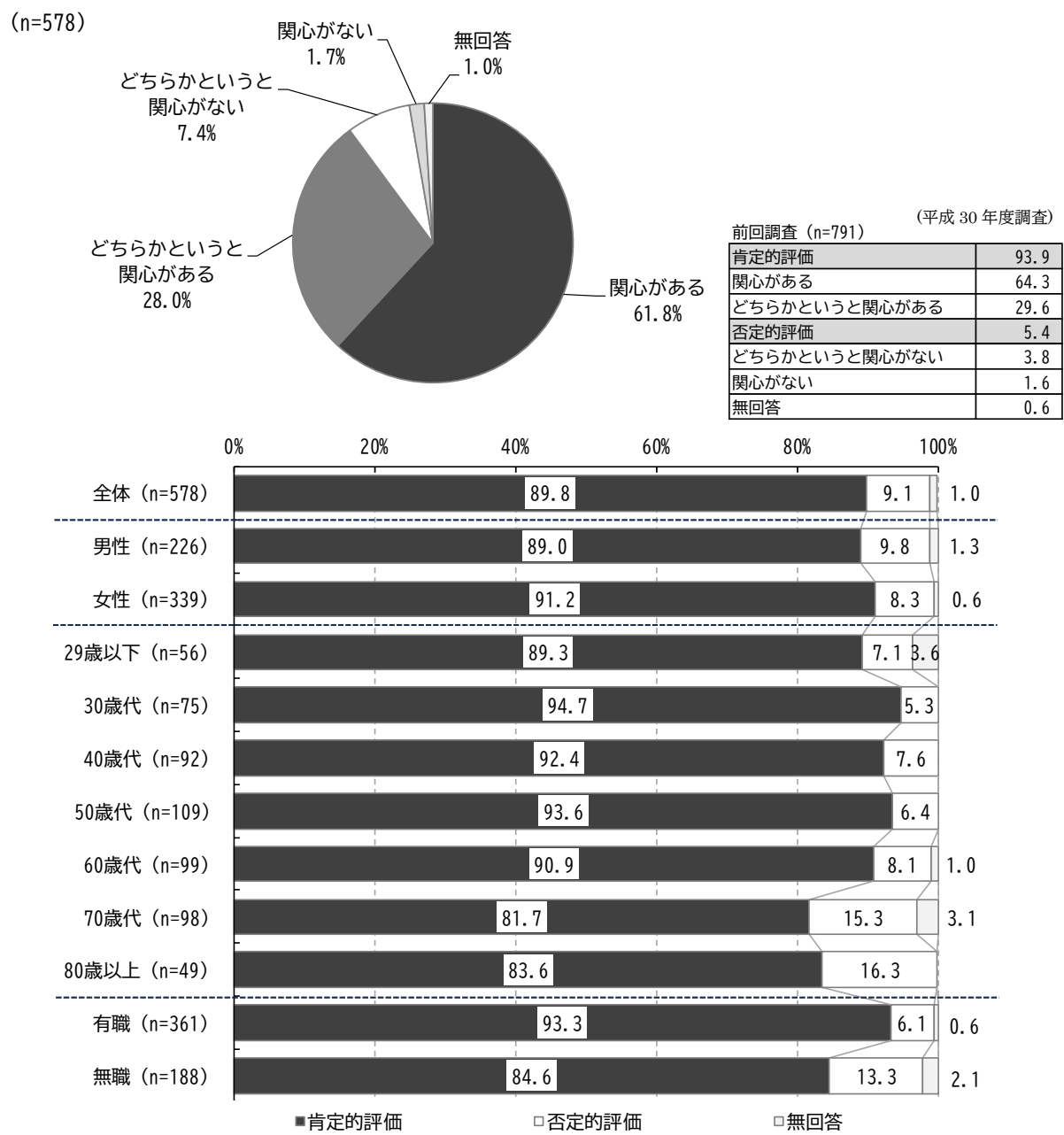
第3章 市民向け調査結果

1 学びの意識・行動について

問1 あなたは、何かを学ぶことに興味がありますか。(○は1つ)

学びの関心度については、肯定的評価（「関心がある」と「どちらかというに関心がある」の合計）が89.8%と高水準である。否定的評価（「どちらかというに関心がない」と「関心がない」の合計）が9.1%であり、前回調査⁴と比較すると肯定的評価は4.1ポイント減少している。性別では「女性」の方が「男性」よりも肯定的評価が高い。年代では「30歳代」～「60歳代」で肯定的評価が9割を超える。職業では、「有職」の方が「無職」よりも肯定的評価が8.7ポイント高い（図表3-1）。

図表3-1 学びの関心度（全体、性別、年代別、職業の有無別）



⁴ 平成30年度実施。※「生涯学習に関する調査報告書」平成31年3月。

問2 あなたは、過去1年間において、学校や勤務先以外で何かを自分から学んだことはありますか。(〇は1つ)

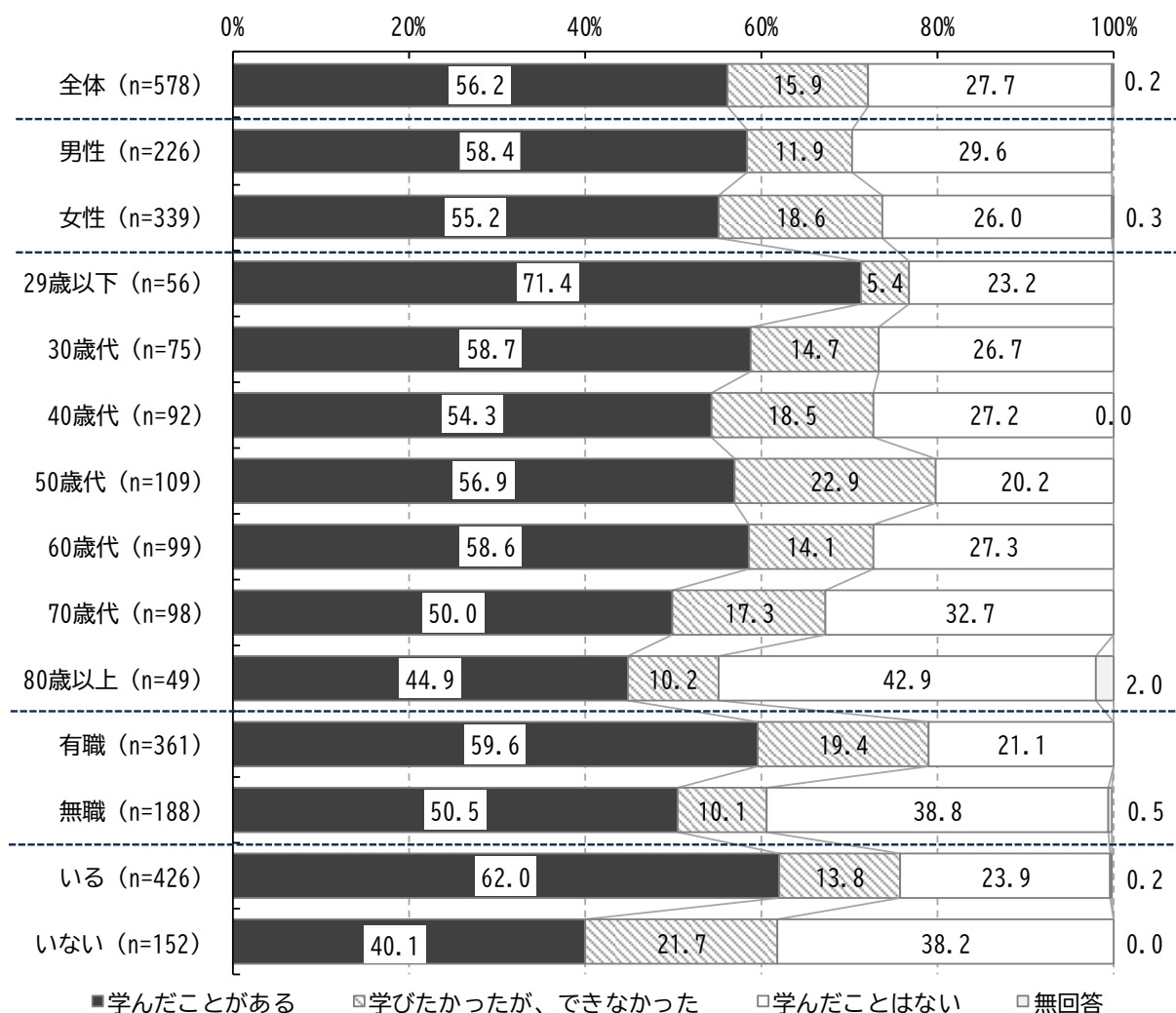
過去1年間自分から学んだ経験については、「学んだことがある」が56.2%、「学びたかったが、できなかった」が15.9%、「学んだことはない」が27.7%となっている。前回調査と比較すると「学んだことがある」が13.2ポイント減少している。

前回調査 (n=791) (平成30年度調査)

学んだことがある	69.4
学びたかったが、できなかった	10.0
学んだことはない	19.3
無回答	1.3

性別では、「男性」の方が「女性」よりも「学んだことがある」が高く、「女性」では「学びたかったが、できなかった」が「男性」よりも6.7ポイント高い。年代別では、「50歳代」で「学びたかったが、できなかった」が22.9%と2割を超えている。職業の有無別では、「有職」の方が「無職」よりも「学んだことがある」「学びたかったが、できなかった」ともに高い。趣味や自分の楽しみのために使えるお金を十分得られているか・いないか別でみると、「いる」では「学んだことがある」が62.0%の一方、「いない」では40.1%となっている(図表3-2)。

図表3-2 過去1年間自分から学んだ経験(全体、性別、年代別、職業の有無別、趣味や自分の楽しみのために使えるお金を十分得られているか・いないか別)

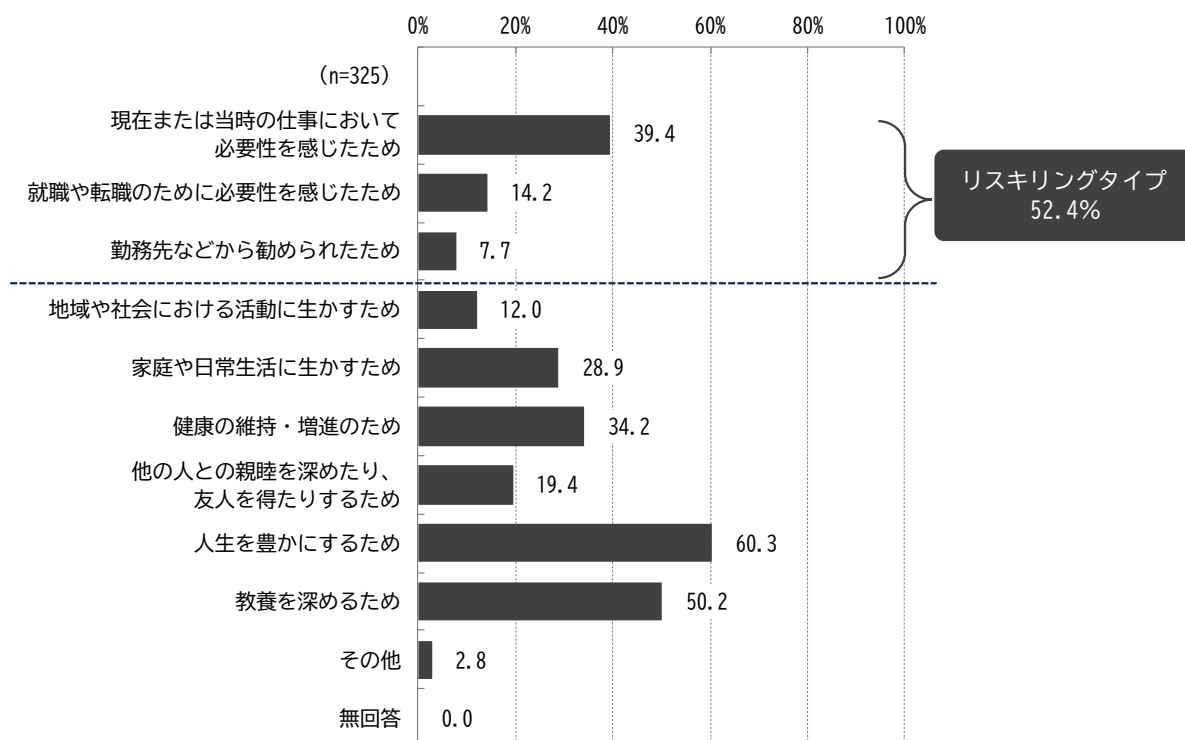


問3 あなたが学んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

過去1年間自分から「学んだことがある」と回答した325人を対象に、学んだ理由をきいたところ、「人生を豊かにするため」(60.3%)が最も高く、次いで「教養を深めるため」(50.2%)、「現在または当時の仕事において必要性を感じたため」(39.4%)となっている。

また、「現在または当時の仕事において必要性」「就職や転職のために必要性」「勤務先などから勧められた」のいずれかを選んだ人の割合は、52.4%となっている(図表3-3)。

図表3-3 学んだ理由(全体)



※リスキリングは、「新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する／させること」。

「現在または当時の仕事において必要性」「就職や転職のために必要性」「勤務先などから勧められた」の3つの回答項目について、ここでは「リスキリングタイプ」とした。

全体では「人生を豊かにするため」が高いが、年代別でみると、「30 歳代」では「現在または当時の仕事において必要性を感じたため」が高くなっている。また、「29 歳以下」～「40 歳代」では「現在または当時の仕事において必要性を感じたため」「就職や転職のために必要性を感じたため」も高くなっている。

学びおくりの実施状況別でみると、学びおくりを「している」は、「人生を豊かにするため」「教養を深めるため」が高い一方、学びおくりを「していない」は「現在または当時の仕事において必要性を感じたため」が高い（図表 3-4）。

図表 3-4 学んだ理由（年代別、学びおくりの実施状況別）

		n	現在または当時の仕事において必要性を感じたため	就職や転職のために必要性を感じたため	勤務先などから勧められたため	地域や社会における活動に生かすため	家庭や日常生活に生かすため
年代別	29歳以下	40	50.0	35.0	7.5	2.5	22.5
	30歳代	44	61.4	22.7	13.6	6.8	40.9
	40歳代	50	52.0	20.0	12.0	6.0	28.0
	50歳代	62	41.9	12.9	8.1	25.8	32.3
	60歳代	58	24.1	3.4	6.9	8.6	29.3
	70歳代	49	18.4	4.1	2.0	16.3	20.4
	80歳以上	22	27.3	0.0	0.0	13.6	27.3
	学びおくり「している」	199	32.7	10.6	7.0	18.1	34.7
実施状況	学びおくり「していない」	125	50.4	20.0	8.8	2.4	20.0

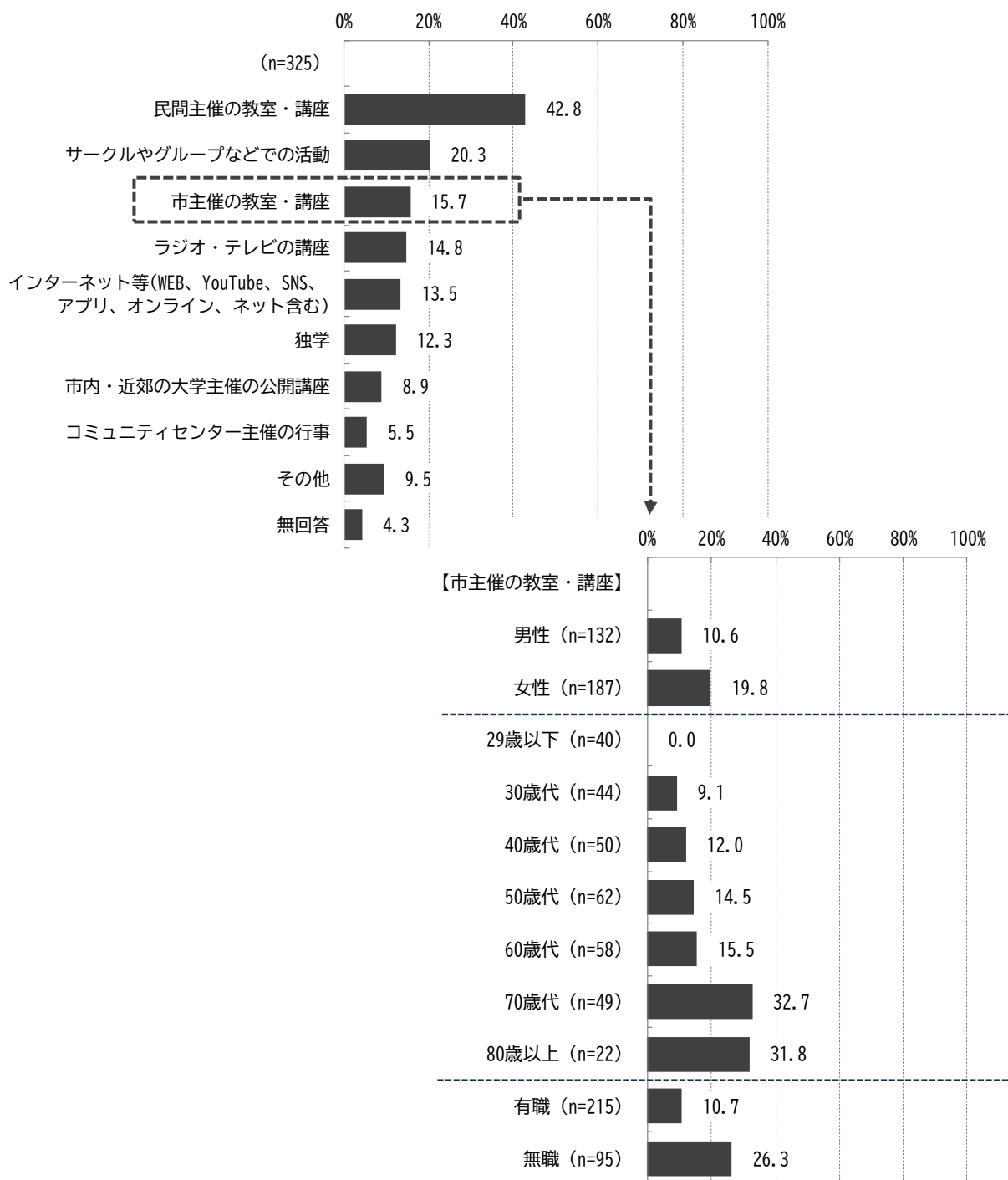
		n	健康の維持・増進のため	他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため	人生を豊かにするため	教養を深めるため	その他
年代別	29歳以下	40	12.5	15.0	57.5	47.5	0.0
	30歳代	44	29.5	18.2	47.7	50.0	0.0
	40歳代	50	26.0	10.0	68.0	56.0	0.0
	50歳代	62	33.9	19.4	64.5	58.1	8.1
	60歳代	58	39.7	19.0	67.2	51.7	0.0
	70歳代	49	49.0	26.5	51.0	40.8	2.0
	80歳以上	22	54.5	36.4	63.6	36.4	13.6
	学びおくり「している」	199	41.2	25.6	69.8	60.3	3.0
実施状況	学びおくり「していない」	125	23.2	8.8	44.8	34.4	2.4

問4 あなたは、どのような講座や活動等で学びましたか。(〇はいくつでも)

過去1年間自分から「学んだことがある」と回答した325人を対象に、講座や活動の種類をきいたところ、「民間主催の教室・講座」(42.8%)が最も高く、次いで「サークルやグループなどでの活動」(20.3%)、「市主催の教室・講座」(17.2%)となっている。

また、「市主催の教室・講座」についてみると、性別では「女性」、年代別では「70歳代」「80歳以上」、職業の有無別では「無職」が高くなっている(図表3-5)。

図表3-5 講座や活動の種類、「市主催の教室・講座」(性別、年代別、職業の有無別)



※「独学」「インターネット等(WEB、YouTube、SNS、アプリ、オンライン、ネット含む)」は、調査実施時には選択肢として設けていなかったが、回答数が多かったため、新たにコード化して集計した。

学びの環境への評価別でみると、①～⑥全てで「肯定的評価」をしている人は「民間主催の教室・講座」が最も高い。

また、③を「肯定的評価」している人で「サークルやグループなどでの活動」、「市主催の教室・講座」で学んだ人は、③を「否定的評価」している人でそれらで学んでいる人よりも割合が大きい（図表3-6）。

図表3-6 講座や活動の種類（学びの環境への評価別）

（学びの環境への評価項目）

- ①いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している
- ②ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している
- ③地域やコミュニティの活動に参画するきっかけが充実している
- ④市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている
- ⑤学びや地域・コミュニティ活動のための施設が充実している
- ⑥将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している（学校の授業以外で）

		n	民間主催の 教室・講座	サークルや グループなど での活動	市主催の 教室・講座	ラジオ・ テレビの講座	インター ネット等
①	肯定的評価	223	43.0	20.6	14.3	17.0	15.7
	否定的評価	99	43.4	20.2	18.2	9.1	8.1
②	肯定的評価	186	42.5	22.6	14.5	16.7	15.1
	否定的評価	136	44.1	17.6	16.9	11.8	10.3
③	肯定的評価	88	38.6	28.4	23.9	15.9	10.2
	否定的評価	236	44.5	17.4	12.7	14.0	14.4
④	肯定的評価	97	35.1	26.8	21.6	18.6	12.4
	否定的評価	226	46.5	17.7	12.8	12.8	13.7
⑤	肯定的評価	157	39.5	26.1	21.0	16.6	11.5
	否定的評価	166	46.4	15.1	10.2	12.7	15.1
⑥	肯定的評価	124	43.5	24.2	19.4	16.1	12.9
	否定的評価	194	43.3	17.5	12.4	13.9	13.9

		n	独学	市内・近郊の 大学主催の 公開講座	コミュニティ センター主催 の行事	その他	無回答
①	肯定的評価	223	13.5	9.0	4.9	9.4	3.6
	否定的評価	99	10.1	9.1	7.1	9.1	6.1
②	肯定的評価	186	12.9	9.7	5.4	9.7	3.2
	否定的評価	136	11.8	8.1	5.9	9.6	5.9
③	肯定的評価	88	11.4	8.0	13.6	5.7	1.1
	否定的評価	236	12.7	9.3	2.5	11.0	5.5
④	肯定的評価	97	10.3	9.3	12.4	6.2	2.1
	否定的評価	226	13.3	8.8	2.7	11.1	5.3
⑤	肯定的評価	157	10.8	8.9	8.9	8.3	2.5
	否定的評価	166	13.9	8.4	2.4	10.8	6.0
⑥	肯定的評価	124	9.7	8.1	4.8	10.5	2.4
	否定的評価	194	14.4	9.3	5.7	9.3	5.7

学びおくりの実施状況別でみると、学びおくりを「している」「していない」とともに「民間主催の教室・講座」が最も高い（図表3-7）。

図表3-7 講座や活動の種類（学びおくりの実施状況別）

	n	民間主催の 教室・講座	サークルや グループなど での活動	市主催の 教室・講座	ラジオ・ テレビの講座	インター ネット等
学びおくり「している」	199	48.2	24.1	18.6	18.6	12.6
学びおくり「していない」	125	34.4	13.6	11.2	8.8	15.2

	n	独学	市内・近郊の 大学主催の 公開講座	コミュニティ センター主催 の行事	その他	無回答
学びおくり「している」	199	9.0	9.5	6.5	6.5	2.5
学びおくり「していない」	125	17.6	8.0	4.0	14.4	7.2

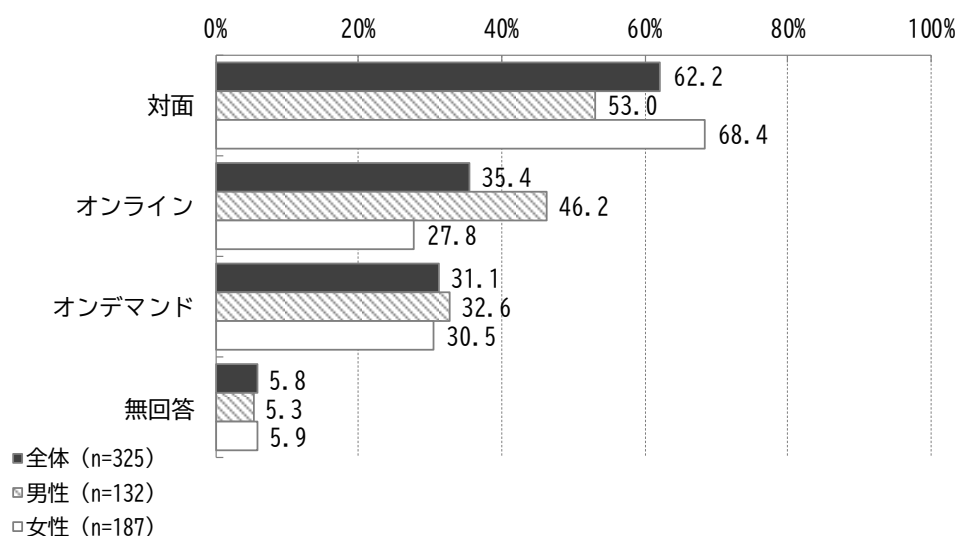
問5 あなたは、対面で学びましたか、それともオンライン、オンデマンドで学びましたか。
(○はいくつでも)

過去1年間自分から「学んだことがある」と回答した325人を対象に、どのように学んだか（対面、オンライン、オンデマンド）をきいたところ、「対面」（62.2%）が最も高く、次いで「オンライン」（35.4%）、「オンデマンド」（31.1%）となっている。

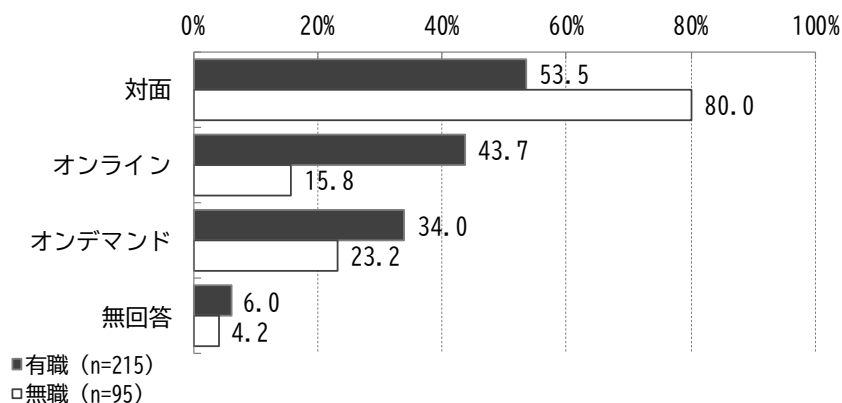
性別では、「男性」の方が「女性」よりも「オンライン」「オンデマンド」が高くなっている（図表3-8）。

職業の有無別でみると、「無職」では「対面」が80.0%と突出している一方、「有職」の方が「無職」よりも「オンライン」「オンデマンド」が高くなっている（図表3-9）。

図表3-8 どのように学んだか（全体、性別）

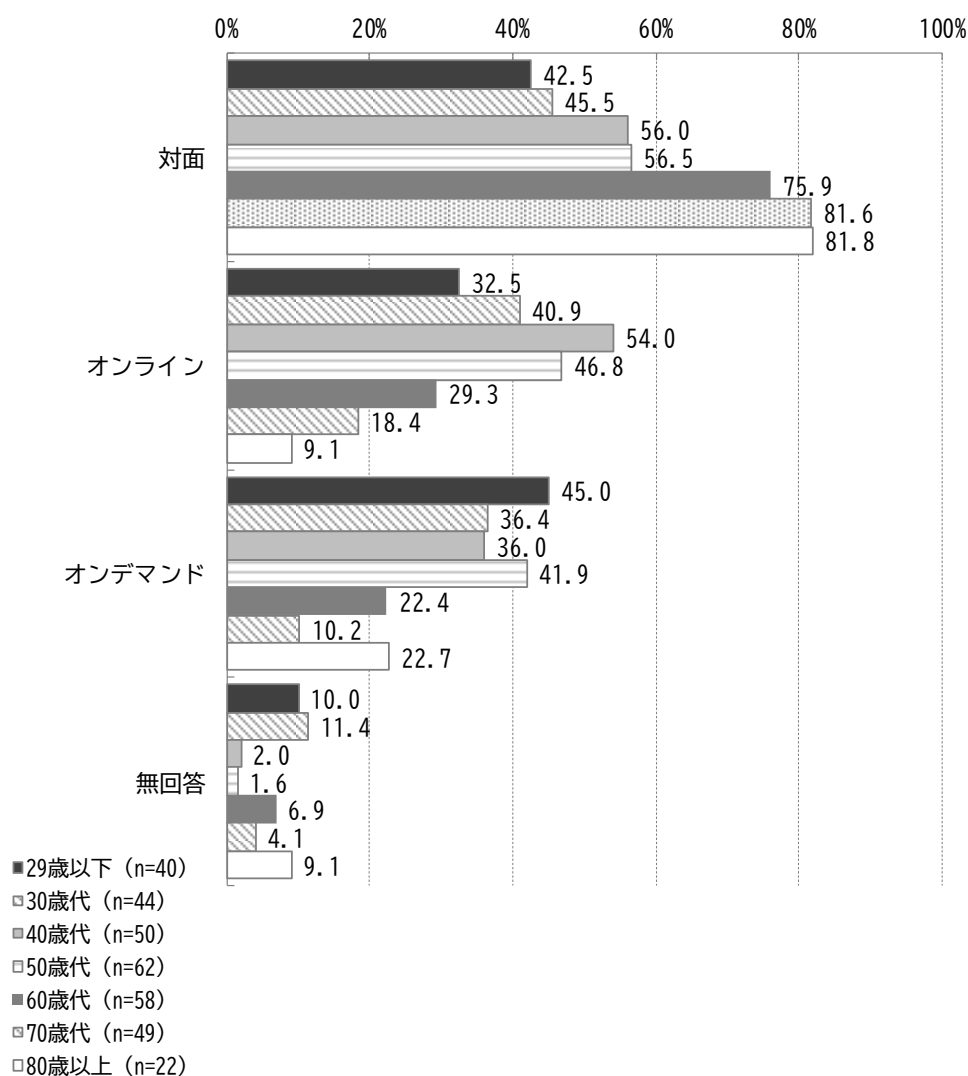


図表3-9 どのように学んだか（職業の有無別）



年代別でみると、「対面」の中での比較では「60 歳代」以上が高い一方、「オンライン」では「40 歳代」「50 歳代」「30 歳代」、「オンデマンド」では「29 歳以下」「50 歳代」「30 歳代」「40 歳代」で高くなっている（図表 3-10）。

図表 3-10 どのように学んだか（年代別）



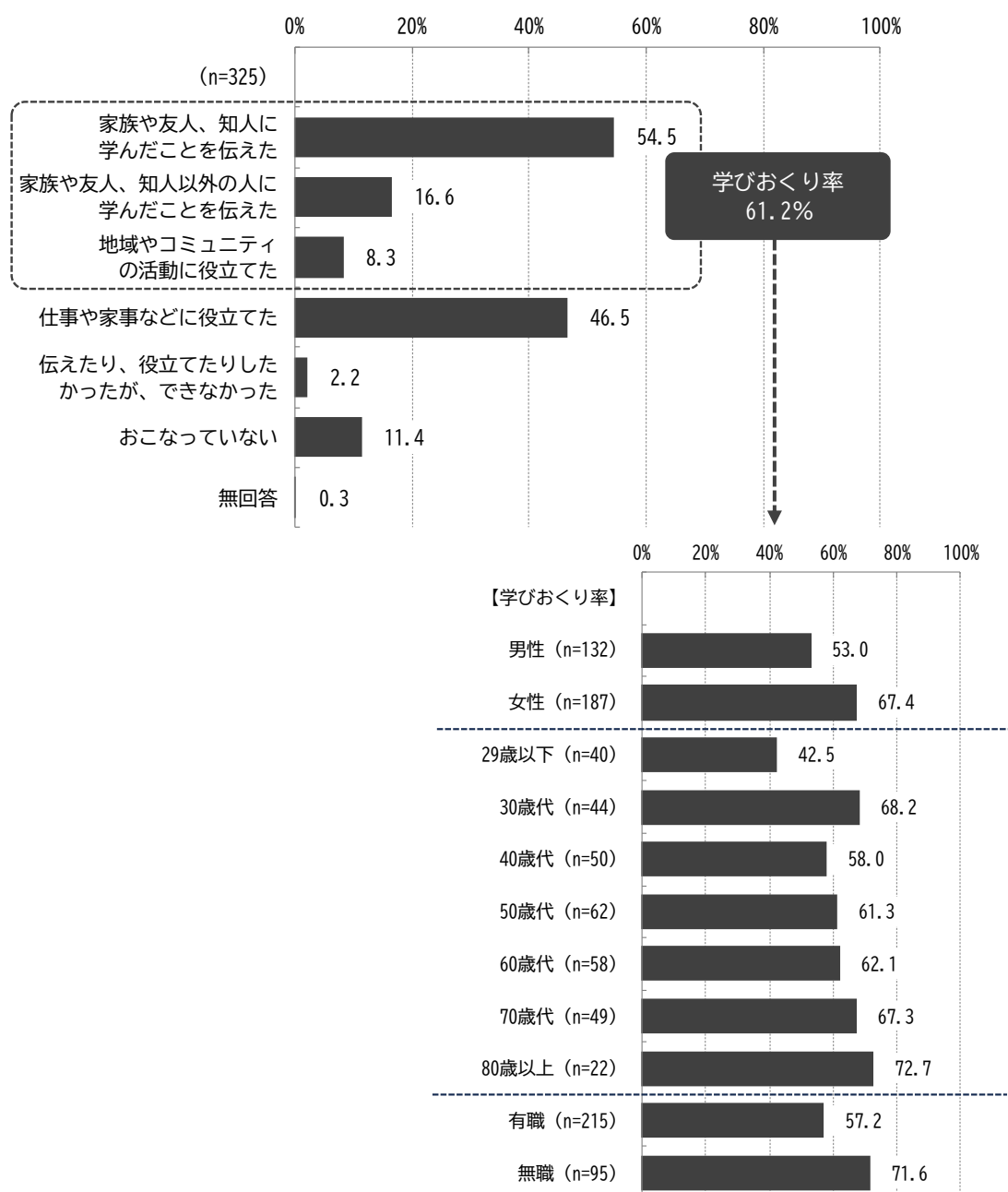
問6 あなたは、過去1年間に学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしましたか。(〇はいくつでも)

過去1年間自分から「学んだことがある」と回答した325人を対象に、学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしたか(学びおくり)をきいたところ、「家族や友人、知人に学んだことを伝えた」「家族や友人、知人以外の人に学んだことを伝えた」「地域やコミュニティの活動に役立てた」のいずれかに〇をした「学びおくり率」は、61.2%となっている。

また、その内、「地域やコミュニティの活動に役立てた」は、8.3%となっている。

「学びおくり率」をみると、性別では「女性」、年代別では「80歳以上」、職業の有無別では「無職」が高い(図表3-11)。

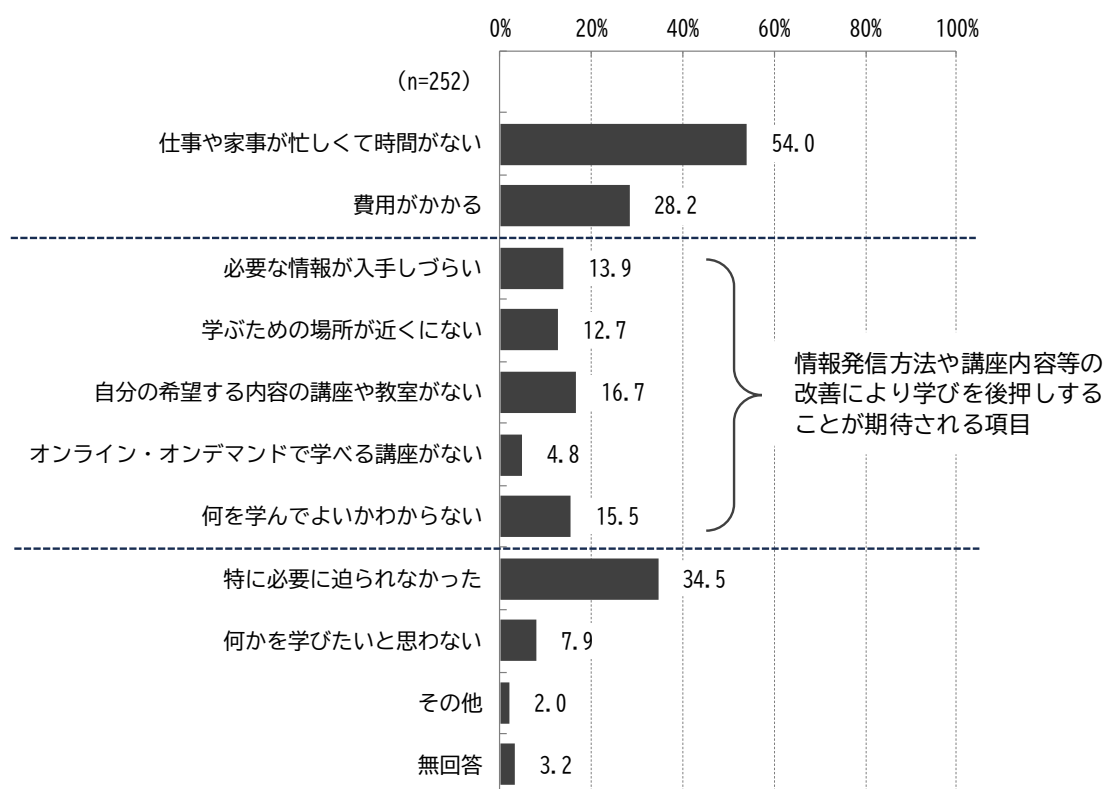
図表3-11 過去1年間に学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしたか、「学びおくり率」(性別、年代別、職業の有無別)



問7 選んだ理由を教えてください。(〇はいくつでも)

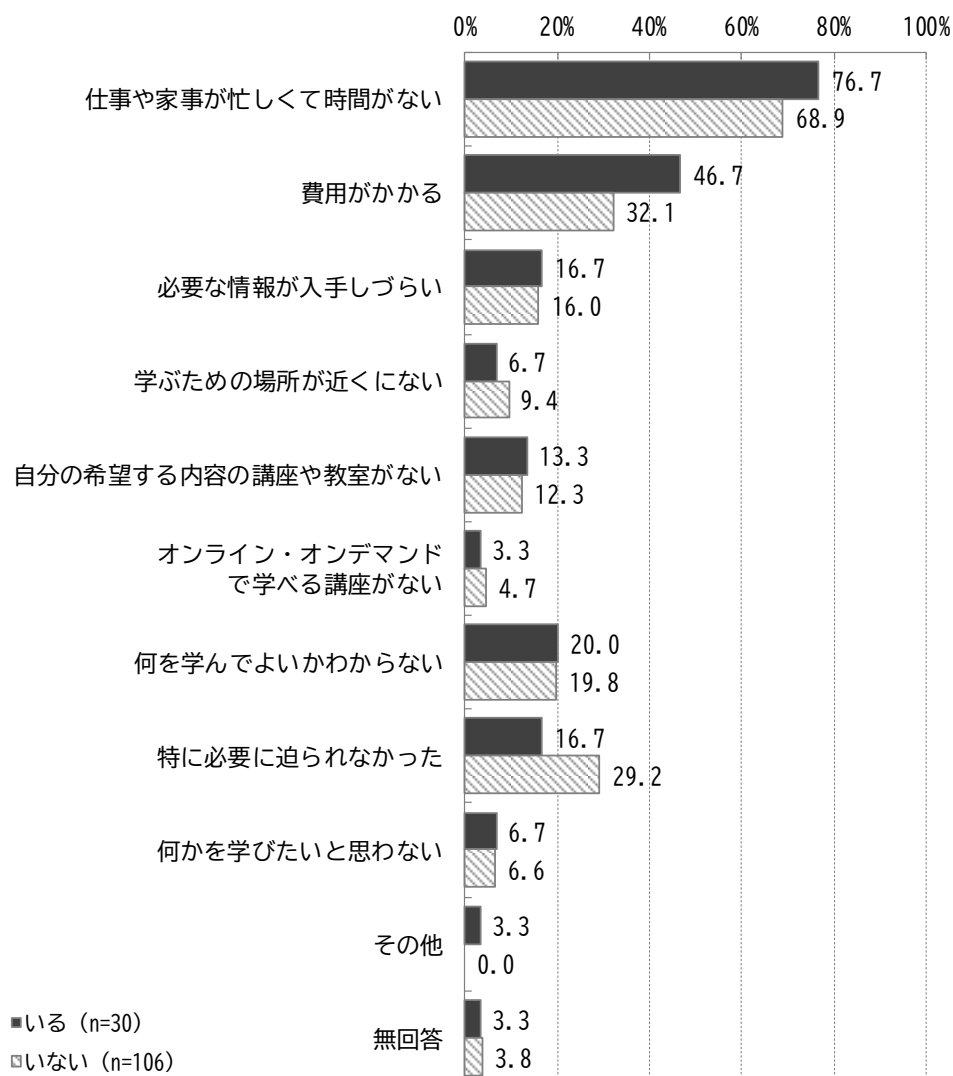
過去1年間自分から「学びたかったが、できなかった」または「学んだことはない」と回答した252人を対象に、それを選んだ理由をきいたところ、「仕事や家事が忙しくて時間がない」(54.0%)が最も高く、次いで「特に必要に迫られなかった」(34.5%)、「費用がかかる」(28.2%)となっている(図表3-12)。

図表3-12 「学びたかったが、できなかった」または「学んだことはない」の理由



小学生以上 18 歳未満の子どもの有無別（20～50 代）では、「いる」「いない」とともに「仕事や家事が忙しくて時間がない」が最も高く、次いで「費用がかかるとなっている（図表 3-13）。

図表 3-13 「学びたかったが、できなかった」または「学んだことはない」の理由
（小学生以上 18 歳未満の子どもの有無別（20～50 代））



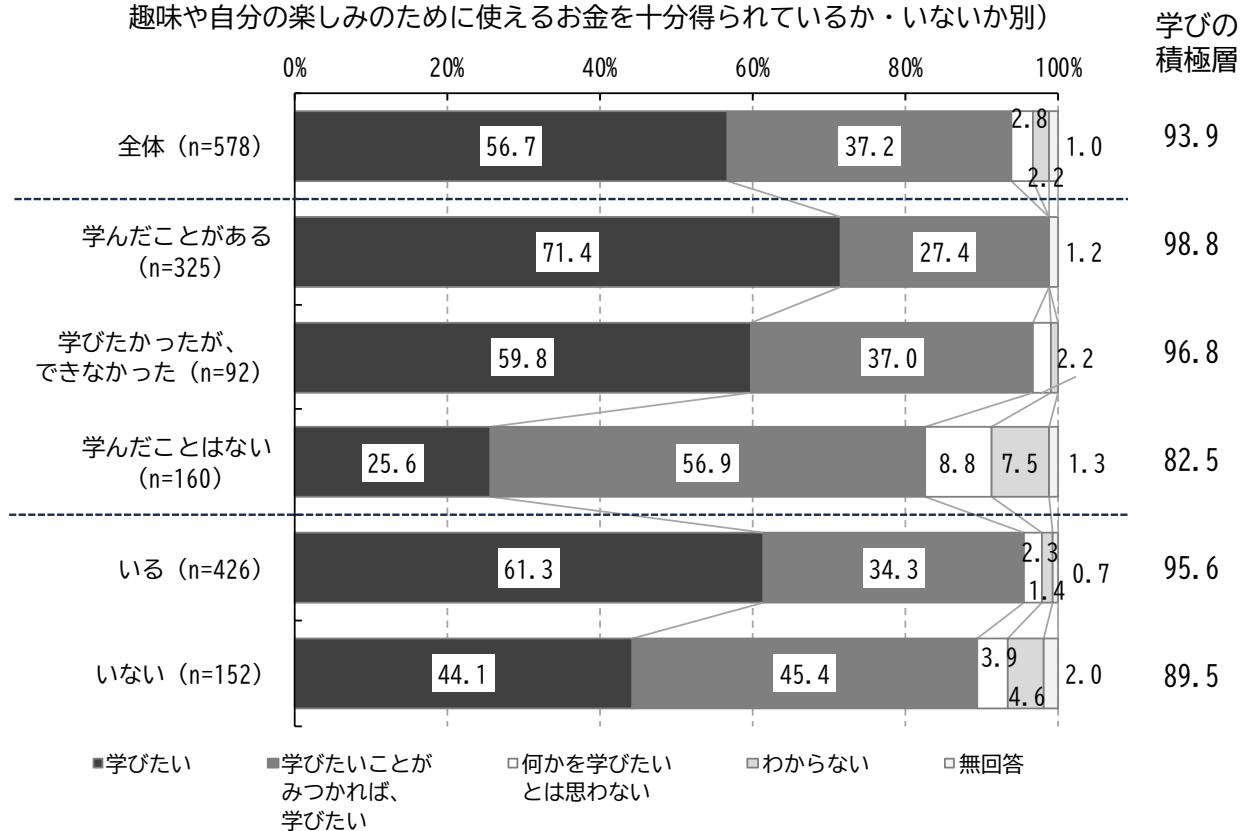
問8 あなたは、今後、何かを自分から学びたいと思いますか。(○は1つ)

今後、何かを自分から学びたいと思うかについては、学びの積極層（「学びたい」と「学びたいことがみつければ、学びたい」の合計）が93.9%と高い割合であり、「何かを学びたいとは思わない」が2.8%、「わからない」が2.2%となっている。

過去1年間自分から学んだ経験別でみると、「学んだことがある」人は今後「学びたい」が71.4%、「学んだことはない」人では「学びたいことがみつければ、学びたい」が56.9%となっている。

趣味や自分の楽しみのために使えるお金を十分得られているか・いないか別でみると、「いる」では「学びたい」（61.3%）が最も高い一方、「いない」では「学びたいことがみつければ、学びたい」（45.4%）が最も高くなっている。また、学びの積極層については、「いる」では95.6%、「いない」では89.5%となっている（図表3-14）。

図表3-14 今後、何かを自分から学びたいと思うか（全体、過去1年間自分から学んだ経験別、趣味や自分の楽しみのために使えるお金を十分得られているか・いないか別）

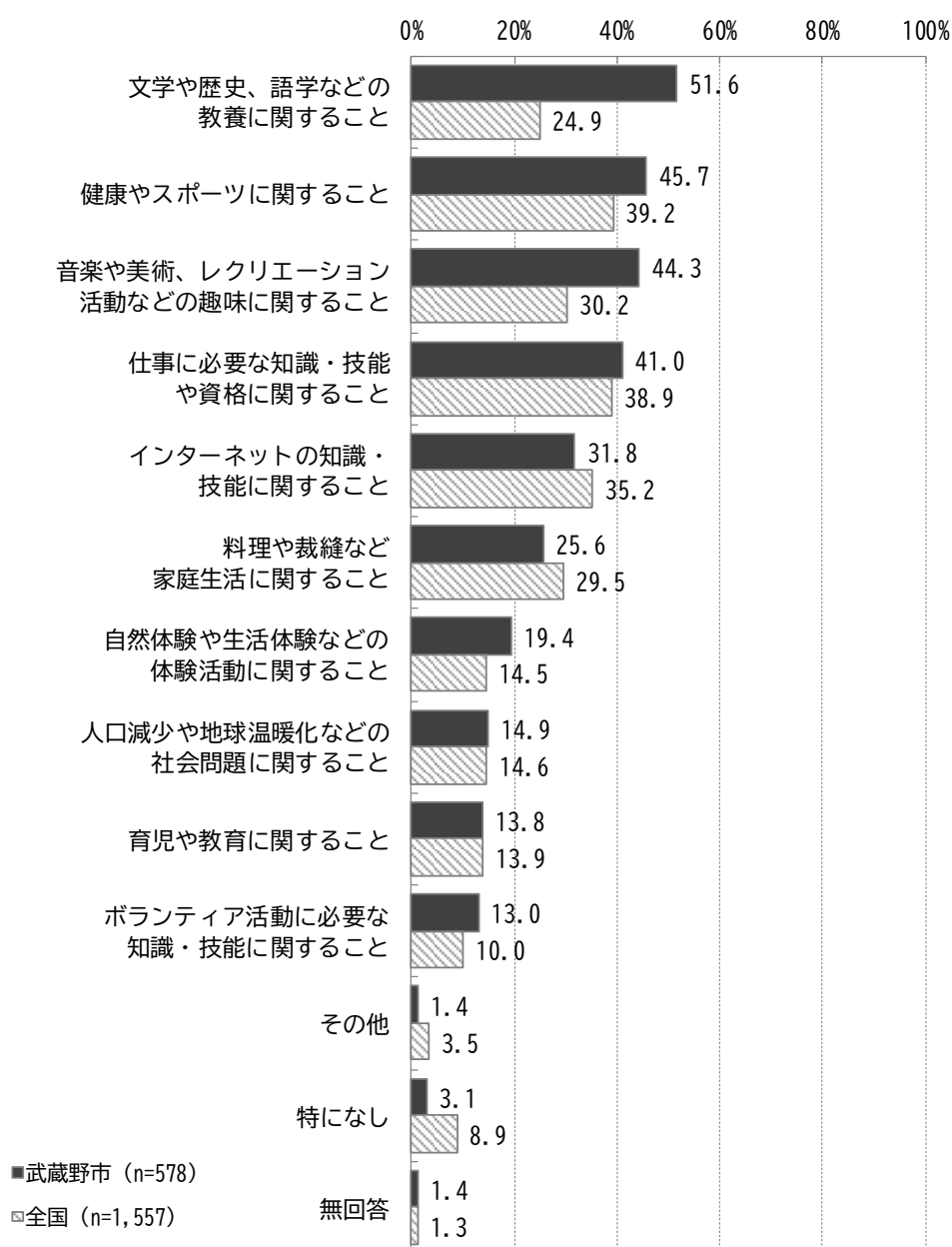


問9 あなたは今後どのようなことを学びたいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後どのようなことを学びたいかについては、「文学や歴史、語学などの教養に関すること」(51.6%)が最も高く、次いで「健康やスポーツに関すること」(45.7%)、「音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること」(44.3%)、「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」(41.0%)となっている。

また、全国調査⁵と比較すると、「文学や歴史、語学などの教養に関すること」では 26.7ポイント高くなっている(図表3-15)。

図表3-15 今後どのようなことを学びたいか(全国調査との比較)



⁵ 出典:内閣府世論調査「生涯学習に関する世論調査」(令和4年7月調査)
<https://survey.gov-online.go.jp/r04/r04-gakushu/>

上位3項目を性別でみると、「男性」「女性」とともに「文学や歴史、語学などの教養に関すること」が最も高い。

また、年代別でみると、「29歳以下」「30歳代」「40歳代」では「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」、「50歳代」では「文学や歴史、語学などの教養に関すること」、「60歳代」「70歳代」「80歳以上」では「健康やスポーツに関すること」が最も高い（図表3-16）。

図表3-16 今後どのようなことを学びたいか（性別、年代別での上位3項目）

		n	第1位	第2位	第3位
性別	男性	226	文学や歴史、語学などの教養に関すること	健康やスポーツに関すること	仕事に必要な知識・技能や資格に関すること
			49.6	45.1	43.4
	女性	339	文学や歴史、語学などの教養に関すること	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること	健康やスポーツに関すること
			53.4	50.1	46.6
年代別	29歳以下	56	仕事に必要な知識・技能や資格に関すること	文学や歴史、語学などの教養に関すること	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること
			76.8	58.9	50.0
	30歳代	75	仕事に必要な知識・技能や資格に関すること	文学や歴史、語学などの教養に関すること	健康やスポーツに関すること
			74.7	52.0	41.3
	40歳代	92	仕事に必要な知識・技能や資格に関すること	文学や歴史、語学などの教養に関すること	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること
			66.3	52.2	46.7
	50歳代	109	文学や歴史、語学などの教養に関すること	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること	健康やスポーツに関すること
			55.0	49.5	48.6
	60歳代	99	健康やスポーツに関すること	文学や歴史、語学などの教養に関すること	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること
			56.6	56.6	46.5
	70歳代	98	健康やスポーツに関すること	文学や歴史、語学などの教養に関すること	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること
			54.1	46.9	36.7
	80歳以上	49	健康やスポーツに関すること	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること	文学や歴史、語学などの教養に関すること
			38.8	38.8	32.7

小学生以上 18 歳未満の子どもの有無別（20～50 代）でみると、「いる」「いない」とともに「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」が最も高い（図表 3-17）。

図表 3-17 今後どのようなことを学びたいか
（小学生以上 18 歳未満の子どもの有無別（20～50 代））

	n	仕事に必要な知識・技能や資格に関すること	文学や歴史、語学などの教養に関すること	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること	健康やスポーツに関すること	インターネットの知識・技能に関すること
いる	69	68.1	42.0	39.1	40.6	31.9
いない	263	60.5	57.4	48.7	41.1	32.7

	n	料理や裁縫などの家庭生活に関すること	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	育児や教育に関すること	ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること	人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること
いる	69	26.1	27.5	23.2	13.0	14.5
いない	263	30.8	20.5	21.3	13.7	12.5

	n	その他	特になし
いる	69	2.9	1.4
いない	263	1.5	2.7

学ぶことに興味があるかの回答別でみると、「肯定的評価」では全体と同様、「文学や歴史、語学などの教養に関すること」が最も高く、次いで「健康やスポーツに関すること」、「音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること」、「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」となっている（図表3-18）。

図表3-18 今後どのようなことを学びたいか（学ぶことに興味があるかの回答別）

	n	文学や歴史、 語学などの教 養に関するこ と	健康やスポー ツに関するこ と	音楽や美術、 レクリエー ション活動な どの趣味に関 すること	仕事に必要な 知識・技能や 資格に関する こと	インターネットの知識・技 能に関するこ と
肯定的評価	519	55.7	46.8	46.6	44.1	33.3
否定的評価	53	9.4	34.0	18.9	13.2	18.9

	n	料理や裁縫な どの家庭生活 に関すること	自然体験や生 活体験などの 体験活動に関 すること	人口減少や地 球温暖化など の社会問題に 関すること	育児や教育に 関すること	ボランティア 活動に必要な 知識・技能に 関すること
肯定的評価	519	27.4	21.2	15.4	14.6	13.9
否定的評価	53	9.4	1.9	5.7	5.7	1.9

	n	その他	特になし
肯定的評価	519	1.3	0.4
否定的評価	53	1.9	30.2

今後、何かを自分から学びたいと思うかの回答別でみると、「学びたい」及び「学びたいことがみつければ、学びたい」とともに「文学や歴史、語学などの教養に関すること」が最も高く、そのほか「音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること」「健康やスポーツに関すること」「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」が上位に挙げられている（図表3-19）。

図表3-19 今後どのようなことを学びたいか（今後、何かを自分から学びたいと思うかの回答別）

	n	文学や歴史、 語学などの教 養に関するこ と	健康やスポー ツに関するこ と	音楽や美術、 レクリエー ション活動な どの趣味に関 すること	仕事に必要な 知識・技能や 資格に関する こと	インターネットの知識・技 能に関するこ と
学びたい	328	61.9	50.3	50.9	50.0	34.1
学びたいことがみつ ければ、学びたい	215	42.8	39.5	40.0	33.0	31.2
何かを学びたいとは思 わない	16	0.0	31.3	0.0	12.5	6.3
わからない	13	15.4	46.2	15.4	0.0	15.4

	n	料理や裁縫な どの家庭生活 に関すること	自然体験や生 活体験などの 体験活動に関 すること	人口減少や地 球温暖化など の社会問題に 関すること	育児や教育に 関すること	ボランティア 活動に必要な 知識・技能に 関すること
学びたい	328	26.5	24.4	18.3	16.8	14.9
学びたいことがみつ ければ、学びたい	215	26.0	14.9	11.6	11.6	12.1
何かを学びたいとは思 わない	16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	13	23.1	0.0	7.7	0.0	0.0

	n	その他	特になし
学びたい	328	1.8	0.0
学びたいことがみつ ければ、学びたい	215	0.9	2.3
何かを学びたいとは思 わない	16	0.0	56.3
わからない	13	0.0	23.1

今後、学びたい分野について、趣味や自分の楽しみのために使えるお金を十分得られているか・いないか別でみると、「いる」「いない」とともに「文学や歴史、語学などの教養に関すること」が最も高くなっている。

また、「いる」「いない」別に割合を比較すると「健康やスポーツに関すること」「インターネットの知識・技能に関すること」での差が大きくなっている（図表3-20）。

図表3-20 今後どのようなことを学びたいか
（趣味や自分の楽しみのために使えるお金を十分得られているか・いないか別）

	n	文学や歴史、 語学などの教 養に関すること	健康やスポー ツに関すること	音楽や美術、 レクリエー ション活動な どの趣味に関 すること	仕事に必要な 知識・技能や 資格に関す ること	インターネットの知識・技 能に関すること
いる	426	53.8	48.1	45.8	39.7	28.9
いない	152	45.4	38.8	40.1	44.7	40.1

	n	料理や裁縫な どの家庭生活 に関すること	自然体験や生 活体験などの 体験活動に関 すること	人口減少や地 球温暖化など の社会問題に 関すること	育児や教育に 関すること	ボランティア 活動に必要な 知識・技能に 関すること
いる	426	24.9	19.5	16.0	14.6	13.1
いない	152	27.6	19.1	11.8	11.8	12.5

	n	その他	特になし
いる	426	0.7	2.1
いない	152	3.3	5.9

今後、学びたい分野について、生涯学習施設の利用経験別でみると、「武蔵野プレイス」「武蔵野市民会館」「武蔵野ふるさと歴史館」の各館で利用経験が「ない」では、全ての館で「文学や歴史、語学などの教養に関すること」が最も高い（図表3-21）。

図表3-21 今後どのようなことを学びたいか（生涯学習施設の利用経験別）

		n	文学や歴史、 語学などの教 養に関すること	健康やスポー ツに関すること	音楽や美術、 レクリエー ション活動な どの趣味に関 すること	仕事に必要な 知識・技能や 資格に関す ること	インターネット の知識・技 能に関す ること
①	利用したことがある	243	57.6	49.0	51.9	42.0	33.7
	利用したことはない	331	47.4	43.2	39.0	40.8	30.8
②	利用したことがある	126	52.4	50.8	52.4	37.3	30.2
	利用したことはない	447	51.5	44.1	42.1	42.5	32.7
③	利用したことがある	43	48.8	51.2	55.8	32.6	41.9
	利用したことはない	530	51.9	45.1	43.4	42.1	31.3

		n	料理や裁縫な どの家庭生活 に関すること	自然体験や生 活体験などの 体験活動に関 すること	人口減少や地 球温暖化など の社会問題に 関すること	育児や教育に 関すること	ボランティア 活動に必要な 知識・技能に 関すること
①	利用したことがある	243	30.9	23.9	18.1	18.5	16.0
	利用したことはない	331	22.1	16.0	11.8	10.6	10.6
②	利用したことがある	126	28.6	23.0	20.6	21.4	13.5
	利用したことはない	447	24.8	18.1	12.5	11.9	12.5
③	利用したことがある	43	30.2	30.2	25.6	18.6	11.6
	利用したことはない	530	25.3	18.3	13.4	13.6	12.8

		n	その他	特になし
①	利用したことがある	243	0.8	1.2
	利用したことはない	331	1.5	4.5
②	利用したことがある	126	0.8	2.4
	利用したことはない	447	1.3	3.4
③	利用したことがある	43	0.0	0.0
	利用したことはない	530	1.3	3.4

※①武蔵野プレイス、②武蔵野市民会館、③武蔵野ふるさと歴史館。

2 市の生涯学習施策について

問 10 令和2年度に策定した「第二期武蔵野市生涯学習計画」では「学びおくり」という考え方のもと、これをより浸透させていこうと各種事業を実施しています。あなたは、「学びおくり」を知っていますか。(○は1つ)

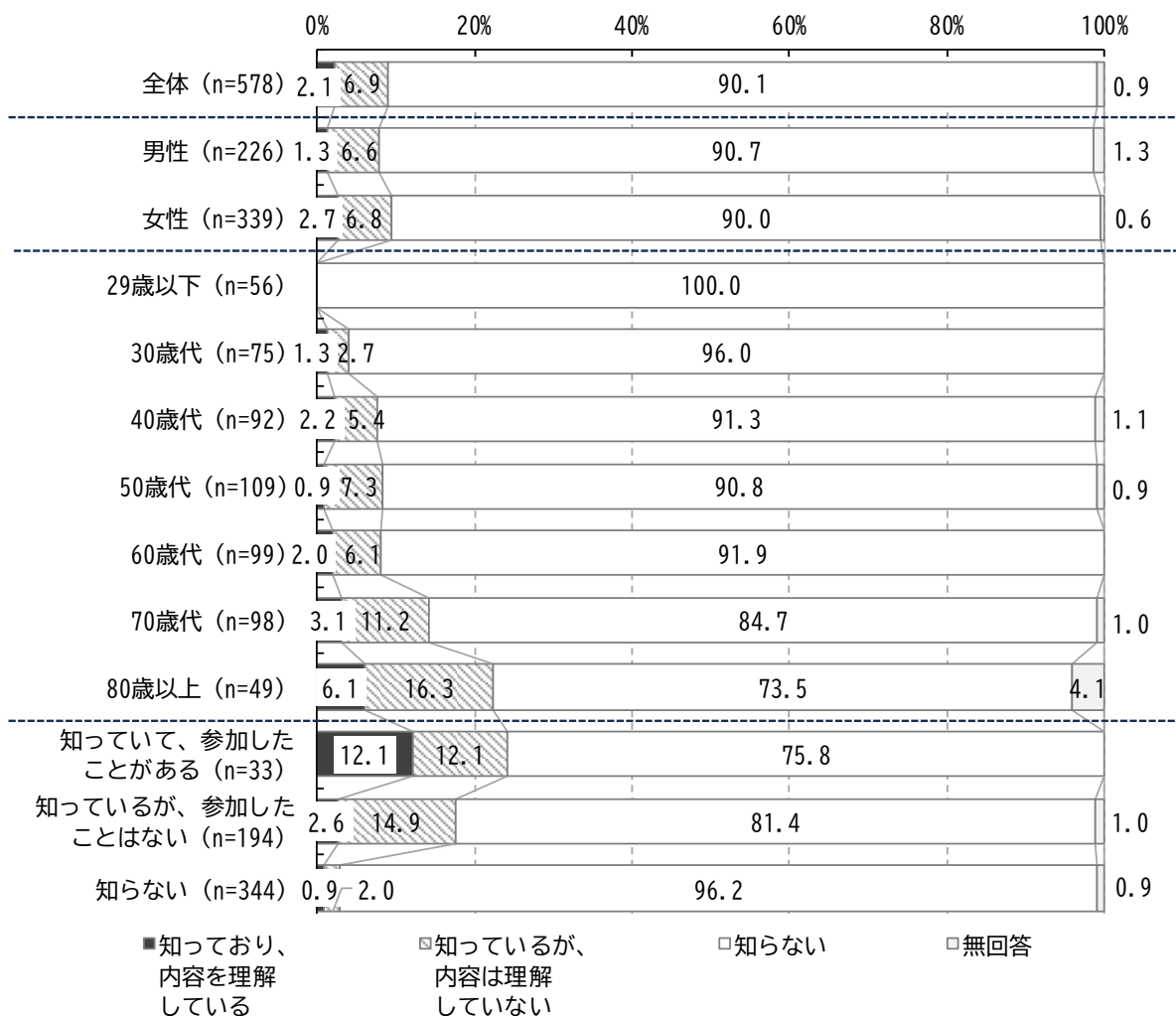
「学びおくり」の認知度（「知っており、内容を理解している」と「知っているが、内容は理解していない」の合計）は、9.0%、「知らない」は90.1%となっている。

また、内容理解度（「知っており、内容を理解している」）は、2.1%となっている。

認知度についてみると、性別では「女性」、年代別では「80歳以上」が高く、「29歳以下」で「知らない」が100.0%となっている。

問 11（35 頁）で後述する「武蔵野地域自由大学」「土曜学校」「むさしのサイエンスフェスタ」「歴史館大学」の各生涯学習事業のなかで、認知度及び参加度が高い「武蔵野地域自由大学」での講座への参加状況別でみると、「知っていて、参加したことがある」では認知度が24.2%、内容理解度が12.1%で、「知っているが、内容は理解していない」「知らない」よりも高くなっている（図表3-22）。

図表3-22 「学びおくり」の認知度、内容理解度（全体、性別、年代別、武蔵野地域自由大学での講座への参加状況別）

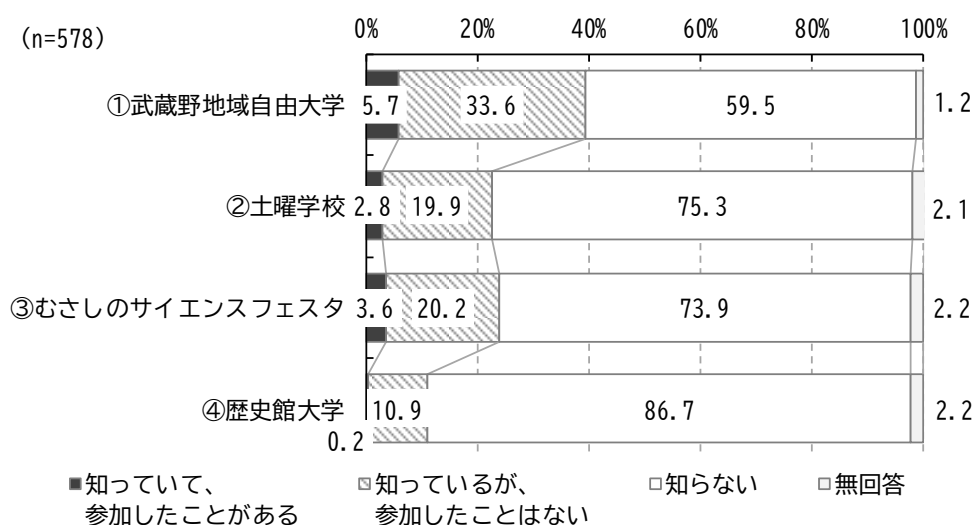


問 11 武蔵野市では、様々な生涯学習事業（講座等）を実施しています。以下の各事業について、ご回答ください。（○は各1つ）

「武蔵野地域自由大学」「土曜学校」「むさしのサイエンスフェスタ」「歴史館大学」の認知度（「知っている、参加したことがある」と「知っているが、参加したことはない」の合計）については、「武蔵野地域自由大学」（39.3％）が最も高く、次いで「むさしのサイエンスフェスタ」（23.8％）、「土曜学校（サイエンスクラブ、ピタゴラスクラブ、おかねの教室など）」（22.7％）、「歴史館大学」（11.1％）となっている。

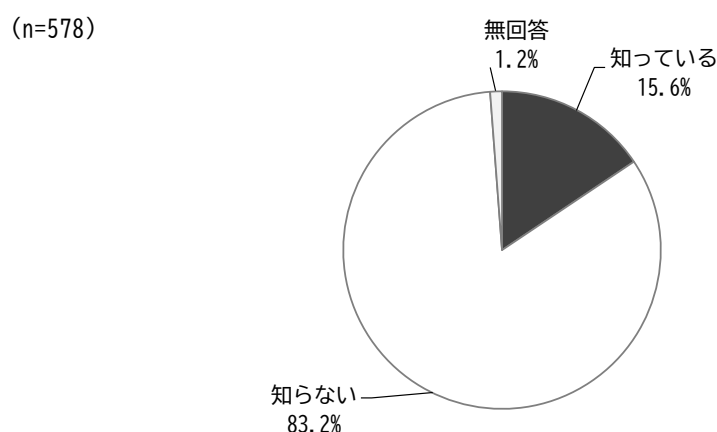
また、参加度（「知っている、参加したことがある」）は、「武蔵野地域自由大学」（5.7％）が最も高く、次いで「むさしのサイエンスフェスタ」（3.6％）となっている（図表3-23）。

図表3-23 「武蔵野地域自由大学」「土曜学校」「むさしのサイエンスフェスタ」「歴史館大学」の認知度、参加度



「生涯学習事業費補助金 子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金」の認知度については、「知っている」が15.6％、「知らない」が83.2％となっている（図表3-24）。

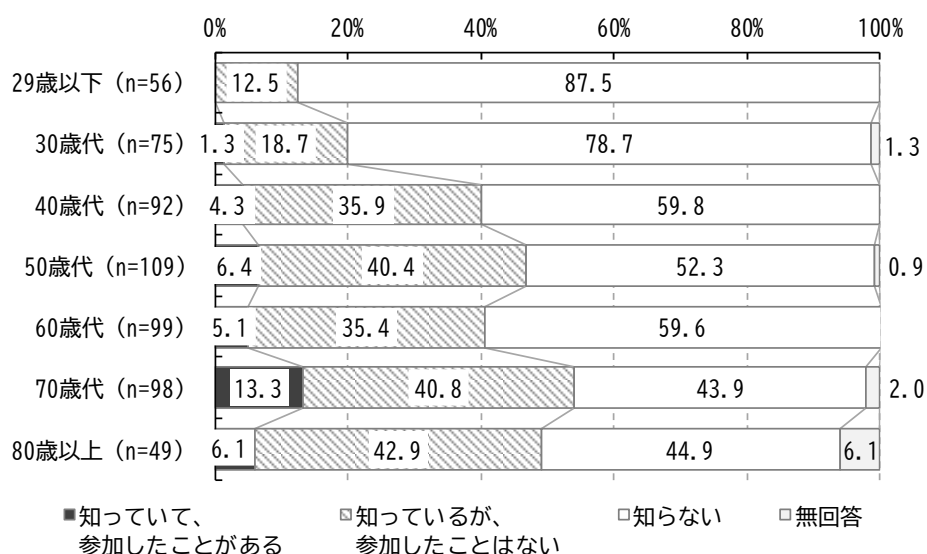
図表3-24 「生涯学習事業費補助金 子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金」の認知度



①武蔵野地域自由大学

「武蔵野地域自由大学」の認知度を年代別でみると、「70 歳代」では5 割を超えている。
また、参加度については、「70 歳代」(13.3%) が最も高い(図表 3-25)。

図表 3-25 「武蔵野地域自由大学」の認知度、参加度(年代別)

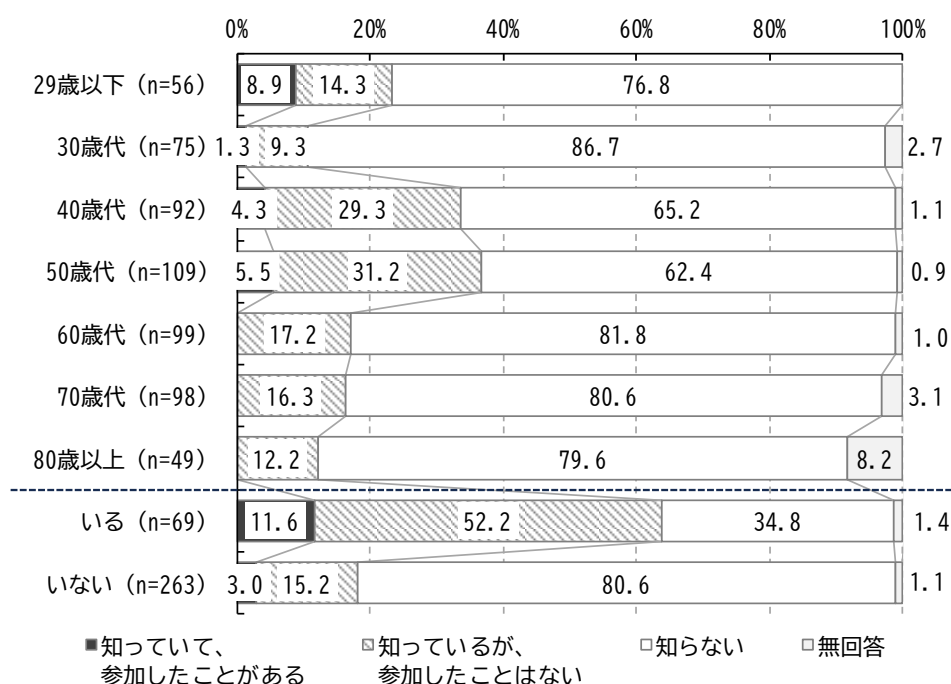


②土曜学校(サイエンスクラブ、ピタゴラスクラブ、おかねの教室など)

土曜学校を認知及び参加したことがある人の傾向等を把握するため、「土曜学校」の認知度を年代別でみると、「50 歳代」「40 歳代」では3 割を超えている。また、参加度については、「29 歳以下」(8.9%) が最も高い。

また、小学生以上 18 歳未満の子どもの有無別(20~50 代)では、「いる」の認知度が6 割を超え、参加度は約 1 割となっている(図表 3-26)。

図表 3-26 「土曜学校」の認知度、参加度(年代別、
小学生以上 18 歳未満の子どもの有無別(20~50 代))

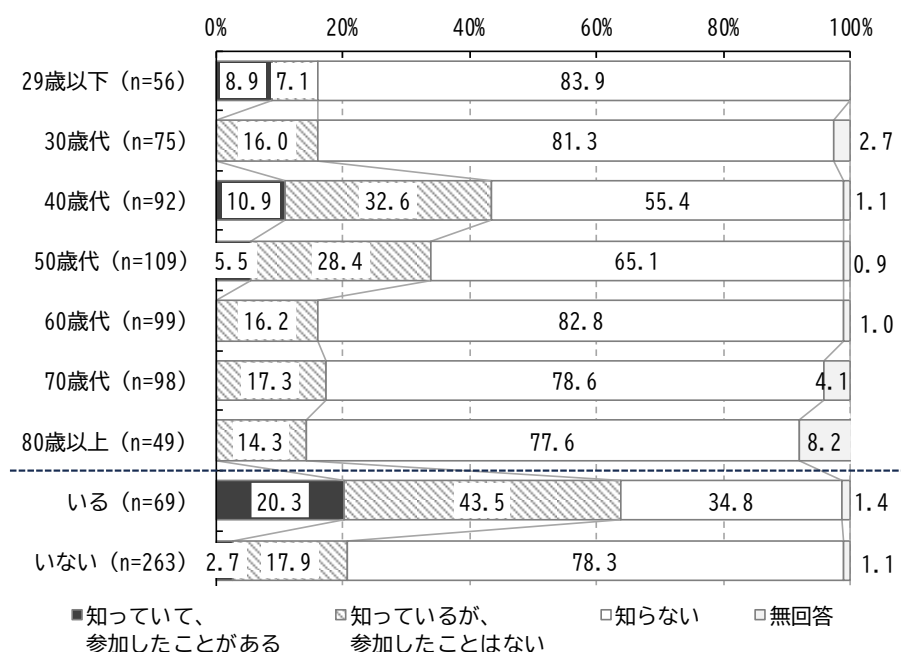


③むさしのサイエンスフェスタ

「むさしのサイエンスフェスタ」の認知度を年代別でみると、「40 歳代」では4割を超えている。また、参加度については、「40 歳代」(10.9%) が最も高い。

また、小学生以上 18 歳未満の子どもの有無別 (20～50 代) では、「いる」の認知度が6割を超え、参加度は2割を超えている (図表 3-27)。

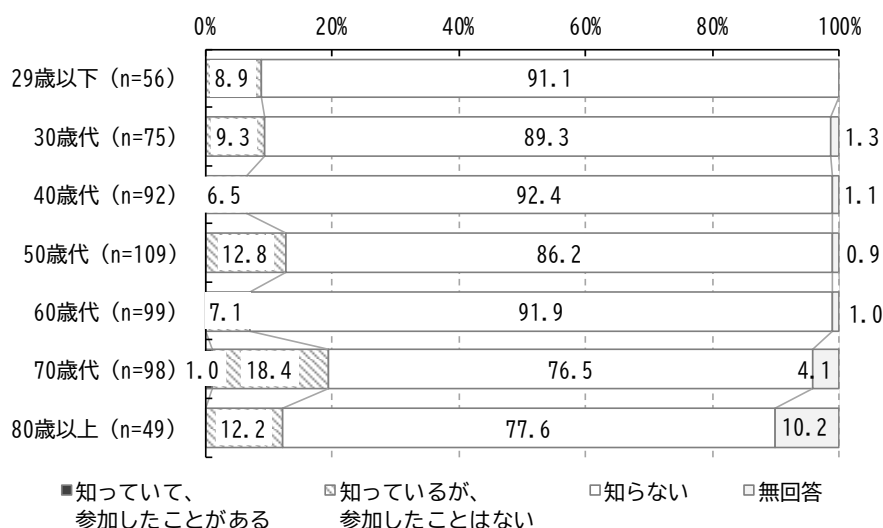
図表 3-27 「むさしのサイエンスフェスタ」の認知度、参加度
(年代別、小学生以上 18 歳未満の子どもの有無別 (20～50 代))



④歴史館大学

「歴史館大学」の認知度を年代別でみると、「70 歳代」(19.4%) が最も高い。また、参加度については、「70 歳代」(1.0%) のみ参加経験があり、その他の年代での参加経験はない状況である (図表 3-28)。

図表 3-28 「歴史館大学」の認知度、参加度 (年代別)

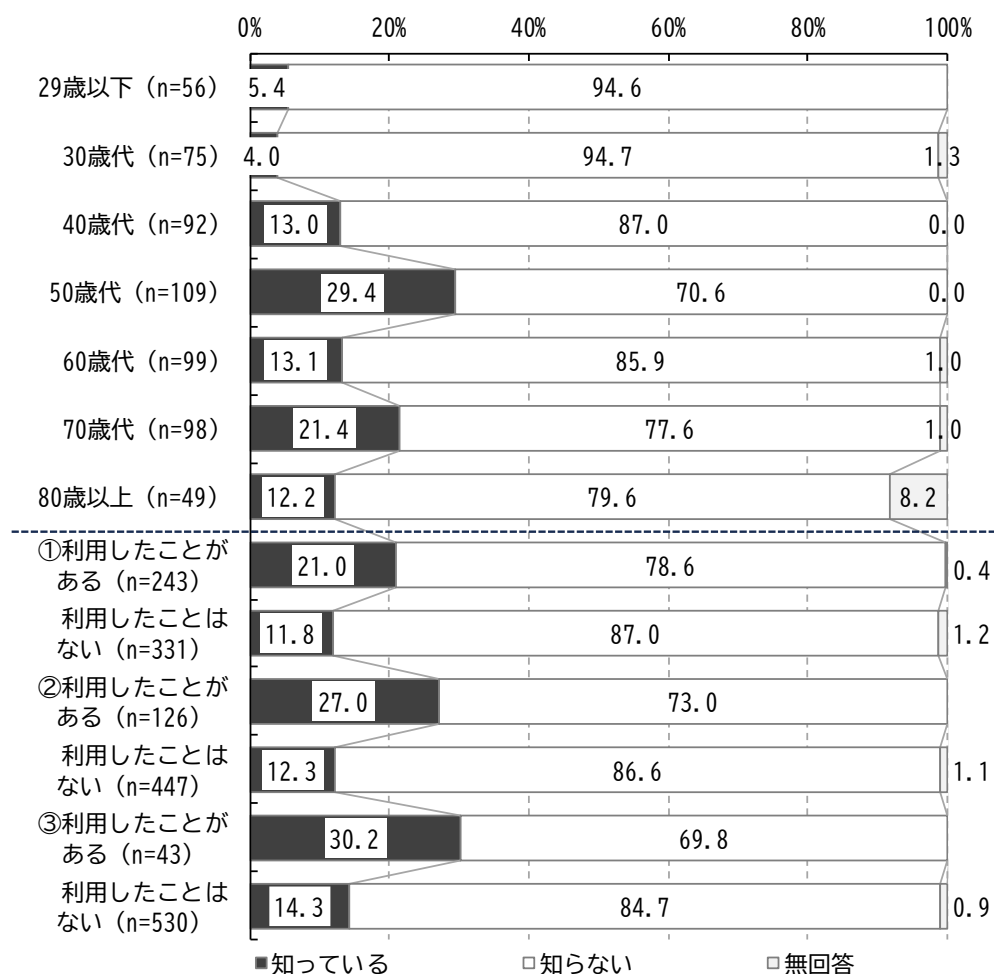


⑤生涯学習事業費補助金 子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金

「生涯学習事業費補助金」「子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金」の認知度を年代別でみると、「50 歳代」(29.4%)が最も高く、次いで「70 歳代」(21.4%)となっている。

また、生涯学習施設の利用経験別でみると、全ての館で「利用したことがある」の方が「利用したことはない」よりも「知っている」が高くなっている(図表3-29)。

図表3-29 「生涯学習事業費補助金 子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金」の認知度(年代別、生涯学習施設の利用経験別)

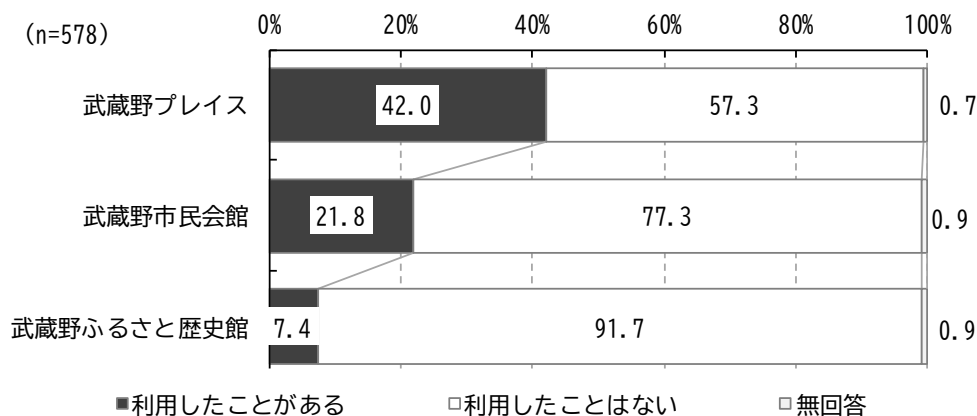


※①武蔵野プレイス、②武蔵野市民会館、③武蔵野ふるさと歴史館。

問 12 武蔵野市にある以下の施設について、ここ1年で利用したことはありますか。
 (○は各1つ) また、「2. 利用したことはない」に○をした施設については、その理由を教えてください。(○は各いくつでも)

ここ1年での利用度(利用したことがある)については、「武蔵野プレイス」が42.0%、「武蔵野市民会館」が21.8%、「武蔵野ふるさと歴史館」が7.4%となっている(図表3-30)。

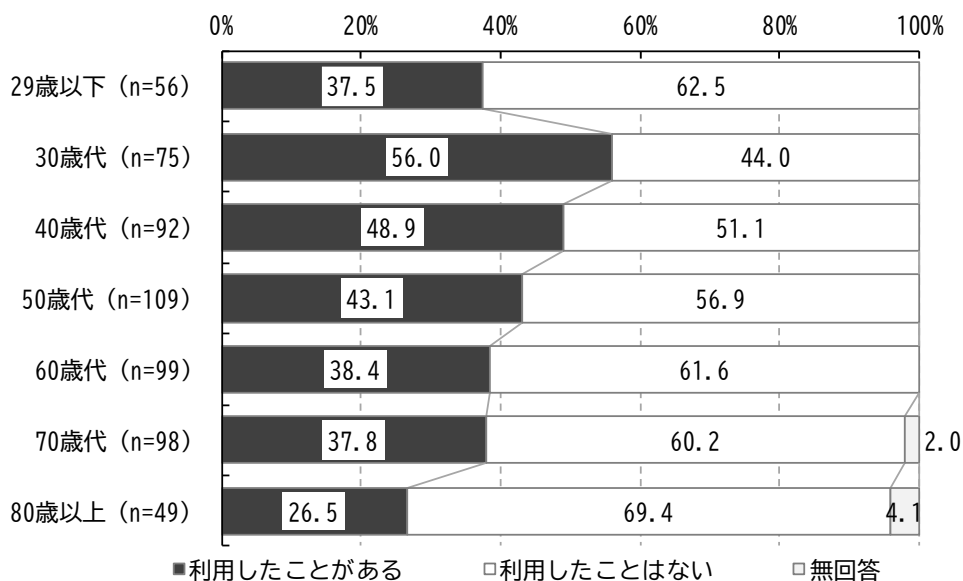
図表3-30 「武蔵野プレイス」「武蔵野市民会館」「武蔵野ふるさと歴史館」のここ1年での利用度



①武蔵野プレイス

「武蔵野プレイス」のここ1年での利用度を年代別でみると、「30歳代」(56.0%)が最も高く、次いで「40歳代」(48.9%)となっている(図表3-31)。

図表3-31 「武蔵野プレイス」のここ1年での利用度(年代別)

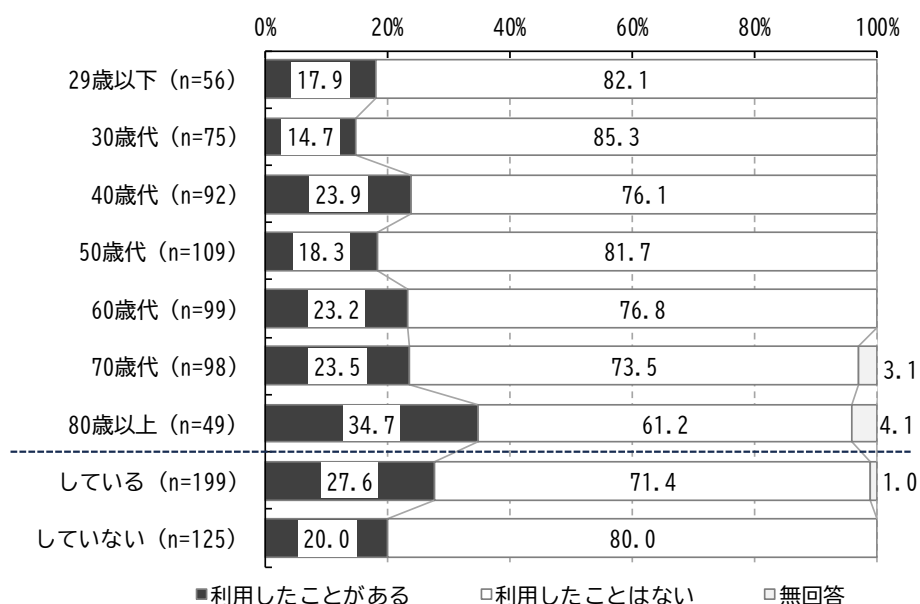


②武蔵野市民会館

「武蔵野市民会館」のここ1年での利用度を年代別でみると、「80歳以上」(34.7%)が最も高く、次いで「40歳代」(23.9%)、「70歳代」(23.5%)、「60歳代」(23.2%)となっている。

また、学びおくりの実施状況別でみると、「している」の方が利用度は高い(図表3-32)。

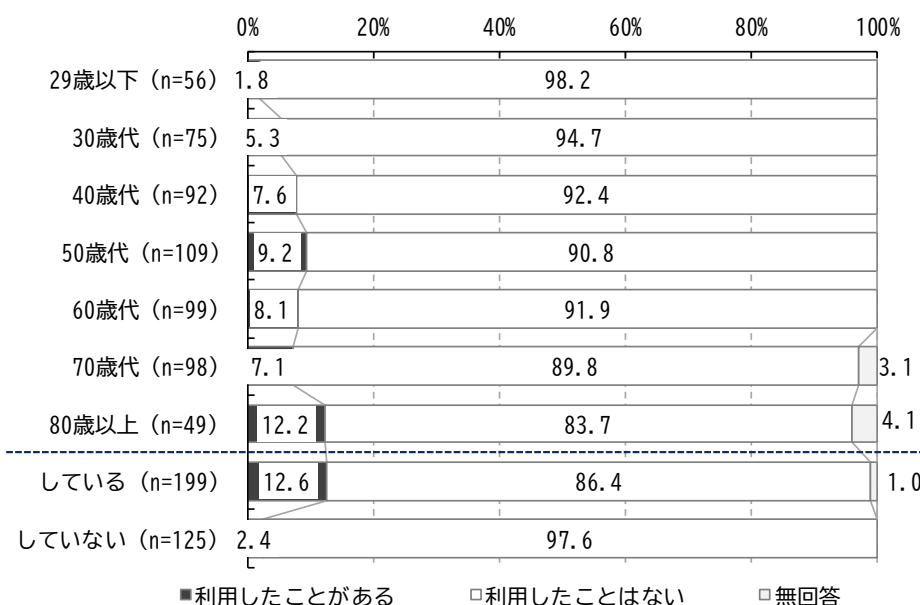
図表3-32 「武蔵野市民会館」のここ1年での利用度(年代別、学びおくりの実施状況別)



③武蔵野ふるさと歴史館

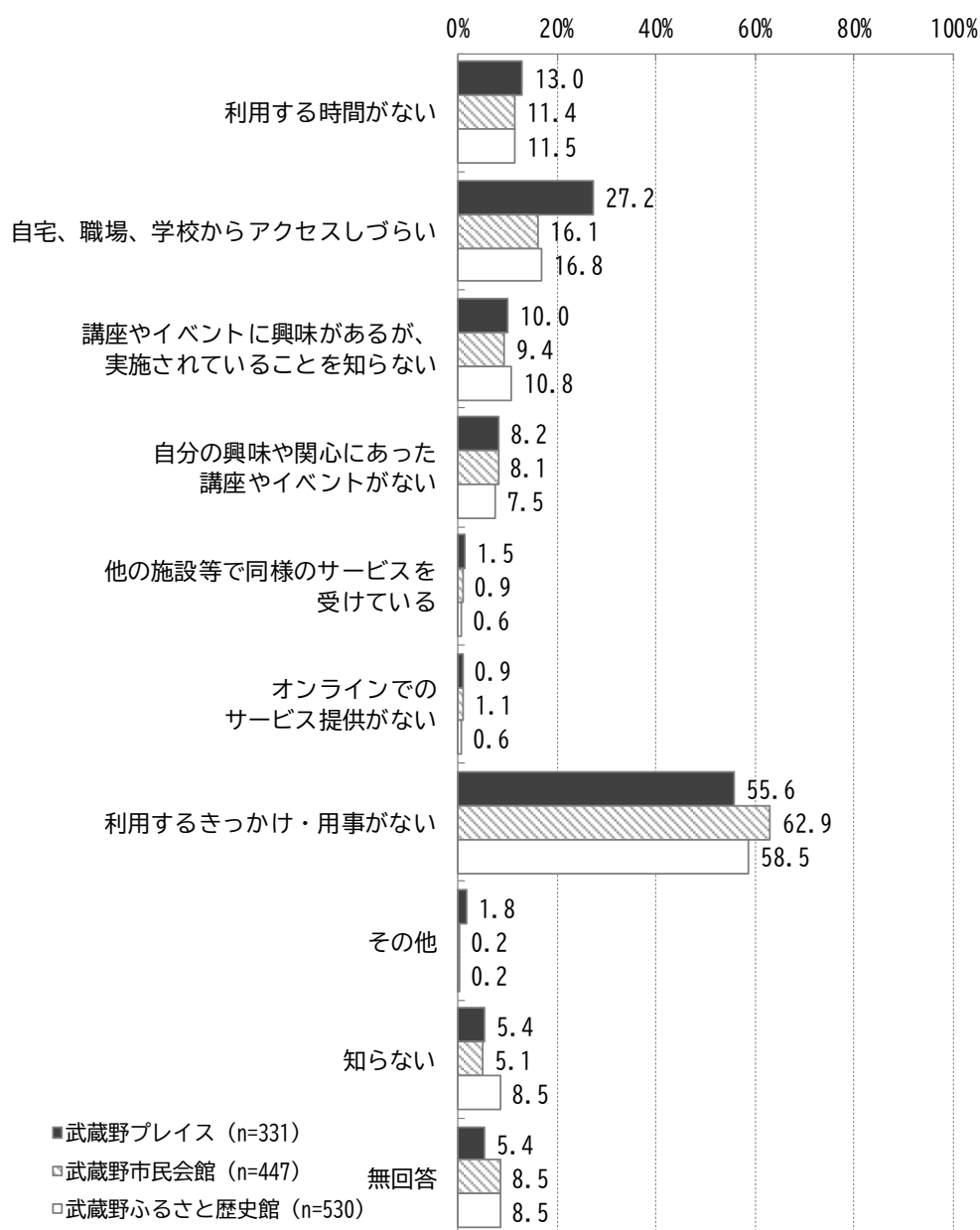
「武蔵野ふるさと歴史館」のここ1年での利用度を年代別でみると、「80歳以上」(12.2%)が最も高く、次いで「50歳代」(9.2%)となっている。また、学びおくりの実施状況別でみると、「している」の方が利用度は高い(図表3-33)。

図表3-33 「武蔵野ふるさと歴史館」のここ1年での利用度(年代別、学びおくりの実施状況別)



また、各館を利用したことがない人にその理由をきいたところ、「武蔵野プレイス」「武蔵野市民会館」「武蔵野ふるさと歴史館」の全ての館において「利用するきっかけ・用事がない」が最も高くなっている（図表3-34）。

図表3-34 「武蔵野プレイス」「武蔵野市民会館」「武蔵野ふるさと歴史館」を利用したことはない理由

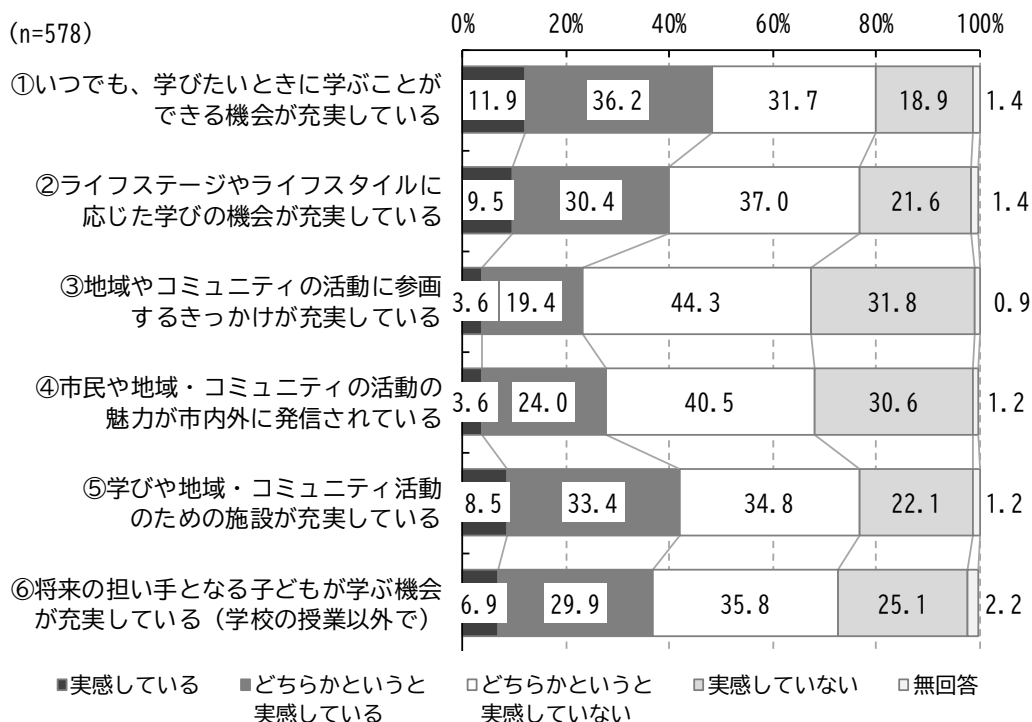


※「知らない」は、調査実施時には選択肢として設けていなかったが、回答数が多かったため、新たにコード化して集計した。

問 13 あなたは、日々の生活のなかで次の①～⑥の事柄について実感することはありますか。
(○は各1つ)

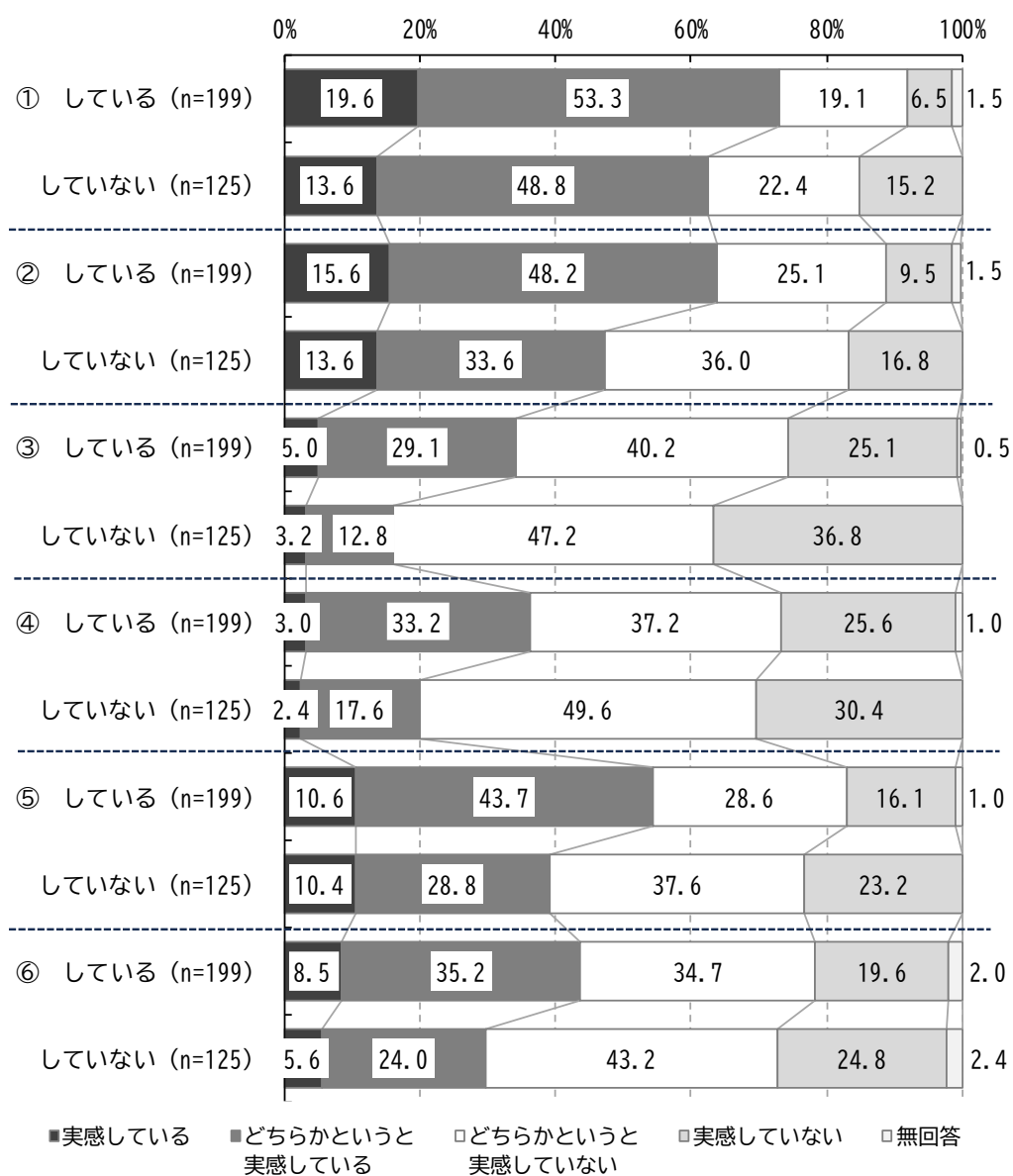
日々の生活のなかで実感することについて、「①いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している」の肯定的評価（「実感している」と「どちらかという実感している」の合計）（48.1％）が最も高く、次いで「⑤学びや地域・コミュニティ活動のための施設が充実している」（41.9％）、「②ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している」（39.9％）、「⑥将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している（学校の授業以外で）」（36.8％）、「④市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている」（27.6％）、「③地域やコミュニティの活動に参画するきっかけが充実している」（23.0％）となっている（図表3-35）。

図表3-35 日々の生活のなかで実感すること（全体）



学びおくりの実施状況別でみると、全ての項目で学びおくりを「している」の方が「していない」よりも肯定的評価が高い（図表3-36）。

図表3-36 日々の生活のなかで実感すること（学びおくりの実施状況別）

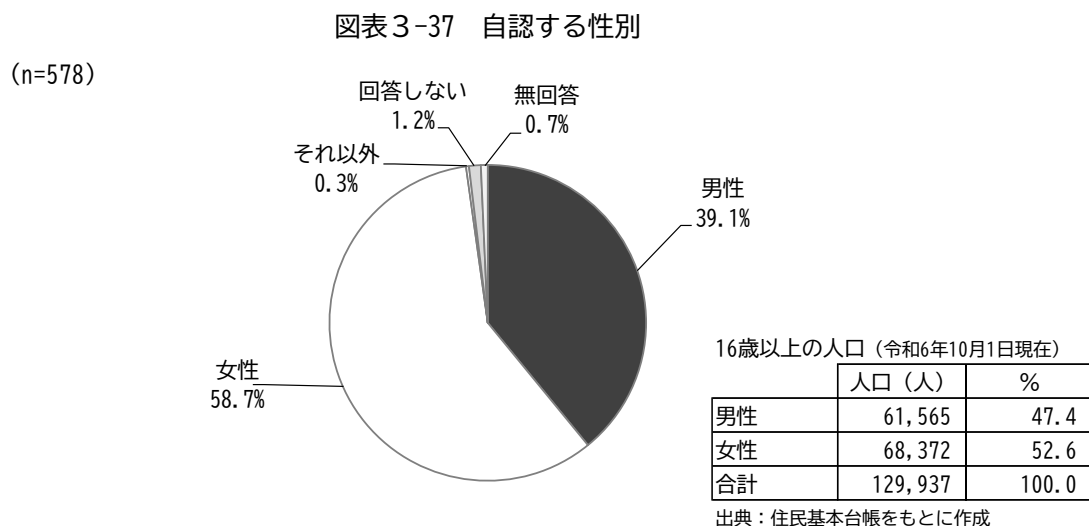


- ※①いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している
 ②ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している
 ③地域やコミュニティの活動に参画するきっかけが充実している
 ④市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている
 ⑤学びや地域・コミュニティ活動のための施設が充実している
 ⑥将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している（学校の授業以外で）

3 あなたご自身について

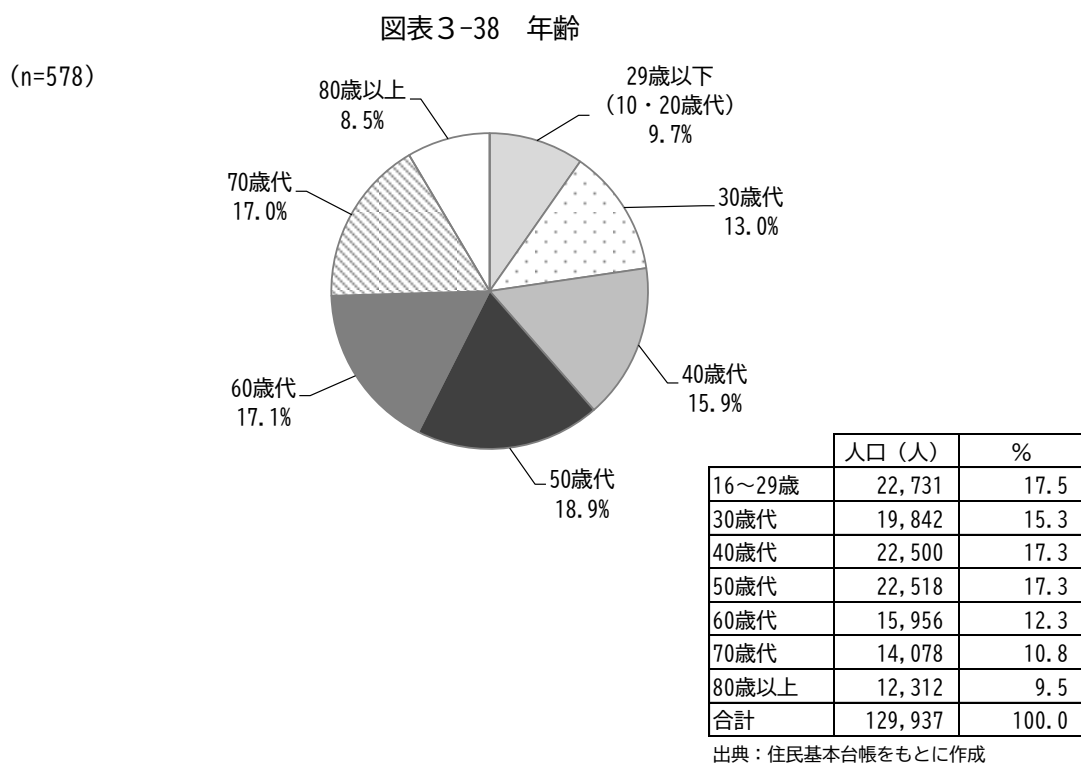
自認する性別（〇は1つ）

性別について、「男性」は39.1%、「女性」は58.7%、「それ以外」は0.3%、「回答しない」は1.2%となっており、母集団の構成比と比較すると「女性」が6.1ポイント高くなっている（図表3-37）。



年齢（〇は1つ）

年齢について、「50歳代」（18.9%）が最も高く、次いで「60歳代」（17.1%）、「70歳代」（17.0%）となっており、母集団の構成比と比較すると「50歳代」～「70歳代」では高く、「16～29歳」～「40歳代」では低くなっている（図表3-38）。

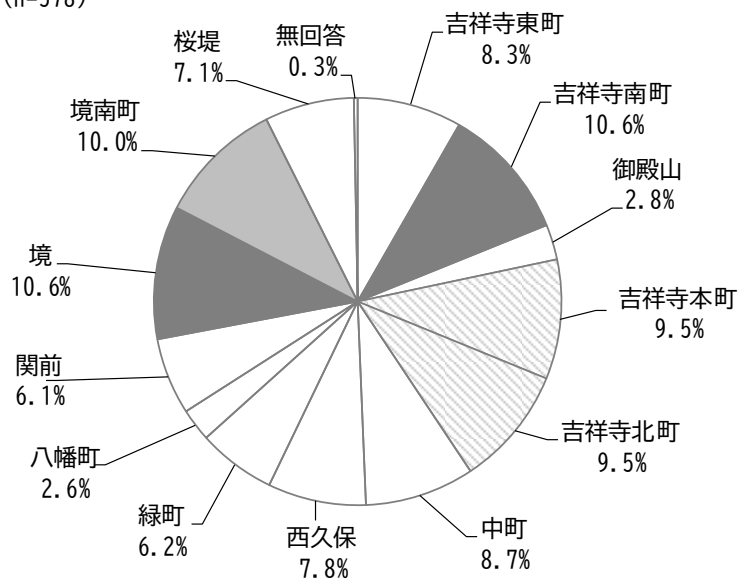


お住まい（○は1つ）

お住まいについて、「吉祥寺南町」「境」（10.6％）が最も高く、次いで「境南町」（10.0％）、
「吉祥寺本町」「吉祥寺北町」（9.5％）となっている（図表3-39）。

図表3-39 お住まい

(n=578)



16歳以上の人口（令和6年10月1日現在）

	人口（人）	%
吉祥寺東町	11,661	9.0
吉祥寺南町	11,933	9.2
御殿山	3,820	2.9
吉祥寺本町	10,763	8.3
吉祥寺北町	13,836	10.6
中町	12,906	9.9
西久保	10,768	8.3
緑町	7,151	5.5
八幡町	3,682	2.8
関前	8,186	6.3
境	14,280	11.0
境南町	13,472	10.4
桜堤	7,479	5.8
合計	129,937	100.0

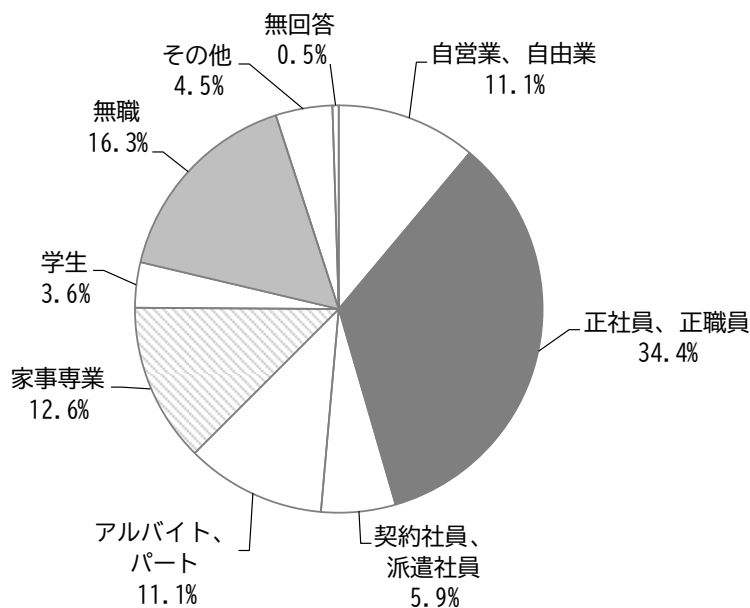
出典：住民基本台帳をもとに作成

職業（○は1つ）

職業について、「正社員、正職員」（34.4％）が最も高く、次いで「無職」（16.3％）、「家事専業」（12.6％）となっている。また、「有職」が62.5％、「無職」が32.5％となっている（図表3-40）。

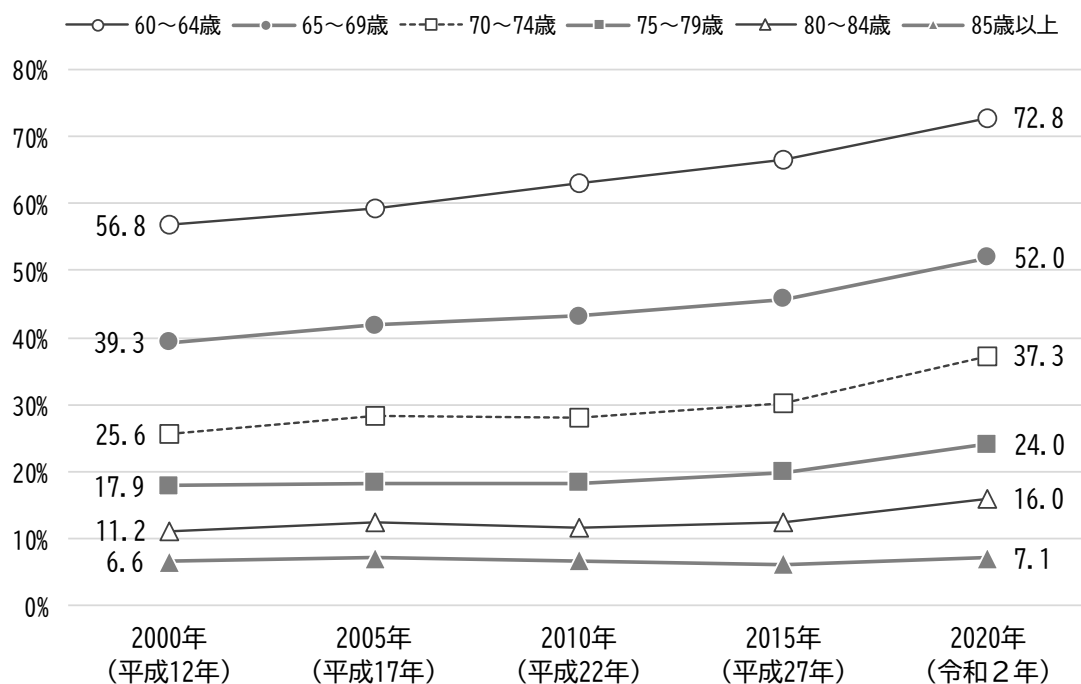
図表3-40 職業

(n=578)



武蔵野市の 60 歳以上の労働力率の推移

武蔵野市の 60 歳以上の労働力率の推移をみると、「60～64 歳」「65～69 歳」「70～74 歳」「75～79 歳」「80～84 歳」において増加傾向にある。



	2000年 (平成12年)	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)
60～64歳	56.8	59.2	63.1	66.5	72.8
65～69歳	39.3	41.8	43.2	45.8	52.0
70～74歳	25.6	28.3	27.9	30.3	37.3
75～79歳	17.9	18.2	18.3	20.0	24.0
80～84歳	11.2	12.3	11.5	12.6	16.0
85歳以上	6.6	7.2	6.7	6.2	7.1

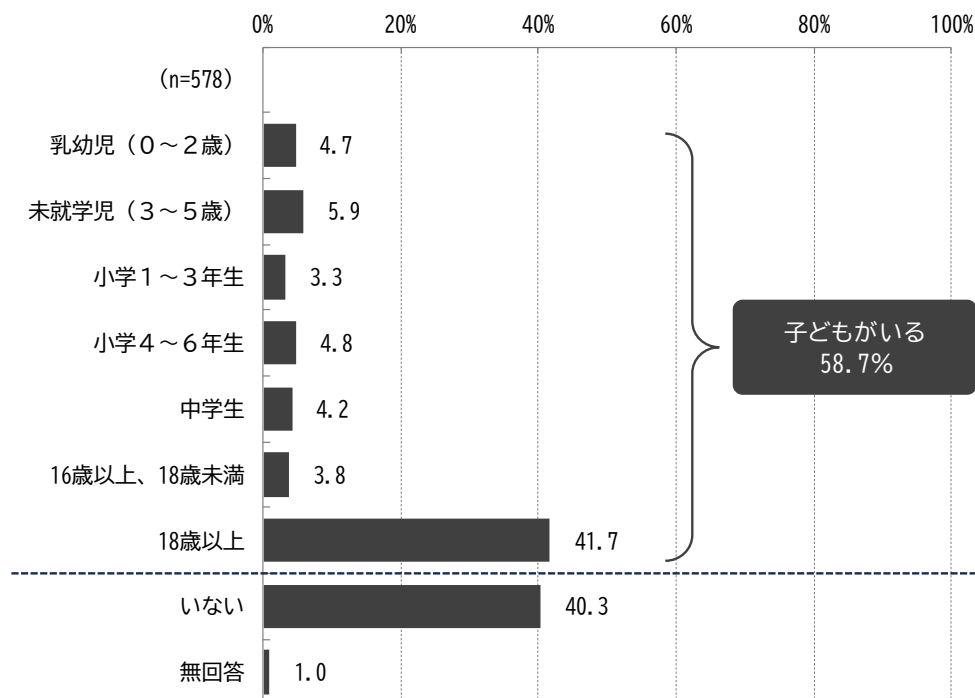
出典：国勢調査をもとに作成

※労働力率（％）＝労働力人口÷（総数（労働力状態）－労働力状態「不詳」）×100

お子さんの有無（〇はいくつでも）

お子さんの有無について、「子どもがいる」は58.7%、「いない」は40.3%となっている。
また、「いる」の中では、「18歳以上」（41.7%）が最も高くなっている（図表3-41）。

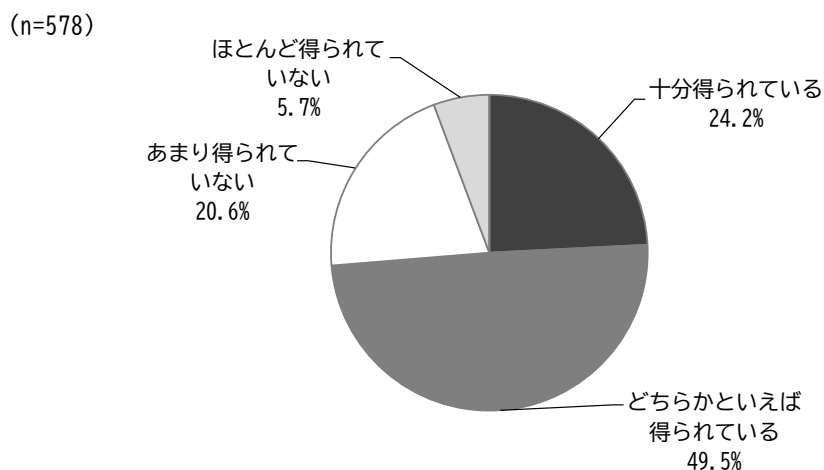
図表3-41 お子さんの有無



あなたは、趣味や自分の楽しみのために使えるお金を十分得られていると思いますか。 （〇は1つ）

趣味や自分の楽しみのために使えるお金を十分得られているかについて、肯定的評価（「十分得られている」と「どちらかといえば得られている」の合計）が73.7%、否定的評価（「あまり得られていない」と「ほとんど得られていない」の合計）が26.3%となっている（図表3-42）。

図表3-42 趣味や自分の楽しみのために使えるお金を十分得られているか



第4章 講座受講者（大人向け）調査結果

1 市の生涯学習講座について

問1 武蔵野市の生涯学習講座をより良くしていくために、どのようにしていくと良いと思いますか。市が開催している生涯学習講座について、どのようなことでも構いませんので、あなたが思うことを自由に記載してください。（武蔵野プレイス、市民会館、ふるさと歴史館、総合体育館、文化施設などで開催するものも含む）

※「講座内容について」「開催方法について」「その他」に分けて質問した。

図表4-1 市の生涯学習講座（講座内容について）

年齢	内容
10代	くわしく説明してくれなおかつ分かりやすかったのが良かったです。
10代	ワークショップや体験がもっとたくさんあると、講座内容が分かりやすい。
10代	香水について学びたい
10代	今日の講座については、スウェーデンの文化に今まで触れたことがなかったので面白かったです。音楽を聴くだけでなく、楽器の演奏体験があったら参加してみたいと思いました。
10代	若者と高齢者の関わりイベント。何かを一緒に体験したり作ったり？
20代	初めて参加しました。これから立ちよるとき、どんなイベントがあるかみたいと思う。
30代	文化に触れる意味で、むさしのばやしや落語、盆踊り練習会などを子供達向けにもっと開催してほしいです。子育て中の悩みが尽きず、ピアサポーターやコミュニティでの支え合いが大事と思うので、今も多く開催していただいているとは思いますが、まだ足りないなので、子供の心理や問題行動に関する理解を深める講座が必要だと思います。
30代	とても興味深く、また豪華なものが多いです。
30代	今回は偶々チラシを目にしたが、そもそもどんな講座がこれまでにあるのか知らない。写真付きの紹介ポスターなどが図書館などにあったら目に留まるかも？
30代	来年からデフリンピックが開催されるので、デフリンピックとは何か？をみなさんに広めていくといいかなと思います。
40代	実際に博物館や美術館に行ったり、その展示の解説等をセットにしてもらえると、ただ見るだけより内容がよくわかるので、そのような企画があれば良いと思う。
40代	ニッケルハルパについて初めて聞きましたが、すばらしい音色でした。演者の方のスウェーデン留学時代の話とからめて、楽器やスウェーデンの文化について学びが深まりました。
40代	日本美術、岡本秋暉、円山応挙、伊藤若冲、ゴッホ、モネ
40代	香りについて学びたい。香道～フレグランス迄
40代	最新の科学に関連した話題の講座の開催
40代	子どもと参加できるものが良いです。
40代	子供が楽しめるクラシックコンサート
40代	視野を広げるための講座に参加したいです。
40代	手話を勉強中なので手話関連の内容を受けましたが、仕事で音楽関連の会社にいるので、ろう者を始め、いろいろな立場の方がいろいろな方法で、音楽やダンスを楽しめるような機会が作れないかなと思います。
40代	手話講座は参加したいと思う。
40代	親子や子ども講座が多くて、ひとりで参加しにくい講座が多い。独身の人が増えているので、そのような人もひとりで参加しやすい講座を作してほしい。

年齢	内容
40代	幅広くて良い
50代	「市民の、そのジャンルになじみのない人に広く浅く」というものと、「より掘り下げる」というものの両方をやってほしい。市民会館の企画が、クラシックとオルガンのファン以外むけのものがもっとあるとよい（ムリガンダムはおもしろかったです）。音楽以外の文化講座もふやしてほしい。
50代	今後もうろ者の活動について、勉強できたらよいです。音楽的なものも聞きたいです。
50代	現役世代で受講できるものが少ない（平日の昼が多い）。土日のプログラムを増やしてほしい。リクエストする講座は、ワインを学ぶ、SNS を始める・活用する。
50代	講座に参加するのは初めてでした。とても勉強になりましたので、また参加したいと思いました。
50代	古文書の読解
50代	市民会館の美術講座はいつも楽しみにしています。抽選に外れた時はがっかり。本日の先生のお話はわかりやすく、続けてほしいです。音楽について（今時からクラシックまで）があるのも興味深い。
50代	多世代交流のできるような講座。10代の子と一緒に学べる講座。高齢者の方ばかりの講座では残念な気がします。
50代	ろう者のこうえん会
50代	今回のような考えさせられる内容はとても良い。見えない問題、課題に気づかせてくれる内容がいい。
50代	手話について受けとるだけでなく、ワークショップのような型で学びながら手話を使える講座に参加したい。
50代	手話学習者でなくても興味深いおもしろい内容でした。
50代	生涯学習講座は手話関連しか参加したことがないため、他にどんな内容の講座があるかわかりませんが、手話学習者のため、もっと他の障害についての講座があると良いと思います。
50代	毎回とても役立っています。
50代	様々なジャンルからテーマを選んで講座がひらかれているので、大変良いと思う。何度か参加しているが、この武蔵野をもっと知ることのできる講座があれば参加したい。（歩きながら、実地型+座学のセットで）
50代	来年は東京でデフリンピックが開催される為、それを盛り上げる内容が良いと思います。
60代	「いきいきセミナー」のように、ひとつのセミナーで様々なテーマをとりあげていただくのはありがたいです。いろいろな分野への興味の扉を開いてくれるので。
60代	「音楽に合わせてゆるく踊る」内容
60代	リアルタイムで受講できなかった時に、配信サービスがあれば良い。
60代	今もあると思いますが、生活につながる講座をしてほしいです。健康維持の方法、介護等。
60代	いろいろな世代が交流できる参加型
60代	絵画鑑賞、西洋美術・歴史
60代	個人的には、引き続き斎藤先生の美術系講座をうかがいたい。また、武蔵野の郷土史にまつわる講義や講演にも興味があります。
60代	古典文学、美術に興味があります。
60代	とても参考になりました。特にストレッチは身体を暖めることを教えていただいたのは良かったです。ラジオ体操も良いのですが、家事をしながらできるのが良いと思います。

年齢	内容
60代	バラエティにとんでいて、講師の方も一流でいつも楽しみにしています。
60代	美術・文学の内容をお願いしたいです。
60代	美術関連を中心に開催
60代	美術講座。いつも楽しみにしていますが、抽選で外れることもあるので、なるべく多くの人が参加できるようにしてほしい。
60代	美術講座をまた開催してほしいです。
60代	文学、美術、歴史等はもちろん、現代生活に必要な生活の知恵、法律、IT 機器の操作等、実践的なものもあると良いのでは。
60代	興味のある講座で楽しめました。これをきっかけにして、勉強したいです。
60代	経済について初級者向けに、為替、年金、半導体、AI
60代	欠席の場合、メールで内容がわかるようにしてほしい。
60代	講座内容はどれも良かったです。
60代	今回とても良かったです。知られざる、あまりなじみのないものを紹介してほしい。
60代	今世の中で話題になっている（振り込め詐欺、パワハラ etc）女性が活躍している人の講座
60代	参加型の講座が学びとして残ると思う。
60代	世界各国の文化・歴史について
60代	大人向けの科学講座を希望します。
60代	武蔵野プレイスのすぐ近くに引っ越してきたので、いろいろな講座に参加してます。他の自治体と比べることはできませんが、武蔵野市は学べる機会が多いと感じます。
60代	様々な内容の講座があると楽しめると思います。
60代	歴史、文化（茶の湯など）など幅広く学びたい。趣味（麻雀 etc）など泊まりを伴う宿泊学習なども親睦を深められてよいと思う。
60代	歴史に関する内容や語学に関する内容があるといいなと思います。今日の科学に関する内容は、子供向けは多いけれど、大人向けがあまりなかったと思いますので有意義でした。
70代	「シニア講座」がいろいろな講座があって良い。（特に無料が）
70代	「生涯学習講座」という言葉が、目慣れない。はじめて参加したのかも。
70代	・活躍しているろう者を今後もお招きしてほしい。・環境や平和問題の学習につながるお話も良い。
70代	①高齢者向け講座の充実は非常に重要。本老壮シニア講座は毎回出席している。引き続き、開催してほしい。②テーマは現状のままでよいと思う。
70代	いっぱい声を出せて大変良かったです。
70代	いつも興味深いお話しで有難いです！皆様の努力のおかげと感謝しています。
70代	今まで通っていてほしい。
70代	今まで通りで満足です。
70代	いろいろ工夫して計画してくれていると思うので、市報など気をつけて見て、興味あることには参加したいと思っている。
70代	開催されるもの、されているもの等、知らないことが多いので、告知の方法を市報以外にも広げ、広くアピールすることが大切だと思う。
70代	興味のある分野（私の場合、美術、文学、歴史等ですが）の講座を探すのですが、なかなかありません。このような機会がもっと増えることを望んでいます。いつも、それぞれ講師の方が素晴らしいと思っています。
70代	クラシック

年齢	内容
70代	これからも日本美術以外にも、日本と海外の芸術を比較できる講座があれば面白いと思う。
70代	本日の先生の講義は丁寧でよく理解でき、毎回楽しみにしていますが、抽選に外れることもあり、それが残念。
70代	時代とあまりにも有名な作家たちを各2時間で話されたことに驚きました。中身が濃かった。
70代	市報以外でも周知できるようにしてください。建物ツアー（市内）等、見てまわる企画があっても良い。知らない人が多い。
70代	とても勉強になりました。
70代	とても面白かった。
70代	日本の歴史や文化をテーマにした講義を希望します。
70代	ポールを使ったウォーキングなど
70代	ぼくが生きてる、ふたつの世界
70代	ミニコンサート、ワークショップなどの回数を増やしてほしい。
70代	申込方法ですが、電話、ハガキ等だと助かります。
70代	よく、楽しかった。
70代	わかりやすいが、もう少しレベルを上げてても良い？対象が全体なので、難しいかもしれません。
70代	演劇講座、皆で楽しむシェイクスピア？
70代	歌舞伎「外郎売り」声出し
70代	健康について、運動について
70代	現行内容でOKと考えています。
70代	行きやすい場所と、時間、内容が一致しない。
70代	講座では専門の先生で楽しく学びました。
70代	講座によっては、会場の都合もあろうかとも思いますが、受講できないことがありました。希望者が全員受講できるよう配慮願いたい。講座内容については、対象者を誰に絞るかにもよると思いますが、概ね充足されているのではないのでしょうか。
70代	今までの内容を見聞きして応募する人が多いと思うので、基本的には余り変えない方が良いでしょう。
70代	今回、特にシニアにピッタリ
70代	今回のようなテーマは初めてだったけど、興味深く、のどや身体にもよくて面白かった。多岐に渡っていろいろなテーマの講座があるといいと思う。
70代	今回初めて参加しました。講座はどれも楽しくて良かったと思います。
70代	市民が楽しむ事柄、異なった世界の感動する事柄、未来の為に必要な事柄など、ジャンルの違う内容があると良いと思う。
70代	市民会館の講座で「零落する姫君」の趣旨の講座に参加しました。とても面白かった。他は、どんな講座があるのか、市報を見ていればわかるかもしれませんが、どこでどんなふうで開催されているのかなかなかわからない。
70代	社会の情勢について、地元の武蔵野市から世界各地域まで幅広く知る連続講座があると良い。
70代	渋谷栄一の講座は掘り下げが甘く、残念でした。講座が幅広く、多様に浅くという感じですが、1つの事を何回かに分けてやるのも、満足感が得られるのかもしれませんが。
70代	初めて参加。ストレッチ、発声のやり方、実際に声に出してみても、良かったです。
70代	色々な分野の講座がもうけられており楽しかった。

年齢	内容
70代	色々な分野の勉強が出来て為になる内容が多い。
70代	色々参加させていただいて、楽しんでいます。これからも楽しみにしています。
70代	人に語る一その難しさは熟知してほしい。悦に入ってしまうと自慢話は困るし、聴き苦しい。「あのう」「あの」連発も NG！
70代	生涯学習講座、今回はじめての参加でなじめてません…
70代	多種多様な内容でいつも楽しく聴いています。市内在住でこんなに知識豊富な講師の方々がいらっしゃることに、誇りに思います。
70代	多分野にわたりテーマをいただけて楽しかったです。
70代	沢山の種類の講座
70代	転入してきたばかりで良くわかりません。
70代	武蔵野市は幅広い内容で興味ある講座は参加しています。バスツアー等もあっても良いと思う。
70代	文学・音楽等の親しみのある分野で、少し具体的に学べるような講座を希望します。
70代	毎回お勉強になり、たのしい！
70代	目的がはっきりしているので参加しやすい。
70代	良いと思います。
70代	歴史や音楽など楽しめる講座が多くてよい。
70代	老壮会に出席していますが、色々なジャンルの企画をして頂き楽しんでいます。これからも続けて頂きたいと思います。
80代以上	生活に役立てたい。友達、家族に伝えるにはどう話せば良いか。手紙、会話、歌、全てにいつも考えている。
80代以上	good
80代以上	至れり尽くせりで十分満足している。細かい先生の配慮に感謝。
80代以上	身体が自由がきかなく、自分に合ったものに参加したいと思っております。
80代以上	本日の先生のお話はとてもわかりやすく大好きです。時々、ダジャレを仰るのも良いですね。生涯学習講座を申し込んだ人全員が入れる場所がほしいです。
80代以上	世界史の講座を開いてほしい。吉祥寺地区でやってもらいたい。
80代以上	多岐にわたるので、いつも市報は欠かさずチェックしながら講座を申し込み、楽しんでいます。
80代以上	年2回の美術講座が大変面白い。抽選に外れることが残念です。
80代以上	美術、文学
80代以上	毎月市報に生涯学習講座専用のページを設ける。
80代以上	レベルの高い講義に感謝しています。このような講師を手配して頂いたことに感謝いたします。バラエティに富んだ TOP クラスの講師に期待します。
80代以上	現状のままで良いと思います。ただ、出来れば申込制ではなく、自由参加が良いと思います。
80代以上	高齢者総合センター（現在休館中）の講座は多岐に渡り、大変有意義である。又、老壮シニア講座も同様で、企画運営を会員が手掛けるのも良い。“いきいきセミナー”の人数を増し、内容ももう少し変更することが望ましい。
80代以上	今の世界情勢をわかりやすく解説して
80代以上	今回は興味深い内容でしたので応募しました。大変楽しかったです。
80代以上	自分に合う時間と場所に出かけ、いろいろ学べてたのしくうれしく思います。
80代以上	大変とても良かったです。ありがとうございました。
80代以上	大変良かった。

年齢	内容
80代以上	毎回、講師を厳選して開催。毎回生涯学習を実感しています。
80代以上	満足
80代以上	満足しました。
80代以上	老壮会員ではありませんが、毎回の市報は必ず目を通し興味のあるもの、是非知りたい事があれば申し、参加するようにしています。今回の講座も市民会館でのチラシ、市報で知り参加させて頂きました。
無回答	今回のような内容なら、場所はどこでも聴講に出かけます。
無回答	それぞれの施設で、目的や機能、対象等が異なるので、各施設が連携しながらも、それぞれで実施するのが良いのではないかと思います。
無回答	高次脳障害、失語症について、多分その状況にいる方は増えていると思います。
無回答	毎月の開催は楽しみです。

図表4-2 市の生涯学習講座（開催方法について）

年齢	内容
10代	まわりの人たちとも話し合いができて良かったです。
10代	もう少しグループワークを増やしたほうがよいと思う。
10代	対面
10代	対面で良かったです。テーマによってはオンラインで行う方が参加者も増えやすいかなと思いました。
20代	グループワークというか、みながどう思っているか知りたい。トランプや今の話題をとりあげて頂く？
30代	講義型はオンラインでも充分に感じるので、上記の子育て講座など、当事者同士が話しながら学べるグループワークやワークショップ型がありがたいです。
30代	対面
30代	対面の講義型が「学習している」感じがして好きです。
30代	対面やグループワークは特に楽しめます。
30代	対面化オンライン
40代	何でも大丈夫です。
40代	移動や時間に合わせるのが大変なので、自宅で気軽にオンラインでできる講座を作ってもよいと思う。カルチャースクールでもオンライン増えてきています。
40代	基本的には対面の方がいろいろな人とも会えるのでうれしいですが、どうしても仕事の都合があったりするので、内容によりオンラインがあるといいかもと思います。
40代	講義型
40代	対面
40代	対面やグループワークなど、能動的に関わる形式が良いと思っています。
40代	対面講義が良いです。
40代	土日の開催や、オンラインでの開催も検討いただくと、参加するチャンスが広がります。
50代	①講座型がよいです。
50代	オンライン
50代	オンラインは便利ですが、対面も良いと思います。
50代	オンライン配信もあれば、時間的に自由がきくのでより広く楽しめる方が増えるのではないかと思います。

年齢	内容
50 代	グループワーク
50 代	ハイブリッド型
50 代	メモを取りづらかったので、机があるとありがたいなと思いました。オンライン講座は、家で受講できるので、良いのではないかと思います。
50 代	時間があわなくてもあとから録画、動画などでも見られるとうれしい。
50 代	対面、オンラインのハイブリッド
50 代	対面、講義型
50 代	対面だといろいろな方と会うことができ良いですが、遠い方は参加が難しいため、オンラインでの講座もあると良いのかな？と思います。
50 代	内容によって開催方法が異なっても良いと思う。
60 代	HP からの検索が難しく感じる。特に、抽選結果の閲覧。迷います。
60 代	ZOOM で参加できると良いと思った。さらに 1W でもアーカイブで見られるとうれしいと思う。
60 代	オンライン、講義型
60 代	オンライン、対面、どれも良いと思います。何回かのセット（10 回で完成する）のような内容も良いと思います。
60 代	オンラインでは臨場感がなく、グループワークだとハードルが高いように思います。
60 代	オンラインでも公開していただけたら嬉しいです。
60 代	オンラインは外出の機会を奪うので、対面、講義、対面などが良いと思う。
60 代	講義型。テーブルがあると、記入したり、長時間でも楽しめる。
60 代	講義型。市内にその道のプロ（OB）がたくさんいるハズ。発掘して協力をお願いしたら。
60 代	対面、オンライン、体験（実習）
60 代	対面。スイング、プレイス、文化会館等
60 代	対面の講義型が好きです。
60 代	やはり対面が良いですが、オンラインもひとつ方法としてあるかなと。
60 代	会場に集まる
60 代	講義とグループワークを混ぜたような形が、変化があってよいと思います。対面がいろいろな方々とお目にかかれるのでよいと思いますが、出席しにくい場合はオンラインの選択もできればうれしいです。
60 代	講義型、グループワーク型などがあるといいです。
60 代	講義型。やはり、対面や講義などコミュニケーションのしやすい方式が良いと思います。
60 代	講義型が参加しやすいと思います。
60 代	講義型のほか、体験を取り入れたものなど（参加型）もあるとよい。
60 代	身近な会場で、対面で開催されるものが良い。
60 代	対面、オンライン
60 代	対面 o r 講義型
60 代	対面がやはりよいですね。久しぶりに知人に会いました。偶然。
60 代	対面希望
60 代	内容によりますが、対面＋オンライン、ハイブリッドが便利かもと思います。
70 代	・オンラインはパスしてます。（インターネットの環境がないので）・講座型の企画に参加しています。

年齢	内容
70代	1. 開催自体が知られていないのではないかな。2. 他の講座（「自由大学」など）との関係が良くわからない。
70代	①オンラインはしてほしくない。講義型でよい。
70代	応募した人が何らかのかたちで全員参加できると良い。
70代	オンライン、グループワーク、講義型それぞれ良いと思う。
70代	オンラインでは年寄りには出来ないのでは講義型がよい。
70代	オンラインでやる場合は、見逃し配信があれば助かります。
70代	オンラインはついていけない。
70代	オンラインよりは今までどおり対面の講義のほうが良い。
70代	オンラインを多用して欲しい。
70代	オンライン以外を希望します。触れ合う時間がほしいからです。
70代	講義型だと助かります。
70代	講義型でも良いが、とにかく対面が良い。
70代	今後は、講義型に加えて、オンラインも含めた講座を希望します。
70代	それぞれの特長を利用できるので、いろいろな形がいいです。その人たちとの会話が增えるといいです。
70代	対面、オンラインと同時にできると良いのではないかな。
70代	対面、講義型
70代	対面でお願いしたいです。
70代	対面の方が質問しやすい。
70代	パネル展示も含めて、各回毎に色々な開催方法を織り交ぜては如何でしょうか。
70代	やはり対面！双方向性講演がよいが、質問などは自慢話や迷惑も多い。
70代	やはり対面が良いが、ハイブリットも考慮しても良いのでは。
70代	やはり対面が良いです。スイングや公会堂など。
70代	私のような高齢者には対面の方が、馴染みがありますが、オンラインとの併用の開催が増えれば、出かけることが難しくなってきた時に参加できるかもしれません。ある一定期間オンラインで公開していれば、日時も好きに選べるかも。
70代	一方通行の話ではなく、やりとり、参加者同志の話し合いなどあった方が、高齢者には楽しいのではないかな。
70代	現行で OK と思います。
70代	講義型、グループ型が良いと思います。
70代	講義型を希望。今迄通りが良いと思います。
70代	今までの形でいいと思います。オンラインには反対します。
70代	終了した後、興味を持ったものをもう少し続けたかったので、続けられる道、方法があればいいなと思ったものでした。
70代	出来たら対面で、直接講師の思いを感じたい。
70代	身近な場所でいろいろな活動に参加できるので有り難いです。
70代	人数オーバーになるような時は、オンライン又は録画してオンデマンド（YouTube など）配信してほしい。
70代	足が不自由な方もおられるので、対面・オンライン同時開催がよいのではと思います。
70代	対面、講義型
70代	対面、講義型、グループワーク型
70代	対面、講義型が良い。

年齢	内容
70代	対面…仲間づくりをうたっているが、セミナーを受けて帰るだけで、中々うまくとけこめず…。グループワーク型なども入れて時間をかけて交流すればいいのかな…。
70代	対面とオンラインの併用
70代	対面の講義型 or ろう者出演の映画上映や演劇
70代	聴力障害者協会の生活を理解したい。
70代	昼間であれば参加したいです。講義型。
70代	未来の為に必要な学習会は、グループ討議が良いかも知れない。
70代	良いと思う。
80代以上	「学びおくり」知りたい
80代以上	今まで通りの対面方式でお願いいたします。年をとり、なかなか新しいものは受け入れがたくなりました。
80代以上	オンライン
80代以上	グループワーク
80代以上	グループ型が良かったと思いました。作業しながらことばを交わすことが出来る。
80代以上	講義型
80代以上	対面、講義型が良い。オンラインができない。
80代以上	対面、講義型が良いと思う。
80代以上	対面、大賛成です。先生の表情もよくわかります。
80代以上	対面に限る。オンラインでは集中力が続かない。
80代以上	やはり、直接対面で聴けるのがベストです。
80代以上	基本的には対面講義が良い。但し、そのままオンラインで中継、質問等受け付ける方法も検討されたし。
80代以上	講義型
80代以上	講義型が良いと思う。オンラインはなかなかむずかしい。
80代以上	今のままで良いです。
80代以上	対面
80代以上	対面、オンライン。逆に漏れた人のためにしてほしい。
80代以上	対面、講義型
80代以上	対面をお願いします。
80代以上	対面の講義がよいです。
無回答	オンライン。せっかくコロナ禍でオンラインが増えたのに、なぜやめてしまうのでしょうか？！
無回答	今回のスタイルが最高。オンラインは私には合っていない。
無回答	対面、講義型、オンライン。並行してできれば参加しやすい。
無回答	講義型でも、グループワーク
無回答	対面が良い。オンラインは慣れないせいかも。

図表4-3 市の生涯学習講座（その他）

年齢	内容
10代	もちつき
10代	参加して良かったです。ありがとうございました。
20代	参加させて頂きありがとうございました。
30代	境南地区在住のため、プレイス、市民会館、ふるさと歴史館の開催がありがたいです。
30代	働いている若者向けの通年講座とかあると嬉しいです。19:00～2hとか。

年齢	内容
40代	あとは一緒に活動できるワークショップ的な形もいいなと思います。
40代	香りに対しての愛の深い、講師に呼んで欲しい方がいる。
40代	子どもと高齢者向けの講座はあるが、その他が対象外になっている傾向がある。
40代	申し込みが簡単であれば良いと思います。
50代	電子申込ができると、より助かります（倍率が上がっちゃうかな）。
50代	持病があり換気や密さが気になるので、5類化以前のように会場環境に配慮があると参加しやすいです。企画運営の専門職の人件費の予算をとって、今あるものや人の力を生かしきった活動がもっとできるように増強して下さい。楽しみにしています。
60代	「いきいきセミナー」の「カード交換」はとてもよいアイデアでした。おかげさまで、いろんな方にコンタクトをとるきっかけを作ってくれました。
60代	プレイスは建物も充実しており、駅にも近くとても便利で良いです。文化会館は少し遠いのが残念。
60代	映像上映
60代	学びおくりは意識したことはないが、無意識のうちに自分の中に残っていくと思う。
60代	休息なしの2時間は体に良くない。5分でもいいから1度立ち上げられる時間が欲しい
60代	参加料はある程度おさえてもらえるとうれしいです。
60代	大変有益で良い企画だと思います。
60代	武蔵野プレイスへは行きやすく、講座があるときは助かります。
60代	無料だとありがたい。
70代	市松模様が佐野川市松という人名からということを知りました。
70代	会場などスタッフの方もよく頑張っていると思います。ありがたいの気持ちです。また、うかがいたいです。
70代	過去に取り上げられた講座をもう一度お願いしたい。
70代	申込方法について、インターネットでできると良いと思う。
70代	映画会復活してほしい
70代	開催予定、内容が、もう少し早くわかると良い。市報やホームページで、広報して下さい。（1～2ヶ月、3ヶ月先まで）
70代	義母が老壮の卒業生たちの会でお世話になりよい余生を送りました。
70代	参考になりました。ありがとうございました。
70代	市報の中でいろんな記事中に講座のことが混ざっているので、よほど注意して見てないと、開催されることや内容が知りにくい。
70代	体を動かすものがよい。
70代	無料で参加出来るのがよい。
70代	老壮若と一緒に学べる機会があると良い。
80代以上	会場の整理・整頓をしてくださり感謝しております。係の方々もいつもありがとうございます。
80代以上	グループ分けの時、いやな事があったため、グループの催物は参加しない。
80代以上	抽選の場合、もう少し早く結果を知りたい。特に12月等は、色々他にも計画がある。
80代以上	観劇（会場へ出かけて）
80代以上	内容がいっぱいで、ちょっと予習してきたらもっと良かったと思いました。
80代以上	聞きたい講座は今まで必ず落ちた。回数を増やすとか、広い会場を使うとか市民優先にしてもらいたい。
無回答	来年のNHK大河ドラマが楽しみです。
無回答	広報のしかた（市報を読んだだけでは何がどこで行われるのかわからない）

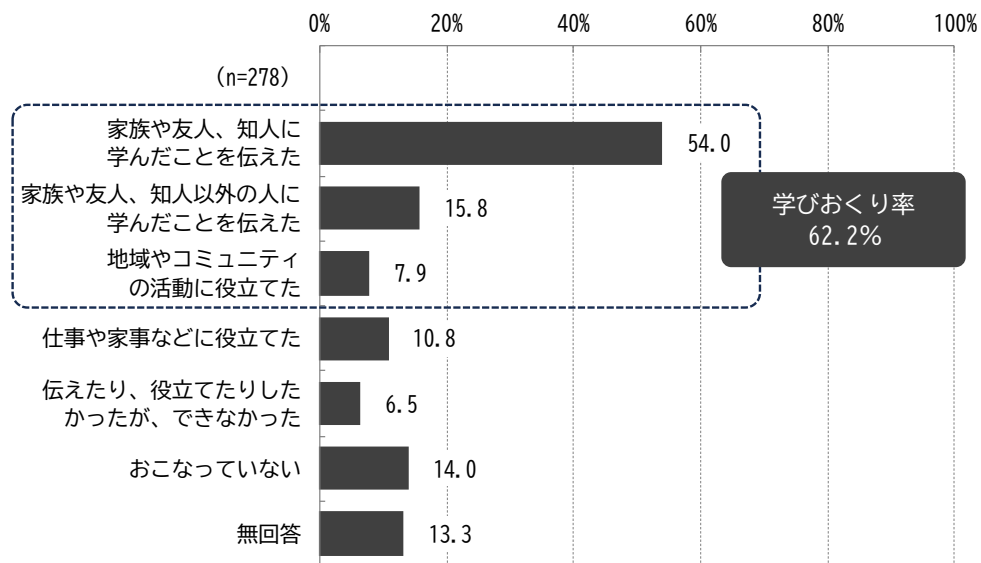
2 市の生涯学習施策について

問2 あなたは、過去1年間に学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしましたか。（○はいくつでも）

学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしたか（学びおくり）をきいたところ、「家族や友人、知人に学んだことを伝えた」「家族や友人、知人以外の人に学んだことを伝えた」「地域やコミュニティの活動に役立てた」のいずれかに○をした「学びおくり率」は、62.2%となっている。

また、「地域やコミュニティの活動に役立てた」は、7.9%となっている（図表4-4）。

図表4-4 過去1年間に学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしたか



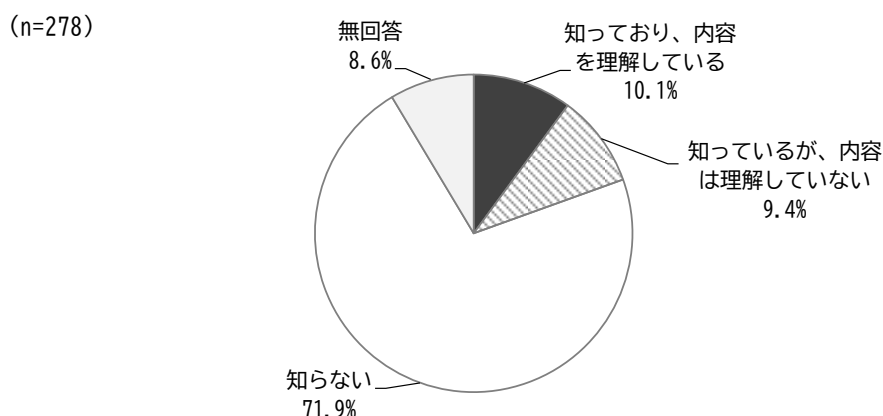
問3 「第二期武蔵野市生涯学習計画」では「学びおくり」（学んだことを他者に伝えること）という考え方のもと、これをより浸透させていこうと各種事業を実施しています。あなたは、「学びおくり」を知っていますか。（○は1つ）

「学びおくり」の認知度（「知っており、内容を理解している」と「知っているが、内容は理解していない」の合計）は、19.5%、「知らない」は71.9%となっている。

また、内容理解度（「知っており、内容を理解している」）は、10.1%となっている。

これは、認知度と内容理解度ともに市民向け調査結果より高くなっている（図表4-5）。

図表4-5 「学びおくり」の認知度、内容理解度

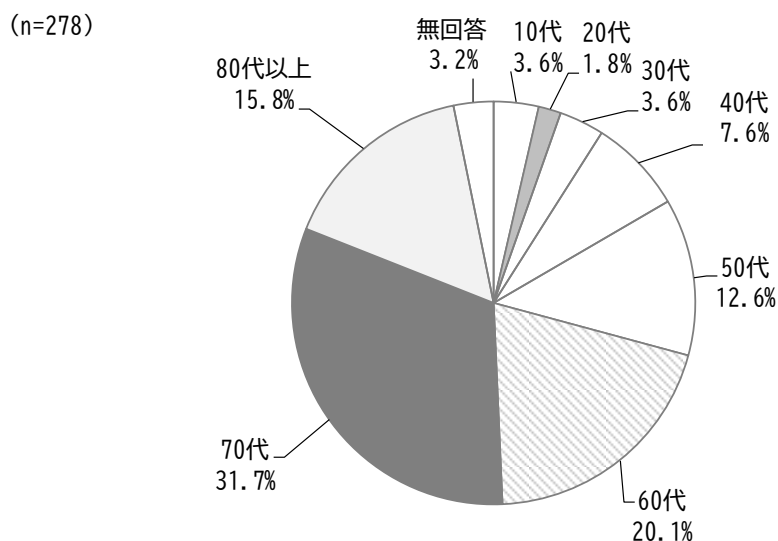


3 あなたご自身について

年齢

年齢について、「70代」（31.7%）が最も高く、次いで「60代」（20.1%）、「80代以上」（15.8%）となっている（図表4-6）。

図表4-6 年齢



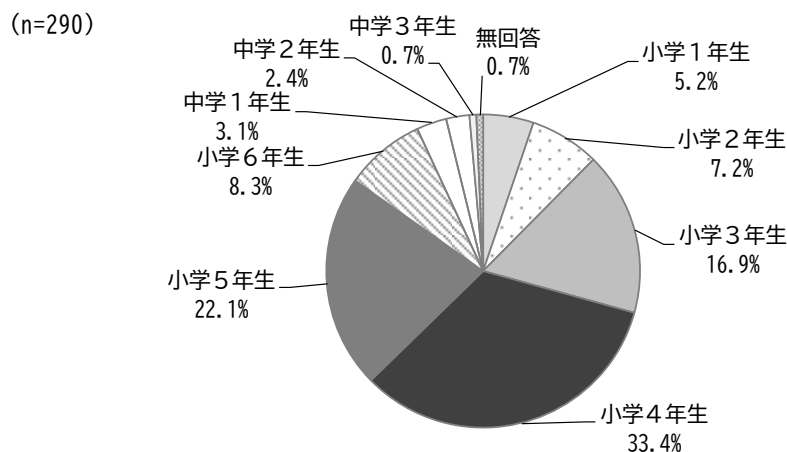
第5章 講座受講者（子ども向け）調査結果

1 あなたご自身について

問1 あなたは何年生ですか。

学年については、「小学4年生」(33.4%)が最も高く、次いで「小学5年生」(22.1%)、「小学3年生」(16.9%)となっている(図表5-1)。

図表5-1 学年

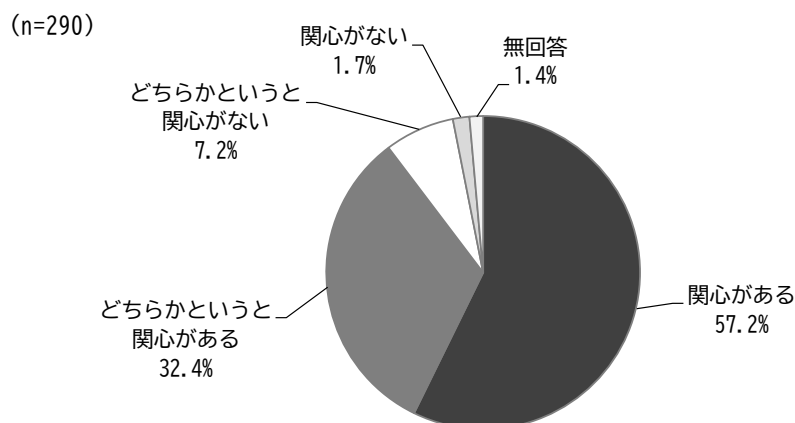


2 学びの意識・行動について

問2 あなたは、何かを学ぶことに興味がありますか（好きですか）
（1つに○をつけてください）。

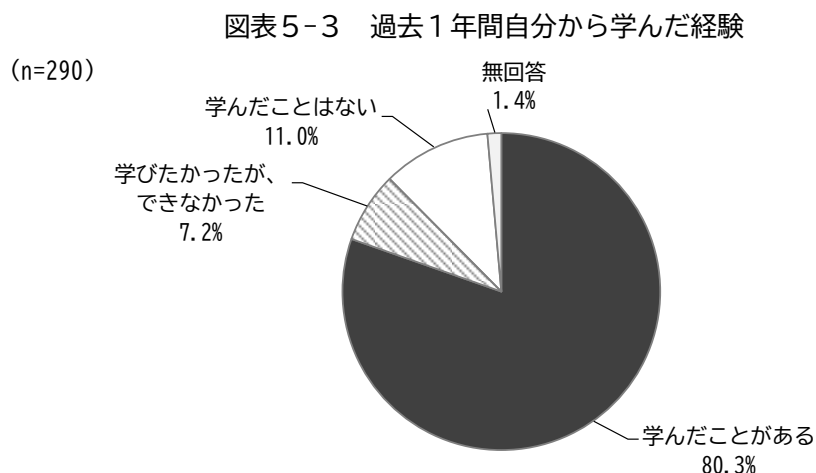
学びの関心度については、肯定的評価（「興味がある」と「どちらかというに関心がある」の合計）が89.6%、否定的評価（「どちらかというに関心がない」と「関心がない」の合計）が8.9%となっている（図表5-2）。

図表5-2 学びの関心度



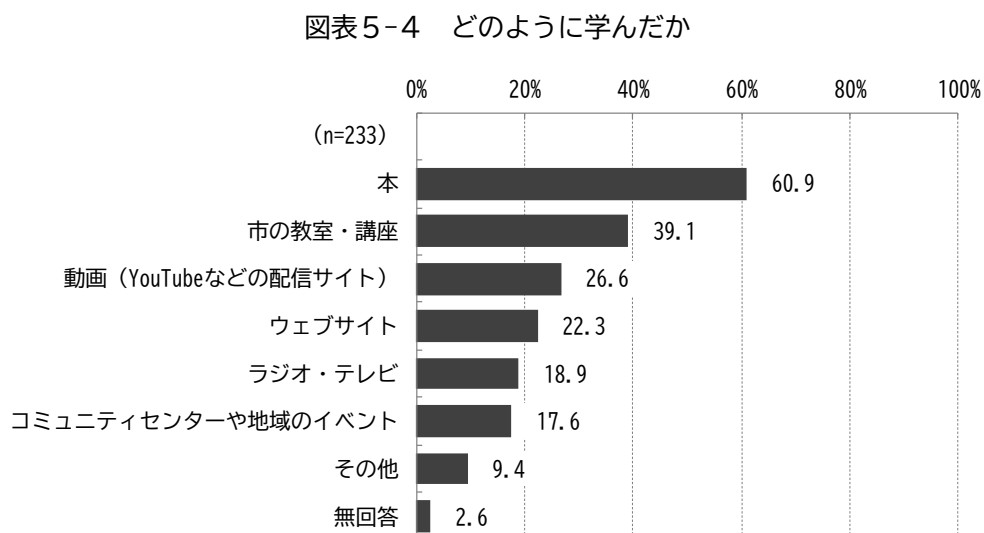
問3 あなたは、この1年間で学校やこの講座以外でも自分から何かを学んだことがありますか（1つに○をつけてください）。
（読書やウェブサイト、習い事、教室・講座への参加など）

過去1年間自分から学んだ経験については、「学んだことがある」が80.3%、「学びたかったが、できなかった」が7.2%、「学んだことはない」が11.0%となっている（図表5-3）。



問4 問3で「学んだことがある」を選んだ人は、どのように学んだかを教えてください（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

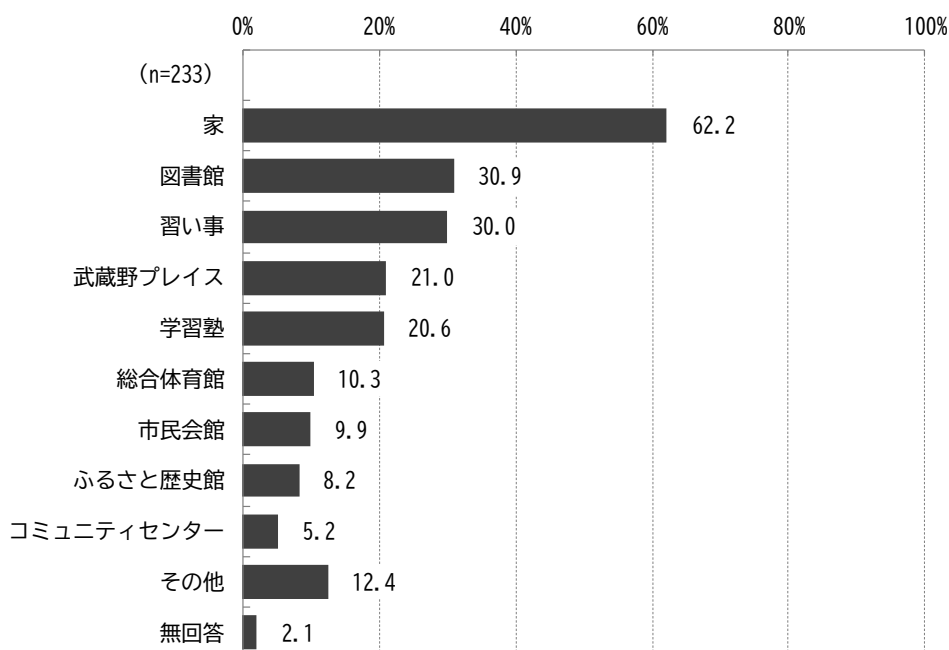
過去1年間自分から「学んだことがある」と回答した233人を対象に、どのように学んだかをきいたところ、「本」（60.9%）が最も高く、次いで「市の教室・講座」（39.1%）、「動画（YouTubeなどの配信サイト）」（26.6%）となっている（図表5-4）。



問5 問3で「学んだことがある」を選んだ人は、どこで学んだかを教えてください（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

過去1年間自分から「学んだことがある」と回答した 233 人を対象に、どこで学んだかをきいたところ、「家」(62.2%) が最も高く、次いで「図書館」(30.9%)、「習い事」(30.0%) となっている（図表5-5）。

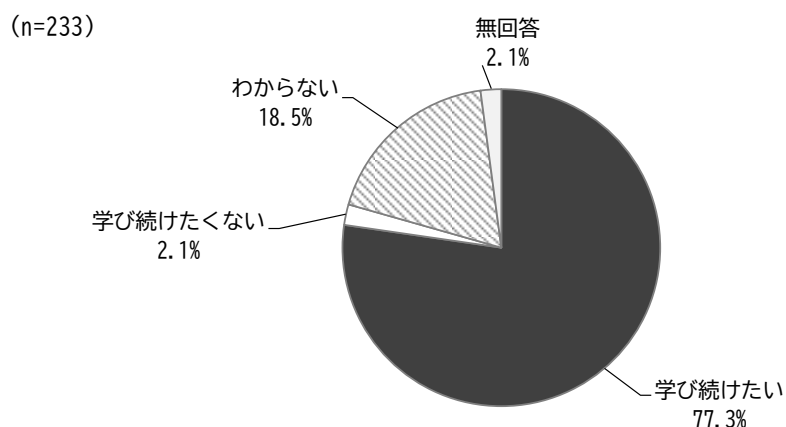
図表5-5 どこで学んだか



問6 問3で「学んだことがある」を選んだ人は、この1年間で学んだことを学び続けたいか教えてください（1つに○をつけてください）。

過去1年間自分から「学んだことがある」と回答した 233 人を対象に、この1年間で学んだことを学び続けたいかをきいたところ、「学び続けたい」が 77.3%、「学び続けたくない」が 2.1%、「わからない」が 18.5% となっている（図表5-6）。

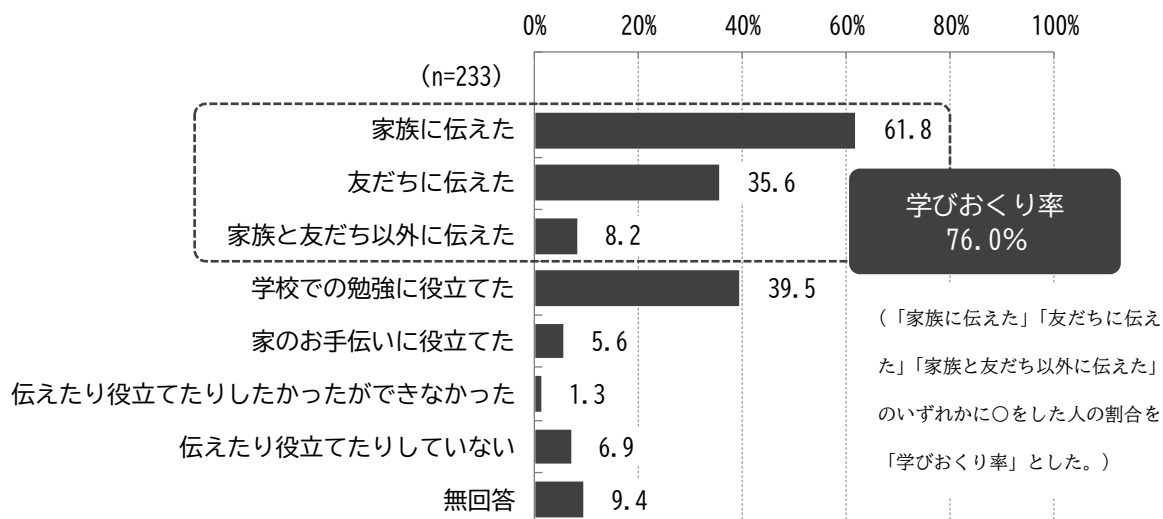
図表5-6 この1年間で学んだことを学び続けたいか



問7 問3で「学んだことがある」を選んだ人は、この1年間で学んだことを誰かに伝えたり役立てたりしましたか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

過去1年間自分から「学んだことがある」と回答した233人を対象に、学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしたか（学びおくり）をきいたところ、「家族に伝えた」（61.8%）が最も高く、次いで「学校での勉強に役立てた」（39.5%）、「友だちに伝えた」（35.6%）となっている。学びおくり率は76.0%である。（図表5-7）。

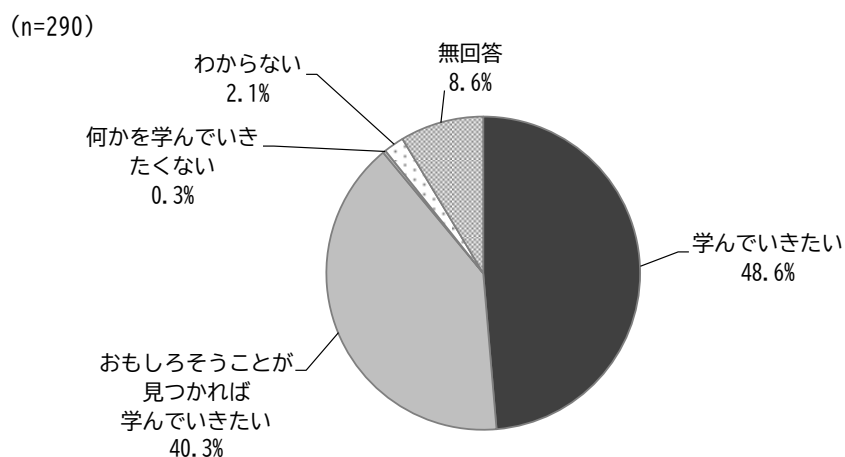
図表5-7 過去1年間に学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしたか



問8 あなたは、これから、自分から何かを学んでいきたいですか（1つに○をつけてください）。

今後、何かを自分から学びたいと思うかについては、学びの積極層（「学んでいきたい」と「おもしろそうことが見つければ学んでいきたい」の合計）が88.9%、「何かを学んでいきたくない」が0.3%、「わからない」が2.1%となっている（図表5-8）。

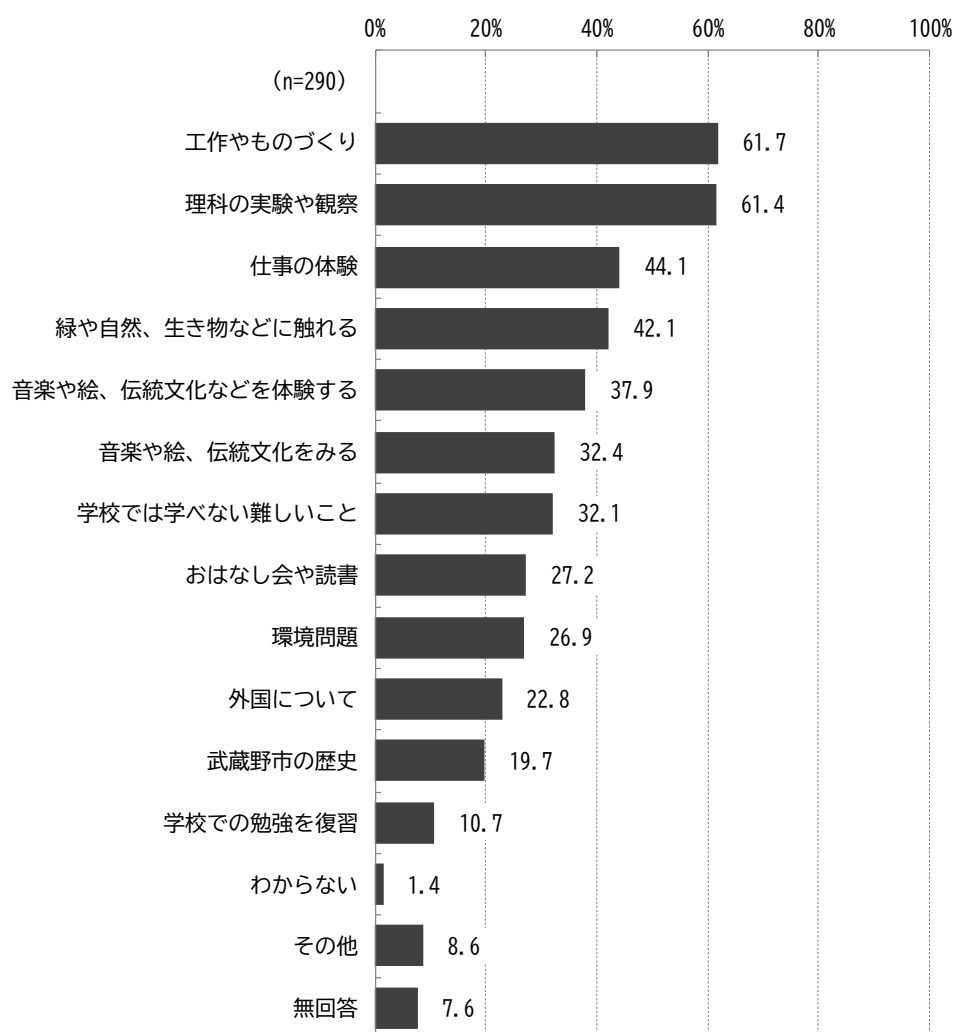
図表5-8 今後、何かを自分から学びたいと思うか



問9 あなたがおもしろそうだと感じるものを教えてください（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

あなたがおもしろそうだと感じるものについては、「工作やものづくり」（61.7%）が最も高く、次いで「理科の実験や観察」（61.4%）、「仕事の体験」（44.1%）、「緑や自然、生き物などに触れる」（42.1%）となっている（図表5-9）。

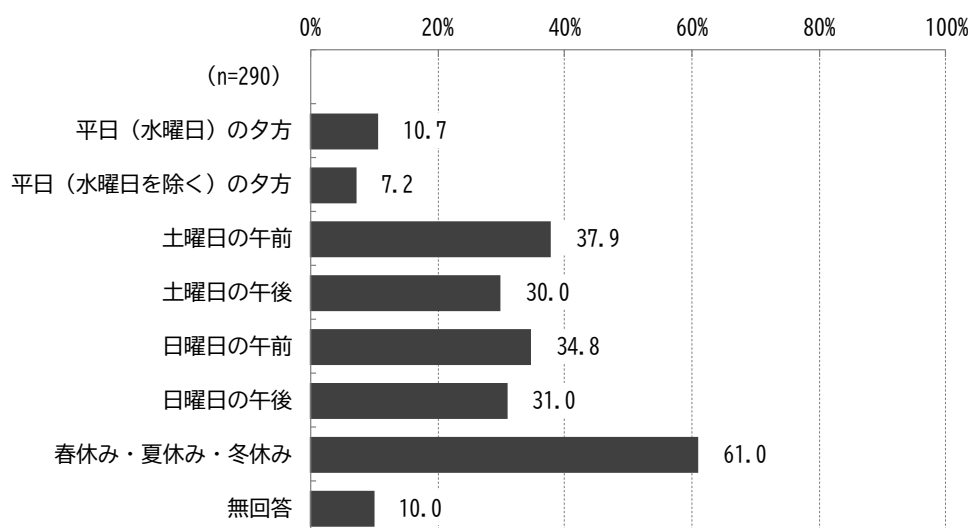
図表5-9 あなたがおもしろそうだと感じるもの



問 10 今日のような教室や講座に参加しやすいのはいつですか（あてはまるものすべてに○をつけてください）。

教室や講座に参加しやすい時間帯については、「春休み・夏休み・冬休み」（61.0％）が最も高く、次いで「土曜日の午前」（37.9％）、「日曜日の午前」（34.8％）となっている（図表5-10）。

図表5-10 教室や講座に参加しやすい時間帯



第6章 調査票

1 市民向け

武蔵野市生涯学習に関する調査

日頃より、本市の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

武蔵野市教育委員会では、令和2年度に「第二期武蔵野市生涯学習計画」を策定し、基本理念に「学びおくりあい、わたしたちがつくるまち」を掲げ、様々な生涯学習事業を実施しています。

このたび、本計画の中間年にあたり、市民の皆様の日頃の学習活動や地域での活動の現状、今後のニーズなどをお聞きし、本計画の進捗状況の把握や、今後の事業の見直しの検討等の基礎資料とするためのアンケートを実施することとなりました。

本調査は、無作為に抽出した武蔵野市に住民登録のある16歳以上の方（令和6年10月1日現在）1,500名にお送りしております。

調査は無記名で行い、結果は統計的に処理いたしますので、個人のお名前や回答内容が外部に漏れることはございません。ご多忙とは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【回答にあたってのお願い】

- 1 アンケートは、封筒の宛名のご本人がご回答ください。なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人のお考えを聞きながら記入してください。
- 2 回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。（○は1つ）や（○はいくつでも）のように指定されているとおりに○をつけてください。
- 3 「その他」等、選択肢に（ ）がついているものを選んだ場合は、（ ）の中にその内容を具体的に記入してください。
- 4 以下の①または②のいずれかによりご回答ください。

①郵送による回答方法

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。（切手不要、氏名等記入不要です）

②インターネットによる回答方法

パソコン、スマートフォンなどで、以下のURLを入力するか、二次元コードを読み込み、調査画面にアクセスしてください。



URL : <https://forms.gle/rxAyjDhtyquGQxlc6>

ID : _____

※IDは重複回答を防ぐため、ランダムに付番しています。
どなたが、どのIDであるかは照合できないようになっており、個人を特定するものではありません。

- 5 **11月27日（水）までに** ご投函またはインターネットでのご回答をお願いいたします。なお、調査の内容等についてわからないことがありましたら、下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】武蔵野市教育委員会生涯学習スポーツ課

電話 0422（60）1902

学びの意識・行動について

問1 あなたは、何かを学ぶことに関心がありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 関心がある | 3. どちらかというに関心がない |
| 2. どちらかというに関心がある | 4. 関心がない |

問2 あなたは、過去1年間において、学校や勤務先以外で何かを自分から学んだことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 学んだことがある | → 問3へお進みください |
| 2. 学びたかったが、できなかった | } 問7へお進みください |
| 3. 学んだことはない | |

※問3～6は、問2で「1. 学んだことがある」を選んだ方におうかがいします。

問3 あなたが学んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------|
| 1. 現在または当時の仕事において必要性を感じたため |
| 2. 就職や転職のために必要性を感じたため |
| 3. 勤務先などから勧められたため |
| 4. 地域や社会における活動に生かすため |
| 5. 家庭や日常生活に生かすため |
| 6. 健康の維持・増進のため |
| 7. 他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため |
| 8. 人生を豊かにするため |
| 9. 教養を深めるため |
| 10. その他 () |

問4 あなたは、どのような講座や活動等で学びましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 市主催の教室・講座 | 5. ラジオ・テレビの講座 |
| 2. コミュニティセンター主催の行事 | 6. サークルやグループなどでの活動 |
| 3. 市内・近郊の大学主催の公開講座 | 7. その他 |
| 4. 民間主催の教室・講座 | () |

問5 あなたは、対面で学びましたか、それともオンライン、オンデマンドで学びましたか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-------|----------|-----------|
| 1. 対面 | 2. オンライン | 3. オンデマンド |
|-------|----------|-----------|

※オンラインとは、インターネットで学ぶもの。

※オンデマンドとは、パソコンやスマートフォン等を用いて受講者の都合の良い時間に学ぶもの。

問6 あなたは、過去1年間に学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしましたか。
(○はいくつでも)

1. 家族や友人、知人に学んだことを伝えた
2. 家族や友人、知人以外の人に学んだことを伝えた
3. 地域やコミュニティの活動に役立てた
4. 仕事や家事などに役立てた
5. 伝えたり、役立てたりしたかったが、できなかった
6. おこなっていない

※問7は、問2で「2. 学びたかったが、できなかった」または「3. 学んだことはない」を選んだ方におうかがいします。

問7 選んだ理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 仕事や家事が忙しくて時間がない | 6. オンライン・オンデマンドで学べる講座がない |
| 2. 費用がかかる | 7. 何を学んでよいかわからない |
| 3. 必要な情報が入手しづらい | 8. 特に必要に迫られなかった |
| 4. 学ぶための場所が近くにない | 9. 何かを学びたいと思わない |
| 5. 自分の希望する内容の講座や教室がない | 10. その他 () |

※オンラインとは、インターネットで学ぶもの。

※オンデマンドとは、パソコンやスマートフォン等を用いて受講者の都合の良い時間に学ぶもの。

※問8からは、全員がご回答ください。

問8 あなたは、今後、何かを自分から学びたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 学びたい | 3. 何かを学びたいとは思わない |
| 2. 学びたいことがみつければ、学びたい | 4. わからない |

問9 あなたは今後どのようなことを学びたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 仕事に必要な知識・技能や資格に関すること
2. インターネットの知識・技能に関すること
3. ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること
4. 自然体験や生活体験などの体験活動に関すること
5. 人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること
6. 健康やスポーツに関すること
7. 料理や裁縫などの家庭生活に関すること
8. 育児や教育に関すること
9. 音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること
10. 文学や歴史、語学などの教養に関すること
11. その他 ()
12. 特になし

市の生涯学習施策について

問 10 令和2年度に策定した「第二期武蔵野市生涯学習計画」では「学びおくり」という考え方のもと、これをより浸透させていこうと各種事業を実施しています。

あなたは、「学びおくり」を知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|----------------------|---------|
| 1. 知っており、内容を理解している | 2. 知っているが、内容は理解していない | 3. 知らない |
|--------------------|----------------------|---------|

※「学びおくり」とは、学んだことを他者、地域、コミュニティ、社会あるいは次の世代へ「おくる」(送る・贈る)ことを意味し、「恩送り」(恩を受けた人ではなく、それ以外の人へ送ること)という言葉から着想した造語です。個人の学びが、自然に、かつ自発的に他者や社会とつながっていくさまを表現しています。(右の二次元コードを参照：第二期武蔵野市生涯学習計画 25、26 ページ)



問 11 武蔵野市では、様々な生涯学習事業(講座等)を実施しています。以下の各事業について、ご回答ください。(○は各1つ)

なお、各事業の概要については、二次元コードを参照ください。

事業名		回答
①武蔵野地域自由大学		1. 知っていて、参加したことがある 2. 知っているが、参加したことはない 3. 知らない
②土曜学校(サイエンスクラブ、ピタゴラスクラブ、おかねの教室など)		1. 知っていて、参加したことがある 2. 知っているが、参加したことはない 3. 知らない
③むさしのサイエンスフェスタ		1. 知っていて、参加したことがある 2. 知っているが、参加したことはない 3. 知らない
④歴史館大学		1. 知っていて、参加したことがある 2. 知っているが、参加したことはない 3. 知らない
⑤生涯学習事業費補助金 子ども文化・スポーツ・体験活動 動団体支援事業費補助金		1. 知っている 2. 知らない

※②では、お子さまが参加されている場合でも、回答者ご本人が参加していない場合は「2. 知っているが、参加したことはない」に○をしてください。お子さまの付き添いの場合は、参加していないこととします。

問 12 武蔵野市にある以下の施設について、ここ１年で利用したことはありますか。

(○は各１つ)

また、「２. 利用したことはない」に○をした施設については、その理由を教えてください。

(○は各いくつでも)

施設名	ここ１年での利用 (○は各１つ)	ここ１年で利用したことはない理由 (○は各いくつでも)
武蔵野プレイス (境南町２-３-18)	1. 利用したことがある 2. 利用したことはない →	1. 利用する時間がない 2. 自宅、職場、学校からアクセスしづらい 3. 講座やイベントに興味があるが、実施されていることを知らない 4. 自分の興味や関心にあった講座やイベントがない 5. 他の施設等で同様のサービスを受けている 6. オンラインでのサービス提供がない 7. 利用するきっかけ・用事がない 8. その他 ()
武蔵野市民会館 (境２-３-７) ※武蔵野市民文化 会館(中町３-９- 11)とは別の施設 です。	1. 利用したことがある 2. 利用したことはない →	1. 利用する時間がない 2. 自宅、職場、学校からアクセスしづらい 3. 講座やイベントに興味があるが、実施されていることを知らない 4. 自分の興味や関心にあった講座やイベントがない 5. 他の施設等で同様のサービスを受けている 6. オンラインでのサービス提供がない 7. 利用するきっかけ・用事がない 8. その他 ()
武蔵野ふるさと 歴史館 (境５-15-５)	1. 利用したことがある 2. 利用したことはない →	1. 利用する時間がない 2. 自宅、職場、学校からアクセスしづらい 3. 講座やイベントに興味があるが、実施されていることを知らない 4. 自分の興味や関心にあった講座やイベントがない 5. 他の施設等で同様のサービスを受けている 6. オンラインでのサービス提供がない 7. 利用するきっかけ・用事がない 8. その他 ()

問 13 あなたは、日々の生活のなかで次の①～⑥の事柄について実感することはありますか。(○は各1つ)

	実感して いる	どちらか というと 実感して いる	どちらか というと 実感して いない	実感して いない
①いつでも、学びたいときに学ぶことができる機会が充実している	1	2	3	4
②ライフステージやライフスタイルに応じた学びの機会が充実している	1	2	3	4
③地域やコミュニティの活動に参画するきっかけが充実している	1	2	3	4
④市民や地域・コミュニティの活動の魅力が市内外に発信されている	1	2	3	4
⑤学びや地域・コミュニティ活動のための施設が充実している	1	2	3	4
⑥将来の担い手となる子どもが学ぶ機会が充実している（学校の授業以外で）	1	2	3	4

あなたご自身について

統計処理に必要なため以下の項目にもお答えください。

自認する性別 (○は1つ)	1. 男性	2. 女性	3. それ以外	4. 回答しない
年齢 (○は1つ)	1. 20歳未満 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳	5. 35～39歳 6. 40～44歳 7. 45～49歳 8. 50～54歳	9. 55～59歳 10. 60～64歳 11. 65～69歳 12. 70～74歳	13. 75～79歳 14. 80～84歳 15. 85～89歳 16. 90歳以上
お住まい (○は1つ)	1. 吉祥寺東町 2. 吉祥寺南町 3. 御殿山 4. 吉祥寺本町	5. 吉祥寺北町 6. 中町 7. 西久保 8. 緑町	9. 八幡町 10. 関前 11. 境 12. 境南町	13. 桜堤
職業 (○は1つ)	1. 自営業、自由業 2. 正社員、正職員 3. 契約社員、派遣社員 4. アルバイト、パート	5. 家事専業 6. 学生 7. 無職 8. その他		
お子さんの有無 (○はいくつでも)	1. 乳幼児 (0～2歳) 2. 未就学児 (3～5歳) 3. 小学1～3年生 4. 小学4～6年生	5. 中学生 6. 16歳以上、18歳未満 7. 18歳以上 8. いない		
あなたは、趣味や自分の楽しみのために使えるお金を十分得られていると思いますか。(○は1つ)			1. 十分得られている 2. どちらかといえば得られている 3. あまり得られていない 4. ほとんど得られていない	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

郵送によるご回答の場合、ご記入いただきました調査票は、
同封の返信用封筒（切手不要、氏名等記入不要です）に入れて、

11月27日（水）までに ご投函ください。

2 講座受講者（大人向け）

講座名：

武蔵野市生涯学習に関する調査（講座受講者向け）へのご協力をお願い

この調査は、「第二期武蔵野市生涯学習計画（令和2～11年度）」の中間年にあたり、現状の講座の見直しや、新たな講座を検討するために行うものです。

皆さまからご意見をいただき、より良い講座を開催していきたいと考えています。

ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

問1 武蔵野市の生涯学習講座をより良くしていくために、どのようにしていくと良いと思いますか。市が開催している生涯学習講座について、どのようなことでも構いませんので、あなたが思うことを自由に記載してください。（武蔵野プレイス、市民会館、ふるさと歴史館、総合体育館、文化施設などで開催するものも含む）

講座内容について

開催方法について（例：対面、オンライン、講義型、グループワーク型など）

その他

問2 あなたは、過去1年間に学んだことを、誰かに伝えたり、何かに役立てたりしましたか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 家族や友人、知人に学んだことを伝えた | 4. 仕事や家事などに役立てた |
| 2. 家族や友人、知人以外の人に学んだことを伝えた | 5. 伝えたり、役立てたりしたかったが、できなかった |
| 3. 地域やコミュニティの活動に役立てた | 6. おこなっていない |

問3 「第二期武蔵野市生涯学習計画」では「学びおくり」（学んだことを他者に伝えること）という考え方のもと、これをより浸透させていこうと各種事業を実施しています。あなたは、「学びおくり」を知っていますか。（○は1つ）

- | | | |
|--------------------|----------------------|---------|
| 1. 知っており、内容を理解している | 2. 知っているが、内容を理解していない | 3. 知らない |
|--------------------|----------------------|---------|

統計処理に必要なため以下の項目にもお答えください。

年齢（○は1つ）	1. 10代	3. 30代	5. 50代	7. 70代
	2. 20代	4. 40代	6. 60代	8. 80代以上

ご協力、ありがとうございました。

武蔵野市教育委員会生涯学習スポーツ課

電話 0422（60）1902

3 講座受講者（子ども向け）

アンケート

問1 あなたは何年生ですか。
小学()年生

問2 あなたは、何かを学ぶことに関心がありますか(1つに○をつけてください)。
(好きですか)

- ①関心がある ②どちらかという関心がある
③どちらかという関心がない ④関心がない

問3 あなたは、この1年間で学校やこの講座以外でも自分から何かを学んだことがありますか(1つに○をつけてください)。(読書やウェブサイト、習い事、教室・講座への参加など)

- ①学んだことがある ②学びたかったが、できなかった
③学んだことはない ※①に○をつけた人は、問4へ、②・③に○をつけた人は、問8へ

問4 問3で「①学んだことがある」を選んだ人は、どのように学んだかを教えてください
(あてはまるものすべてに○をつけてください)。

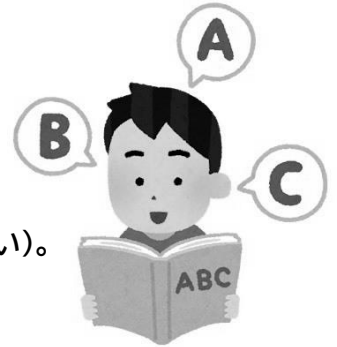
- ①本 ②ウェブサイト ③動画(YouTubeなどの配信サイト) ④ラジオ・テレビ
⑤市の教室・講座 ⑥コミュニティセンターや地域のイベント
⑦その他()

問5 問3で「①学んだことがある」を選んだ人は、どこで学んだかを教えてください(あてはまるものすべてに○をつけてください)。

- ①家 ②市民会館 ③ふるさと歴史館 ④武蔵野プレイス ⑤総合体育館
⑥図書館 ⑦コミュニティセンター ⑧習い事 ⑨学習塾
⑩その他()

問6 問3で「①学んだことがある」を選んだ人は、この1年間で学んだことを学び続けたいか教えてください(1つに○をつけてください)。

- ① 学び続けたい ② 学び続けたくない ③わからない



問7 問3で「①学んだことがある」を選んだ人は、この1年間で学んだことを誰かに伝えたり役立てたりしましたか(あてはまるものすべてに○をつけてください)。

- ①家族に伝えた ②友だちに伝えた ③家族と友だち以外に伝えた
④学校での勉強に役立てた ⑤家のお手伝いに役立てた
⑥伝えたり役立てたりしたかったができなかった ⑦伝えたり役立てたりしていない



問8 あなたは、これから、自分から何かを学んでいきたいですか(1つに○をつけてください)。

- ①学んでいきたい ②おもしろそうことが見つければ学んでいきたい
③何かを学んでいきたくない ④わからない

問9 あなたがおもしろそうだと感じるものを教えてください(あてはまるものすべてに○をつけてください)。

- ①音楽や絵、伝統文化をみる ②音楽や絵、伝統文化などを体験する
③おはなし会や読書 ④工作やものづくり
⑤理科の実験や観察 ⑥武蔵野市の歴史
⑦仕事の体験 ⑧外国について
⑨緑や自然、生き物などに触れる ⑩環境問題
⑪学校での勉強を復習 ⑫学校では学べない難しいこと
⑬わからない ⑭その他()



問10 今日のような教室や講座に参加しやすいのはいつですか(あてはまるものすべてに○をつけてください)。

- ①平日(水曜日)の夕方 ②平日(水曜日を除く)の夕方 ③土曜日の午前
④土曜日の午後 ⑤日曜日の午前 ⑥日曜日の午後 ⑦春休み・夏休み・冬休み



アンケートに答えてくれてありがとう！！



武蔵野市生涯学習に関する調査報告書

令和7年3月

武蔵野市教育委員会 生涯学習スポーツ課

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

電話 0422(60)1902 (直通)

E-mail sec-syougaku@city.musashino.lg.jp